

平成23年度

自転車乗用に関する調査研究事業 報告書

—地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究—

財団法人 日本サイクリング協会

KEIRIN



競輪補助事業

MTBからロングライドまでメニューは幅広く：にわサイクリングツアーズ



『にわサイクリングツアーズ』を主宰する丹羽隆志氏は、2001年の初頭からガイド付きツアーを始めた日本のパイオニア。伊豆大島の裏砂漠を駆け下りる駆け下りるMTBツアー（中・左）から北海道縦断ツアー（上・下）まで守備範囲は広い。ツアー参加者への事前の説明も、しっかりと行う（中・右）

古都を訪ねる外国人をメインに：京都サイクリングツアープロジェクト



多賀一雄氏が代表を務める『京都サイクリングツアープロジェクト』は、「日本文化を広く世界に知ってもらいたい」との思いを具現化するものとして設立。通訳ガイドが道案内を務め、当初から参加者の大半を外国人が占めている（上）。1グループ6名までのプライベートツアーでもあり、参加者のニーズに対し、きめ細かく柔軟に対応してもらえるという側面も持ち合わせている。古都ならではの景観を巡るツアーでは、自転車の機動力が遺憾なく発揮される（左・下）



中高年のニーズをしっかりと掴んだサポート：サイクリングツアーズジャパン



『サイクリングツアーズジャパン』では、愛車をトラックで現地まで運ぶ搬送サービス（下）や自転車のポジション調整、輸行のスクールなどメインとなる中高年のニーズを的確に捉えたサービスを提供。ガイドやサポートを務めるスタッフが、参加者と同じ中高年であるという強みを存分に生かし、リピーターを獲得する

しまなみ海道活性化の一翼を担って：シクロツーリズムしまなみ



地域住民のネットワーク組織である「しまなみスローサイクリング協議会」を母体に生まれた『シクロツーリズムしまなみ』は、地域をまるごと楽しむ新しい旅のスタイルの普及や提案を通じて、持続的な地域づくりを目指している。ツアーを催す回数は他団体に比べて少ないものの、それ以外に「しまなみサイクルオアシス」（農家民宿やガソリンスタンド、小売店などを営む地元住民がサイクリストのためにスペースを用意し、さまざまなサービスを提供するスポット）の普及に努めるなど活動は多岐に渡っている

平成23年度
自転車乗用に関する調査研究事業
報告書

-地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究-

目次

口 絵	地域活性化の一翼を担うガイド付きサイクリングツアー	1
	調査研究委員会名簿	6
	はじめに 財団法人日本サイクリング協会	7
	プロローグ①スポーツツーリズムの推進	8
	プロローグ②作成者側が語るサイクリングマップづくりの現状	11
	本調査研究の概要	14
	コラム（観光業を担うオーナーたちが立ち上がり、行政を巻き込んで始動）	16
	カテゴリー別マップの調査結果・分析	18
	座談：求められるサイクリングマップとは	21
	サイクリングマップへのひと言コメント	24
	コラム（サイクリングで“川、を観光商品化）	64
	主催4団体に聞くガイド付きサイクリングツアーの現状と課題	67
	コラム（おもてなしの心に基づき、サイクリストにサービスを提供）	74
	ガイド付きサイクリングツアー実走レポート	76
	コラム（行政区分をまたいで広域化）	86
	コラム（参加者に優しいジャイアントのサイクリングイベント・質の高いレンタサイクル事業を営む）	89
	コラム（スポーツ自転車のレンタサイクル、その勘どころは？）	92
	総括（まとめ）	94
	サイクリングマップ一覧表	付録

平成23年度「自転車乗用に関する調査研究事業」

-地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究-

-調査研究委員会-

委員長	蓮見 孝	筑波大学芸術系	教授
委員	坪田 知広	観光庁	スポーツ観光推進室長
	岩田 淳雄	(株)八重洲出版	サイクルスポーツ 編集長
	沢田 昌樹	時事通信社	整理部次長
	澤田 裕	フリーランス編集者	
	小野 絹代	サイクルライフナビゲーター	
	斉藤 円華	フリーライター	
	山本 耕治	(財)日本自転車普及協会	事業部長
	大久保 薫	(社)自転車協会	業務部次長
	北川 常夫	(財)日本サイクリング協会	理事
事務局	小林 博	(財)日本サイクリング協会	業務第一部 部長
	山口 文知	(財)日本サイクリング協会	〃 業務課課長
	矢島 淳	(財)日本サイクリング協会	〃 業務課課長補佐

(順不同)

はじめに

財団法人 日本サイクリング協会

本調査研究は財団法人日本サイクリング協会（「JCA」と略す）が、（財）JKAがおこなう平成23年度競輪補助事業による補助金の助成を受けておこなうものであり、本報告書は、平成17年度から7年間にわたり継続・発展的におこなってきた「自転車乗用に関する調査研究事業」の平成23年度の成果をまとめたものである。

本年度は、テーマを「地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究」とし、全国各地の公的機関等が発行している「サイクリングマップ」に焦点を当て、観光庁の協力も得ながら収集した221点のサイクリングマップについて分類、分析、評価をおこない、望ましいサイクリングマップのあり方をまとめるとともに、自転車乗用環境のあるべき姿について考究しようとした。また、サイクリングを地域活性化に結びつける新たな可能性として「ガイド付きツアー」に注目し、実際にツアーに参加しながら調査をおこない、その現状と課題についてまとめた。さらにマップづくりとイベント開催を一体的におこなうコンセプト会社、観光業を担うオーナーたちが行政を巻き込んでおこなう観光エリア開発、行政区分をまたいで広域的に実施される自転車イベント、自転車メーカーが質の高いサイクリストの育成をめざしておこなうサイクリングイベント、質の高いレンタサイクルの事業、地域が一体となっておこなう立ち寄りスポット運営等の事例について、コラムにまとめ紹介している。

観光庁は観光立国の実現に向けて、「スポーツ」と「ツーリズム」を融合させた「スポーツツーリズム」という概念を提唱し、その推進を図っている。スポーツを「観る」「する」旅行や、周辺観光も合わせておこなうというレベルから、スポーツを支える人たちとの交流や旅先で気軽にスポーツ体験ができる環境の提供など、これまでの旅行スタイルを変革し、地域活性化にも供しようとする動きが高まっている。サイクリングは旅行者が気軽に取り組み、かつ観光にも直接的に活用できるものであり、短期的に取り組めるとともに、長期的には多くの主体が連携し、広域観光コンテンツを創造する活動にもつなげられる効果的なスポーツツーリズムであるといえる。サイクリングは地域振興の切り札として今後さらに強力に活用され、さまざまな振興方策が推進されていくに違いない。

自転車は、ゆっくりと散策できるとともに行動範囲も広く、観光にも最適な乗りものである。さらに健康増進効果も高く、無排気で環境にもやさしい乗りものでもある。その効果を最大限に生かし、衰退が進む地域社会の活性化につなげたい。

本調査研究事業報告の詳細内容については本文を閲覧いただきたい。この調査研究事業の成果が、自治体や各種団体など自転車乗用環境の整備と利活用に関わる多くの方々に参照・活用され、自転車乗用環境の一層の改善に生かされれば幸甚である。

平成24年3月

プロローグ①スポーツツーリズムの推進

1. スポーツとツーリズムの融合と目指すべき姿

スポーツツーリズムとは

わが国にはプロ野球、Jリーグ、大相撲、競輪など国際的に高い評価を受け、すでに日本独自の文化となった「観るスポーツ」、そして豊かな自然環境や美しい四季を利用した、スキー、登山、サイクリング、そして今日盛んな市民マラソンなど、多くの人々が親しめる「するスポーツ」が存在する。

特に「するスポーツ」では、地域の自然環境を活用したラフティングやトレッキングなどのアウトドアレジャー、海洋国ならではのマリンスポーツやダイビングなどのオーシャンスポーツ、また、山岳国の強みを活かしたスキー、登山、ヒルクライム、パラグライダーなどのアウトドアスポーツは、わが国の観光振興においてきわめて高い潜在力を持っている。

わが国はアジア屈指のスポーツ先進国であり、スポーツを取り巻く環境も他のアジア諸国と比較して優位であることは間違いない。

スポーツツーリズムとは、こうしたわが国が優位なスポーツ資源・環境とツーリズムの融合である。

もちろんスポーツツーリズムは、スポーツを「観る」「する」旅行そのものや単に周辺地観光を加えたものだけではない。マラソンを沿道で応援する人などスポーツを「支える」人々との交流、あるいは旅先でも気軽にスポーツできるような「いつでもどこでも誰でも」がスポーツに勤しめる環境の提供など、これまでの旅行スタイルの変革を企図するものであり、健康と環境を重視し、スポーツの普及とスポーツを通じた地域活性化を目指すものである。

スポーツツーリズムで目指すべき姿

このようなスポーツツーリズムの推進は、観光立国日本の実現に大きく寄与することが期待されているが、その目標は大きく2つある。

1つが「より豊かなニッポン観光の創造」である。この目標はスポーツを通じて新しい旅行の魅力を創り出し、日本の保有する多種多様な地域の観光資源を顕在化させるといった、「スポーツをテーマにした観光魅力化による感動の実現、を意味する。この目標を関係者が共通に理解し、訪日外国人旅行者の増加と国内観光旅行の活性化を図っていくことが求められる。

もう1つが「スポーツとツーリズムのさらなる融合によるビジネスの創出」である。「スポーツ」と「ツーリズム」は実際はかなりの部分で重なりつつも、それぞれ別の概念として世界が分けられてきた。この両者を意図的にさらに融合させることで目的地へ旅する明確な理由を作り出し、これまでにない新しい価値、新しい感動が誕生することになる。と同時に、今までにないスポーツ産業、観光産業の新しい収益源となるビジネスを生み出すことができる。

スポーツツーリズムが登場した背景

このようなスポーツツーリズムは、従来の「団体バス旅行」型、「豪華宿泊囲い込み」型といった観

光旅行とは別個な流れで地道に成長してきた。個人参加型の大会参加ツアーの企画、イベント開催や大会・合宿誘致による誘客、プロチーム育成と地域間観戦交流など、切り口は地域や団体、旅行会社によってまちまちで小規模のものが多いながらも、団体から個人手配という大きな旅行トレンドに沿って発展してきている。

そのような動きに着目し、これを拾い上げ、観光立国実現の起爆剤となる「新しいニューツーリズム」として関係府省で連携して進める方向性が定まったのが、国土交通大臣を本部長とし、全府省の副大臣等で構成する「観光立国推進本部」の会議においてであり、ここで平成22年1月、政府の会議として初めて「スポーツ観光」が採り上げられた。

これを受けて観光庁が中心となり、スポーツ団体、観光団体、スポーツ関連企業、旅行関係企業、メディアおよび文部科学省など関係府省に呼びかけ、それらが一堂に会する「スポーツ・ツーリズム推進連絡会議」を同年5月に創設。会議では4つのワーキングチームも置いて1年あまりの間、精力的に調査審議を重ね、翌23年6月、国の方針であるとともに、事業者や地方公共団体職員の施策実施マニュアルともなる「スポーツツーリズム推進基本方針」（以下「基本方針」という）を取りまとめた。

この間、経済産業省の「競輪事業のあり方検討小委員会」にも観光庁として旅行会社とともに参画し、自転車競技の裾野拡大や新規顧客獲得の観点から観光との連携を提案するとともに「基本方針」作成に当たっての参考にしている。

2.スポーツツーリズムに期待する効果

観光立国推進基本計画への貢献

スポーツツーリズムは訪日外国人を2019年に2500万人にしようという「観光立国推進基本計画」（閣議決定）の達成にも大きく貢献することが期待されている。欧米の傾向では、旅行にスポーツの参加・観戦プランを組み込むことが3割～4割と高く、5%程度といわれるわが国と比べて大きな差がある。逆にいえば、それだけ伸びる可能性を持っているともいえ、中長期的にスポーツ参加（観戦）目的のイベントや旅行プランの充実、旅行先でのスポーツへのアクセス機会の充実は「訪日外国人旅行者の増加」「国内観光旅行の宿泊数・消費額の増加」に貢献できる。

さらにスポーツ観戦者・参加者（競技人口）の拡大につながることはスポーツ振興のみならず、健康増進、活力ある長寿社会づくりにも寄与し、特にアウトドアスポーツはバス移動が多く時間を占めていた従来の旅行に比べ、環境負荷の少ないエコでスマートなものとなり、スポーツに気軽に触れられる環境づくりは有給休暇の積極的な取得（「ポジティブ・オフ」）など日本人のライフスタイルにも好影響を与える。

なお、平成22年8月に文部科学省が策定した「スポーツ立国戦略」においても「国際競技大会の招致・開催支援、スポーツ・ツーリズムの促進」が盛り込まれている。昨年6月には「スポーツ基本法」が制定され、この3月に策定される「スポーツ基本計画」にも同様の趣旨が盛り込まれることとなり、関係府省を挙げて、スポーツツーリズムの取組をいっそう推進し、旅行産業にイノベーションをもたらすことが期待される。

3.基本方針の具現化

短期的取組

基本方針に示す内容の中で短期的に取り組めることでいえば、「スポーツが目的ではなかった旅行者が不意にスポーツをしたいと思ったときに、スポーツ施設情報とともにランニングマップとシューズ、サイクリングロードマップとMTBといったものの提供・貸出が受けられるサービスの普及」であろう。

また、同時に「観光案内所はもちろん、ホテルなどのコンシェルジュやフロントスタッフ、部屋置き資料などで宿泊者にあまねく利用可能なスポーツ施設やイベント、着地型スポーツツアー等の情報を提供すること」もすぐに着手できる取組である。

さらに多くの観光地が直面する二次交通不足の問題も、スポーツと健康を志向するスポーツツーリズムの精神を取り入れれば、観光バスでの目的地間の移動ではなく、ウォーキングとレンタサイクルを基本としてエコ・省エネ時代の要請にも応える形で捉えていくこととなり、あらゆる旅行がスポーツツーリズム化していくことが望ましい。

長期的取組

中長期でいえば、さまざまなスポーツツーリズム推進のためには、地域における関係者の連携と協働が不可欠であり、地域固有の資源を活用したスポーツコンテンツにより、誘客を図り魅力を発信することや、具体的な集客や経済効果が見込める国際競技大会、さまざまなスポーツイベントの開催に向けて、地域を挙げて取り組むことが必要である。

そして、その魅力的なスポーツコンテンツを活用し、国内外から旅行者を誘致し集客を行うための「旅行商品化と情報発信の推進」が重要である。「地域によるスポーツツーリズムのコンテンツづくりやスポーツ大会の開催」と「旅行商品化と情報発信の推進」の両輪が機能して初めて取組が持続可能となり、具体的な効果が生み出される。

このような短期的・長期的取組を産官学民で持続的に進めるために、スポーツとツーリズムそれぞれに関わる団体・企業・大学・自治体の参画を得て、関係府省も積極的に関わる形で「日本スポーツツーリズム推進機構」が今まさに立ち上がろうとしている。スポーツツーリズムが東北の早期復興に寄与し、日本を元気にする原動力となるよう、今後心を1つにして取り組んでいくこととなる。

参照：観光庁ポータルサイト「スポ・ツー・ナビ」※基本方針の全文・概要あり

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/sports/index.html>

プロローグ②作成者側が語るサイクリングマップづくりの現状

関西の6団体がマップづくりを核とする活動を紹介

1月21日、大津市旧大津公会堂を会場に自転車団体交流フォーラム in 大津「自転車マップとまちづくり」が催された。タイトルにあるように自転車団体（関西地区の団体）が一堂に会して各団体が手がけた自転車マップを発表、経験を交流するというものである。参加者は「おおつ環境フォーラム自転車にやさしいまちづくりグループ」、「自転車ライフプロジェクト (LLP)」、「自転車文化タウンづくりの会」、「堺・自転車のまちづくり市民の会」、「おおさか自転車マップづくりの会」、「(株)ワークルーム」の6団体。以下に各団体の発表内容を紹介しよう。

「おおつ環境フォーラム」は、クルマから自転車への転換を進めるため2001年に設立された市民団体で、会員数は40人。主な活動内容となる①サイクリングマップの作成、②サイクリングイベントの実施、③走行環境の改善推進は、その具体的な手立てとされている。

このうちサイクリングマップでは①大津市中心地、②栗津晴嵐ルート、③瀬田川周遊ルート、④瀬田・草津ルート、⑤大津京ルート、⑥坂本・唐崎ルートの6種を作成。手がけたマップでは、①周回のお勧めコースを示していること、②クルマと並走する道を赤、人・自転車専用道を緑で表示していること、③6種のマップが少しずつ重なりながら連なっていることが特徴となっている。地図にはレンタサイクルやサイクルショップも明示されており、地元の人に限らず、来た人が気軽にサイクリングを楽しめるよう配慮もされている。

主催するサイクリングイベントはこのマップの活用から始まったもので、年4回の定番イベント（参加者数は20人前後）と月2回の定例サイクリングを定期的に催している。現在の活動の重点はサイクリングマップづくりから走行環境の改善推進へと移行しており、車道への自転車優先レーンの設置を国土交通省国道事務所や滋賀県と大津市の道路部局、警察の交通部局などに働きかけている。

「自転車ライフプロジェクト」は、「自転車の本当の良さを見直し、自転車からの視点で様々な情報発信や事業を行うことで、心と身体の健康を実現し、市民が主役の自然と共生する社会作りに貢献する」を理念に掲げて2007年に設立。これまでに京都やその周辺を自転車で楽しむための詳細な地図として「京都自転車マップ」を、びわ湖一周サイクリングの公式ガイドとして「ぐるっとびわ湖自転車の旅」を作成。前者は通勤や通学、買い物など日常生活にも活用できる京都市内版と、京都周辺の市町村までの広域をカバーした京都郊外版とに分かれている。さらにその4年後に刊行された改訂版ではコースを全面的に見直し、付属する冊子もフルカラー化した。

同団体が作成するマップの特色は、いずれも市販されているということ。サイクリングマップが売れるという事実を示し、地図を発行する出版社が自転車マップ作りに取り組むようにとの願いからである。そのため掲載された情報は詳細を極めており、京都市内版の場合には地図を格子状に分割して200枚以上の調査カードを作成。大学のサイクリングクラブの協力を得ながら1年をかけて調査を実施した。

「堺自転車のまちづくり市民の会」は2004年に発足し、堺市が行う社会実験に協力してきた。その後、地図の作成とマナーの啓発を自発的にスタートさせ、昨年にはその第2版も発行された。

同団体では一般の人が通勤や通学、買い物やサイクリングに使えるものを目指しており、景色のいい写真の掲載など自転車に乗りたくなる情報が盛り込まれている。そして利用者の多い駅や観光地、ショッ

ピングセンターなどに拠点を定め、その拠点をつなぐ最適ルートを設定した。

堺市は南北には4つの鉄道路線（うち1つは路面電車）が貫通しているものの、東西を結ぶ公共交通機関は発達していない。マップに記載されたルートは、それを補完することも企図している。また、ルート近在にある観光スポットの抽出は最寄りに住むメンバーの情報に基づいており、試走の際にはそのメンバーがルートリーダーとなって道案内をした。

なお第2版において改善したポイントは、以下の通りとなっている。

- ①わかりにくい分岐は、写真と矢印でコースを誘導。
- ②自転車が苦手とする勾配は機器を用いて調査し、3段階に分類して状況を地図に記載。
- ③地図内にコミュニティサイクルポートの位置および利用方法、自転車店や観光資源の情報、ルールやメンテナンス法を記載。
- ④携帯しやすく、かつ見やすくするため、蛇腹式の折り加工に変更。
- ⑤引っ張りや折り曲げ、衝撃などに強い「ユボ紙」を採用。

同団体では地図の発行によりメディアに露出する機会も得られたことで、新規に15名が入会。さらに作成した1万5000部のうち、1カ月程度で半分ほどが配られたと語る。

「大阪自転車マップづくりの会」も、日常利用を想定した地図づくりをしている。そのためルートはあえて掲載せず、自転車で走りやすい道なのか走りにくい道なのかに関する情報を掲載し、市の中心部を北から順に作成した。この地図は梅田界隈の自転車店と大型書店での販売もしている。

「自転車文化タウンづくりの会」は、「通勤に使える道を確定させれば、市街地においてメインで使うルートが決まる」との発想に基づいて5つのルートを設定。その後、メンバーで走って実地に検証を行い、上町台地ではツアーも開催した。さらに国から市へと所管が変わる御堂筋が自転車で走りやすくなるよう、ルールやマナーの定着を図る活動も行っている。

編集プロダクションである「(株)ワークルーム」は、自分たちでメディアを持ちたいと「サイクル」(年4回)と名づけたフリーペーパーを発行している。同社では「詳細に過ぎる地図は、地図が苦手な人の拒否反応を起こしてしまう」と判断。紙面に掲載している地図は、「どういうルートかがわかればいい」と、あえて簡単なものにしていく。したがって、この地図のみを頼りに走行することはできないが、そのときはスマートフォンなどを活用すればと割り切っている。その代わり多くの人の興味関心を引くよう、色づかいなどきめ細かな配慮を施している。

奈良県の話題提起を受け、4団体の代表が意見を交わす

当日は奈良県土木部道路・交通環境課の竹林義之氏による「奈良県における取り組み」と題した話題提起を受け、4団体の代表による話し合いも行われた。まずは話題提起の内容を追ってみよう。

奈良県では自転車道を整備したもののあまり使われていない現状があり、利用の拡大にこだわって取り組みを進めている。観光資源に恵まれているという奈良の特性を生かそうと、観光利用に特化した取り組みを進め、1年ほど前には奈良県自転車利用促進計画を策定。県の現状については、①観光資源が広く分布している、②歴史的な空間が残されている、③移動手段や情報提供に課題があるといった分析結果を示している。

昨今では歩いて奈良を巡るという観光スタイルが定着しているが、それでは移動範囲に限られるため自転車に着目した。今は観光で訪れた人に少しでも自転車利用してもらえよう、乗り捨てのできる整

備を進めている。

自転車の利便性を高めるためには、レンタサイクルの拠点を数多く設け、広域で運用する必要がある。とはいえ各拠点がレンタサイクル事業だけで採算を確保することは困難であるため、本業の合間に貸し出しサービスもやってもらえるよう考えている。そして経費が掛かるのは乗り捨てられた自転車の回収ということで、それをできるだけ軽減するために工夫も凝らしている。

地図に記載する情報は地元の人たちに提供を広く呼びかけ、県は中身に対して口出しをしないとの姿勢を貫いた。

レンタサイクルにGPSを装着して利用者の走行ルートを検証したところ、用意された案内に従った走行がほとんどであったとの結果も得られている。飲食店を紹介することで、それが観光資源にもなった。利用者からも「予定外の立ち寄り観光ができた」という声上がるなど、この取り組みはおおむね好評だった。

県では幹線ネットワークの整備を掲げて600kmのルートを設定。すぐに効果が表れるよう、即効の対策は3年、走行空間の充実は5～10年だと、それぞれに応じた期限を定めて整備を進めている。

これを受けての話し合いでは、広域のネットワークを作る取り組みとして、奈良と京都を結ぶ八幡木津自転車道が取り上げられた。この自転車歩行者道には一部未舗装の区間があり、木津川のところで突然道が終わってしまうという状態であったが、両府県ではその整備とあわせ、これを一連のコースとして紹介しようという取り組みを始めた。また、これとは別にグルッとびわ湖でも、残されている旧街道をルートに取り入れる試みがなされている。

続いて、地図に記載する道を評価する基準に話が移った。スポーツ自転車に乗り始めたばかりの初心者、具体的にはカップルとファミリー、シニアを対象としているとの意見があり、その場合に多くの人々が歩道を走っている実情を鑑みれば、歩道の走行環境を調査するという考え方もありうるのではとの意見も出された。

レンタサイクルで電動アシスト自転車を用意するところが増えてきたことに関しては、スピードがアップすることでコース選択の自由度が広がると評価する声も。ただしそうなった場合には自転車の行動範囲をより広く想定する必要があり、前述したネットワーク作りとも絡めて連携を図る必要があるとの指摘がなされた。

現行のマップは、地図を読める人が対象となっている。そういう人の多くは情報量を求めるため、必然的に地図も情報を盛り込んだものとなる。一方でそうした地図は、苦手な人や年配の人にとって、字が小さくて見づらいといった障害にもなっている。このような問題を解決するためには、携帯端末を利用するなど紙に捉われない発想で地図づくりをすることが考えられる。現状でもウェブ版の輪の国のマップはスマートフォン対応をしていないのに、スマートフォンからのアクセスが2割程度を占めており、走りながら情報を入手したいというニーズがかなりあることがわかる。

これまでの地図づくりでは情報を1カ所に集めるという手法を採用しており、情報更新のスピードという点で問題があった。情報の送り手と受け手がネットワークによりダイレクトに結ばれると問題は解消されるが、今度は情報の信頼性をどのように担保するかが課題となる。

地図をどのように配布するかについて、近くまで来た人を対象に配布したほうが効率的との意見が出された。たとえばドライバーに対しては、訪れた県内にある道の駅で配ると最も効果的との結果が出されている。

本調査研究の概要

地域活性化に資するサイクリングマップに着目

(財)日本サイクリング協会では、平成23(2011)年度自転車乗用に関する調査研究事業を実施するに当たり、テーマを「地域活性化に資するサイクリング活用方策に関する調査研究」と定めた。そのうえで地域を活性化させるための重要な柱となる観光において、サイクリングが担う役割を向上させる方策を検討。その土地を訪れた人の指針となる、あるいはその土地を訪れようという気持ちを沸き立たせるツールであるサイクリングマップに着目し、地方自治体や観光協会など公的な機関が作成したサイクリングマップを観光庁の協力を得て全国から収集した。

結果、当協会に届いたサイクリングマップは221点に達した。それを配布方法、料金、発行部数、体裁、縮尺、高低差の表示、トイレやコンビニエンスストアの表示の有無といったさまざまな観点に従ってチェック。特に用途分類では①観光型(見どころや食べどころを訪れることがメインで、自転車は移動手段としての位置づけ。そのため道案内よりは各スポットの紹介に重点が置かれる)、②Ride型(サイクリングそのものを楽しむ人を対象に、迷いやすいポイントや危険なポイントなどを案内する)、③複合型(観光型とRide型の両方の要素が含まれる)、④S.T.型(=スポーツツーリズム型。複合型に加え、観光庁が提唱する「スポーツツーリズム」(8ページ参照)に合致する内容も盛り込まれている)の4つに分け、それらを一覧としてまとめた。さらに一部の項目はグラフ化し、全体傾向の把握にも努めた。そして、それぞれのマップがサイクリストにとって見やすく使いやすいものとなっているか、必要な情報が網羅されているかといった観点から比較検討。そこからS.T.型をメインに、望ましいサイクリングマップのあり方を明らかにした。

このサイクリングマップは、その制作を地域住民とともに進めることで作り手側が土地の魅力に改めて気づくこととなり、まちづくりにもひと役買っている。本報告書ではこの1月に催された「自転車マップとまちづくり」を取り上げ、その概要を紹介した。

ガイド付きのサイクリングツアーの体験・取材

サイクリングマップが地域の活性化に資するものとはいえ、それを頼りにレンタサイクルなり自分の愛車なりを駆って知らない土地を巡るとするのは、それなりに敷居の高い行為となる。この敷居を下げ、より多くの人に自転車で巡る楽しみを享受してもらおうと、10年ほど前から徐々に広がり始めているのがガイド付きのサイクリングツアーである。本報告書ではガイド付きのサイクリングツアーを営む4団体に取材し、そのノウハウや留意点などをまとめた。さらに岐阜県飛騨市と京都市、愛媛県西条市では実際にサイクリングツアーを体験し、その様子をレポートした。

先進事例を紹介するコラム

コラムで取り上げたのは、①「観光業を担うオーナーたちが立ち上がり、行政を巻き込んで始動～栃木県那須エリアの事例」、②「サイクリングで〃川〃を観光商品化～コンセプト株式会社の事例」、③「おもてなしの心に基づき、サイクリストにサービスを提供～しまなみサイクルオアシスをはじめとする立ち寄りスポットの事例」、④「行政区分をまたいで広域化～Mt.富士エコサイクリングをはじめとする

自転車イベントの事例」、⑤「参加者に優しいサイクリングイベント～ジャイアントの事例」、⑥「質の高いレンタサイクル事業を営む～グリーンサイクルステーションの事例」、⑦「スポーツ自転車のレンタサイクル、その勘どころは？」の7つ。いずれも地域の活性化に自転車を活用しようとする際に、参考となる事例である。

冒頭で述べたようにサイクリングは、観光庁が提唱する「スポーツツーリズム」において欠かせない柱の1つとなっており、全国各地でさまざまな取り組みが行われている。本報告書からもその一端を、垣間みることができるであろう。

なお本事業の実施に際しては、(財)JKAが行う平成23年度競輪補助事業による補助金の助成を受けた。

観光業を担うオーナーたちが立ち上がり、行政を巻き込んで始動

自転車ブームと言われる近年、各地で自転車を観光に活かそうという動きが生まれてきた。これまではその多くがトップダウン型のものであったが、トップダウン型は計画実行までの決断は速やかだが、事業を決定する集団と実行する部隊との間にギャップが生じやすく、実行部隊の自転車への関心やモチベーションが作業に伴わないため、実現した事業が実際のニーズとかけ離れたものになってしまうことも少なくない。そこで地域で実際に観光業を担うオーナーたちが立ち上がり、行政を巻き込んで力強く動き始めている栃木県那須エリアの事例を紹介しよう。

この場合の那須エリアに含まれる対象地域は、那須町だけでなく那須塩原市、旧那須郡を含む。今年1月、ここに那須高原オールスポーツアソシエーション（NASA）という集団が創設された。母体になったのは、昨年に第1回大会が開催された那須高原ロングライドの実行委員会である。

そもそものきっかけは自転車愛好家で、那須の魅力をよく知る写真家やイベント会社の社長らがサイクリング大会の誘致を考えていたところに、那須観光協会の理事である観光牧場やペンションや温泉などのオーナーが自転車の可能性を感じて賛同。さらに栃木県内のプロロードレースチームである宇都宮ブリッツェンの強力なバックアップを得て大会の実現に向けて動き出した。もともと地元への思いが強く、那須の魅力を伝えたいと願うメンバーが一致団結した集団の行動力には目を見張るものがあった。

自転車未経験だったオーナーたちは、めいめいがスポーツバイクを購入。那須エリアは自然が豊かで標高差があり、ロングライドやヒルクライムイベントの開催も可能なら、標高差の少ないコースで観光スポットを巡る設定も可能だ。首都圏から2時間半と、休日のレクリエーションの場としてロケーションが手頃な点も幸いするだろう。オーナーたちは那須の魅力を活かすのに、自転車が最適なツールだと確信したのだ。

もちろんこれは勢いだけで突き動かされたわけではなく、冷静な状況判断と会合を重ねたうえでの活動だった。那須はすでに観光地としては有名な土地だったが、いわゆる箱モノ施設に支えられ



木陰のエイドステーションでひと息入れる

ているという脆弱さがあった。同じ施設を何度も訪れる客は少なく、自動車専用道の無料化や割引の影響も重なり、以北の観光地に観光客が流れていくようになった。それよりは御用邸があり、自然豊かでもある環境そのものを売りにして、自然を体感してもらえる観光を提唱し、那須を活性化させようという意見に皆が共感、賛同したのだ。

那須高原ロングライドは大成功に終わり、地元の理解も一気に広がった。那須の施設のオーナー、従業員からなる「那須オーナー会」の自転車サークルも始動し、「サイクリストの気持ちになったおもてなし」に着手し始めている。もてなしのプロであるオーナーたちがサイクリストとなり、サイクリストのために「かゆいところに手が届く」環境を整えようとしている。那須町長も自らロードバイクを購入。場所提供などイベント開催への協力のほか、那須町として施設へのバイクラックの設置補助や、将来的にはサイクルステーションの設置も検討。観光商工課も今後のNASAとの連携に前向きだ。観光協会もイベントへの協賛をし、各種の協力を申し出ている。今後NASAはイベントの運営のほか、サイクリングマップの作成や自転車専用レーン設置への具申、自転車の初心者講習会、サイクルステーションの運営など、行政や宇都宮ブリッツェンとも協同する形で進めていくそうだ。「健康や環境の改善、マナーとスキルアップを図りつつ、気持ちよく道路を走るという安全な街づくり」も目標の1つだという。

急激な展開を見せているものの、まだこの事業は動き始めたばかり。来訪客からの意見も取り入れながら、必要な改革や最良のスタイルを探している状態にある。苦労も多々あるはずだが、メンバーの1人は「こんなにわくわくする事業は初めて」と語る。企画側と訪問客が互いに参画して事業を展開させていくことが、非常に楽しいという。

那須では自転車というツールを介し、自分たちが愛する土地のすばらしさを知ってほしいと願う人々の想いが1つに結集した。来訪客の立場になって考え、「おもてなし」の本質に迫るともいえる取り組みを重ねるなかで、那須はもっと洗練され、来訪者を魅了する土地になっていくに違いない。



那須を象徴する牛乳パックのモニュメント

カテゴリー別マップの調査結果・分析

今年度の調査研究に当たって、全国のサイクリングマップを収集して評価することを目的とした。

観光庁スポーツ観光推進室の協力により全国へ地図の送付とアンケートの依頼を行った。

結果として個別に手に入れたものを合わせて227件の情報となり、185件のアンケートの回答と221点のサイクリングマップがそろった。

これらを都道府県別に集計すると右図になる。

この中で群馬県の数が多いのは、利根川・渡良瀬川水系の河川に沿って整備された自転車道・サイクリングロード（全22路線）のガイドマップがあるためである。この他にもそれぞれの市内（全11市）のサイクリングロードネットワークも整備し、地図を発行している。

埼玉県についても、自転車道（7路線）の整備と地図の発行がされている。他にも埼玉県では「じてんしゃ王国」を謳いルート100を決定し、サイクルネットワークと自転車の駅ミニストップに空気入れやサイクルラックの整備を行っている。今後、さらに地図が増えていくことが予想される。

同様の動きは千葉県でも始まり、サイクルツーリズムの推進をし始めている。サイクルステーションの整備によりトイレ、食事、休憩スポット、サイクルラック、空気入れ、工具の貸し出しサービスを行っている。今後、サイクリングマップの発行が進むと考える。

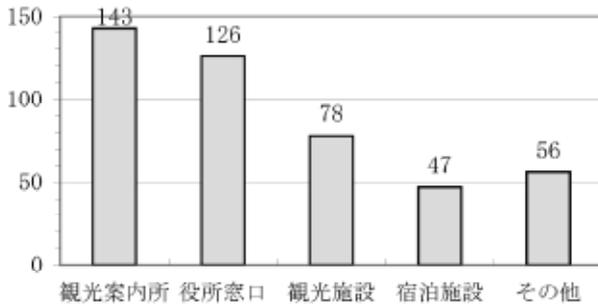
長野県は、白馬村観光局が発行する白馬小径が半数近く（6点）を占めている。

奈良県については、自転車道と「奈良レンタサイクル古都りん」の取組（10点）によるものである。

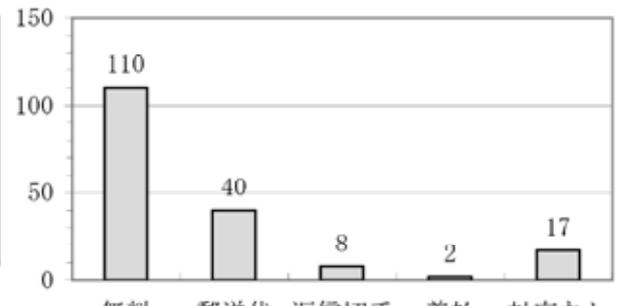
愛媛県は、「しまなみ海道」による効果と「シクロツーリズムしまなみ」の活動（7点）による。



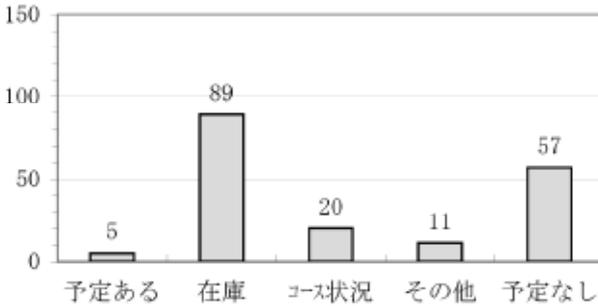
都道府県別の発行元一覧



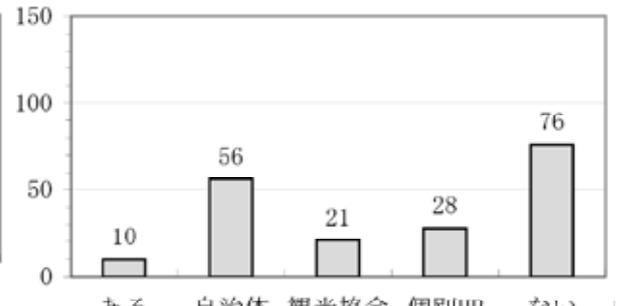
地図の配布場所 (方法) について (複数回答)



郵送希望に対して過半数 (6割) が無料送付



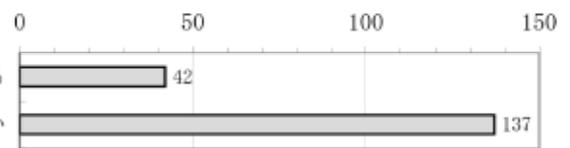
内容更新・増刷の予定



web掲載とホームページ

増刷については半数近くが在庫がなくなった時点での増刷を予定しているが、本来はコース状況の変化に伴っての更新が望ましい。更新・増刷の「予定なし」が3割を占めていることが残念である。

自治体や観光協会のホームページで公開されているものもあるが、まだまだ数が少ない。今後、増えていくことを期待する。情報の整備・更新を考えた場合、ホームページを利用することが効果的・効率的である。



マップコース内のサイクリングイベント

サイクリングマップの体裁・サイズについては、

広げた際の「用紙の大きさ」／「折り方」あるいは「綴じられたサイズ」×「ページ数」で示した。

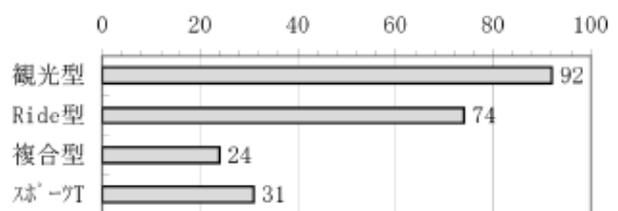
地図上にモデルコースが示されているものは、紹介されているモデルコースの数と距離 (km) を記した。

サイクリングマップ作成時の用途・目的を尺度として、マップを次の4種 (①～④) に分類した。

- ①観光型：エリア内を巡る観光ガイドを目的としたもの。
- ②Ride型：サイクリング道路・コースの紹介が主でロングライドなどある程度の距離を走行することに主眼を置いたもの。
- ③複合型：上の2つを合わせたもの。
- ④スポーツツーリズム：スポーツ (サイクリング)

による地域振興を目指したスポーツツーリズムに適していると思われるもの。

地図において重要であると思われる縮尺の表示については、示されている数値または標尺 (スケールバー) から算出した値を記載したが、縮尺のわから



サイクリングマップの用途分類

ないものについては問題があると考えます。また、距離でなく所要時間を示したものについては、設定されている速度の注記がなければ実用的とはいえません。

方位についても、多くのものは北を上としたNorthUpであるがレイアウトの都合により方位

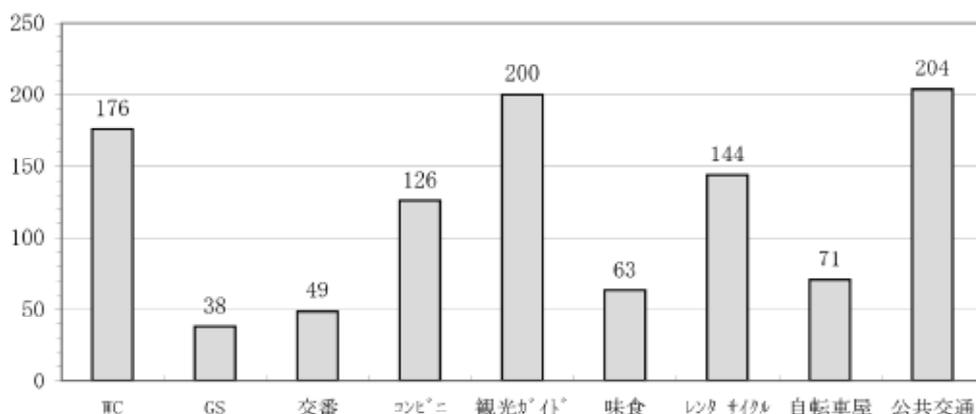
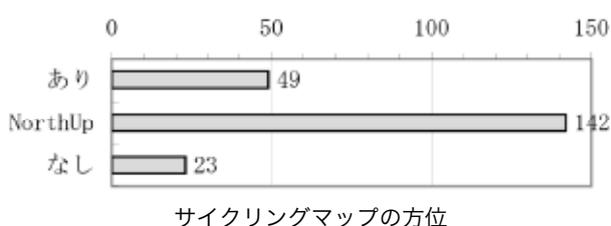
記号が示されていなければ、方位が判明しないものも1割程度あり、土地勘のない相手に提供するには問題がある。

高低差を示す情報として、国土地理院の地形図を利用して等高線が示されているものやモデルコースのプロフィールマップ（縦断図）や勾配の程度を矢印（>）で示したものは有効な情報である。これについては、自転車走行が起伏に大きな影響を受けることから、サイクリングマップとしては重要なことである。

凡例で、トイレ（WC）、ガソリンスタンド（GS）、交番（空気入れを置いてある可能性がある）、コンビニエンスストア、観光スポット、名物（うまいものどころ）、レンタサイクルの情報や自転車店・最寄り駅の位置（公共交通）が示されているかをチェックした。この他に特徴的なものとして自販機の位置を示しているものがあった。

なお、収集したサイクリングマップを分析した一覧は、本調査報告書の巻末に付録として掲載されているので、こちらも合わせて参照されたい。

なお次ページから北川、小林、澤田の三氏による、サイクリストにとって望ましいサイクリングマップのあり方を巡る座談の様相を収録した。いずれも20年を超えるサイクリングキャリアを有する経験者であり、初心者視点の欠けているとの指摘は甘受せざるを得ないが、収集されたサイクリングマップにひとわり目を通したものの意見として参考にしていただきたい。



座談：求められるサイクリングマップとは

北川常夫（財団法人 日本サイクリング協会 理事）

小林 博（財団法人 日本サイクリング協会 業務第一部部長）

澤田 裕（フリーランス編集者）

●正確性は必須の条件か？

澤田：本調査を始めた段階では、実際に走行する場での使用に向かない（簡略化されている、あるいはデフォルメされている）地図の評価は低いものだったが、実用に耐えるものかというと、どうしてもサイズが大きくなり詳細を極めることになる。ただ、はたしてそれを多くの人が望むかということ、疑問を感じざるをえない。

北川：確かに紙の地図以外に選択肢がなく、フロントバッグ上面に地図を入れるという使い方をしてきた時代と異なり、昨今はインターネット上に地図があふれている。GPSやナビゲーション機能の付いたスマートフォンなら位置情報はリアルタイムで表示され、紙の地図に詳細な情報を求める必要性は低くなった。

澤田：そうすると今のサイクリングマップに求められるのは、やはりガイドブックと同様、いわゆる観光情報を提供するところにあるとっていいのでは？

小林：いや、全体での位置関係やコースの概要を把握し、目指す場所がどこにあるかを知るには、やはり旧来からある紙の地図が最も使い勝手がいい。

北川：そう、観光情報の提供をメインとしたものに多い、方位が記載されていない地図など、まずはその地図がどちら向きであるかから確認しなければならない。このようにどんな地図であっても、ある程度の正確性は担保されていなければならない。

澤田：初めての土地を訪れた場合、方位が記されていても余り役に立たないのでは？ 道に迷ったときには、方位より道の線形（道幅や分岐する道の角度など）から現在位置を確認することになる。これは前言と矛盾するが、その点では詳細な地図のほうがいい。

小林：道の線形がわかるほど詳細でなくても、高い建物でも大きな構造物でも、目印となるものが地図に記載されていれば、それで位置関係を把握することができる。

澤田：琵琶湖を一周する「ぐるっとびわ湖サイクルライン」には随所に案内標識が設置され、これが目印として地図とともに機能している。特に迷いやすい場所など現地の案内標識を活用すれば、地図が煩雑になることはなく道迷いを防ぐ効果も大きい。

北川：それはしまなみブルーのような路面表示を、全国に広めることにもつながっていく。

小林：一昨年の調査報告書で触れたサンフランシスコやロンドンのルート標識では、そこに記載された特定の番号をたどっていくと、目的地に到着できるようになっていた。

澤田：GPSやスマートフォンの弱点は、画面に表示される範



囲が限られるため、近くに寄り道したらいいところがあっても、気づくことができないところにある。北川：そう、GPSだけを頼りにして走ってもダメ。サイクリングマップなど観光資料を活用して事前に調べ、情報を把握してから出かけないといけない。特にレンタサイクルやサイクルショップなど自転車に関わる情報は、サイクリングマップの独擅場となる。

澤田：等高線が記されていれば汎用の地図でも勾配はわかるけど、勾配のきつさを表す記号や、実際に走った人の「勾配がきつい」などといったコメントが付されているとありがたい。それ以外に「路肩の幅が狭い」とか「路面が荒れている」といった情報は、汎用の地図から読み取ることはできないので、サイクリングマップならではの強みが発揮される。

●サイクリングマップの存在を知らしめるには

小林：今回収集した地図は、程度の差はあれサイクリストのニーズに応えるものとなっているのだが、せっかくの地図もそれを求める人が、存在に気づいていないのが問題。

北川：そういう意味では今回の調査研究で一覧にしたということは、うまく公開すれば役に立つはず。

澤田：本調査報告書の一覧を、観光庁のサイトで公開してもらおうといいのでは？ 一覧にある地図の多くは、地方自治体や観光協会などそれぞれのサイトで公開され、ダウンロードすることができる。インターネットに接続する環境が前提となるものの、入手すること自体はとても容易になっていることを実感した。

北川：サイクリングマップの収集と併せて実施したアンケートの結果を見ると、地図の配布場所では7～8割が観光案内所となっている。鉄道を利用してある場所に行ったら、まずは駅の最寄りにある観光案内所を訪ね、そこでサイクリングマップなど観光資料を入手する。これが1つの定番となっている。

澤田：確かに11～13ページで紹介した交流フォーラムin大津「自転車マップとまちづくり」の場でも、奈良県庁の職員の方が「やみくもに地図を配布するよりは、近くまで来た人を対象に配布したほうが効率的。たとえばクルマを利用して奈良県を訪れた人に対しては、県内にある道の駅で配布するとリピート率も高い」と語っていた。質の高い観光資料を用意することが、訪れた人の評価を定着させるのにひと役買っていることが見て取れる。

北川：もちろんその前提として、それぞれの土地を「訪れてみたい」という欲求を喚起し、足を向けてもらうことが必要となるわけだが、地元が用意する観光資料でそこまでフォローするのはさすがに手に余る。

●サイクリングマップに求められる情報の中身

北川：サイクリングマップでは「自転車安全利用五則」をはじめ、乗車する際のルールやマナーに触れているものが多く見られるが、これをどう評価すればいいだろうか。

澤田：観光協会にフラッと立ち寄った人がサイクリングマップを手にし、自転車（レンタサイクル）に乗ることを考えれば、経験者にとってわずらわしいと思われることでも載せたほうがいい。

小林：少なくともサイクリングマップを作る側の責任として、自転車を推奨する以上、最低限のルールとマナーについて記載することは必要だ。

北川：コースに関してはどうだろう？ 観光向けのサイクリングマップでは観光スポットの紹介がメインであり、コースの紹介は重視されていない。その場所に来てもらえるなら、どのコースをたどってもいいという発想だ。あるいはコースを紹介しているものでも、それが自転車の走行にとって最適なもの

であるかどうかはわからない。

小林：サイクリングマップと謳う以上は、少なくとも危険なポイントを避けたものにして欲しい。また、脇道があるのなら、その道も紹介して欲しい。自転車向けのルートかどうかという検討が、これからのサイクリングマップに求められる。

澤田：観光スポットの紹介でも、開館（営業）時間や休館（定休）日、入館（入場）料といった基本データに加え、駐輪場の有無など自転車に特化した情報も必要。昨年の調査報告書の巻頭コラムで触れたバイクラックの設置とからめるなら、その整備を進めようとする場合、サイクリングマップには整備状況を記載してもらいたい。

北川：埼玉県が、自転車の駅としてコンビニエンスストアにバイクラックと空気入れなどを整備し、それを地図に記載している。

●サイクリングマップを作成する目的が重要

北川：しまなみ海道の地図を例に挙げると、「シクロツーリズムしまなみ」が作成した「しまなみ島走Map」は、島そのものを走って楽しむことを目的に作られている。一方、「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」が作成した「しまなみ海道サイクリングマップ」は橋がメインとなり、島内のコースは橋と橋の間を最短でつなげたものとなっていて、目的が異なっていることがわかる。

小林：大分市では、以前から道幅を明記した地図を作っている。

北川：その地図では「穴ぼこ110番」という、利用者が道路管理者に問題点を通報する制度について触れている。国道・県道・市道という分類に応じて連絡先を明記したもので、サイクリストともに環境の整備を図り、サイクリングマップの質を向上させていこうとの意図が感じられる。

澤田：NPO法人などが作成した地図の一部に見られたのが、地図作成が自己目的化し、できあがった地図がその団体の活動報告のようになってしまっているもの。実地の調査で得られた情報は貴重ではあるのだが、利用者の視線を欠いているため見づらかったり見る気が起こりにくかったりする。

北川：「HAKKAISAN pedal map」は、駅に降り立って八海山を目にしたときを想定して地図が作られている。そのため東が上と地図の原則から外れているものの、かの地では八海山を背後にして位置を確認するのが当たり前となっているのだろう。その点で地元住民の感覚にマッチした地図となっている。イラストを描いた作者がサイクリストということもあり、見ていて楽しく実用性も高い。詳細であるかどうかなど外見がどうであるかにかかわらず、作成した目的が明確であって、その目的に沿った情報が適切に掲載された地図が、高い評価を得ることになるはずだ。



サイクリングマップへのひと言コメント

収集したサイクリングマップについて、それぞれ特徴がわかるようにコメントを付した。巻末の一覧表と合わせてご覧いただきたい。

■サイクリングマップ旭川

- 記載されたコースは3つ（神居古潭コースは現在通行止）市内4つ。いずれも旭川駅が起点となっている。これらのコース以外に、その他のサイクリングロードがある。
- 旭川神居古潭コースとその他のサイクリングロードには、点線と実線という区別はあるものの同じ色が用いられているため、やや判読しづらい。
- 距離と所要時間が示されているが、「ゆっくりサイクリング」での目安と記述されている。
- 広域図と市内中心部の拡大図（+旭川駅周辺マップ）が表裏になっている。
- コース中の数カ所に、「少しきつい上りあり」といったコメントが付されている。
- 立ち寄りポイントのリストがあり、そこには概説のほか住所と電話番号、旭川駅からの距離と所要時間が明記されている。ただし、営業時間（開館時間）や定休日（休館日）、入館料などの記述はない。
- ラーメン屋とスイーツの店のアイコンが表示されている。
- レンタサイクルの貸し出し場所は、旭川駅構内にある旭川観光情報センターと常磐公園内にある常磐館となっている。この場所は広域図や拡大図には表示されておらず、旭川駅周辺マップにのみ表示されている。

■びえいしるがねサイクリングマップ

- 地図が抽象的すぎるため、実用に耐えるかどうか疑問。
- 立ち寄りポイントが地図内に示されてはいるもののコースから少し外れたポイントに関しては、そこまでの道が省略されてしまっている。
- 立ち寄りポイントに関する基本的な情報は記載されていない。
- 各コースの起伏図（プロフィールマップ）が示されているため、コースを選択する際の目安となる。
- 地図の下部にある十勝連峰の写真は、コースと照らし合わせた場合に位置関係が合っているかどうか不明。
- 各コースは白金インフォメーションセンターが起終点とされているようで、そこにはレンタサイクルも用意されているようだが、このセンターの開館時間や休館日、レンタサイクルの利用時間などは示されていない。各コースを走行した場合の利用料金のみ示されている。



■倶知安サイクリングマップ

- ベースとなる衛星写真（Google Terr Metrics）に一周のコースや立ち寄りポイント、トイレ、コンビニエンスストアなどが上書きされている。
- 裏面にはコースが4つ。それぞれコースの概要と必要な体力度、距離、目安時間が明示され、さらに地図内にはコメントが付されており、コースを選択する際の参考に役立つ。
- 簡単なサイクリングのマナーも示されている。

■富良野サイクリングコースマップ

- 合わせて14のコースが紹介されている。
- それぞれのコースは国土地理院の地形図をベースに上書きされているため、正確に把握することができる。
- 各コースには概要のほか所要時間や距離、コース内の立ち寄りポイントなどが示されている。
- 冒頭に自転車通行のマナー、メンテナンス、交通ルール、道路交通法などについてきわめて詳細に記されている。
- 日の出や日の入りの時間、平均気温（最高&最低）も示されていて、遠隔地の人が富良野の気象条件を判断する際の目安が示されている。

■ニセコサイクル

- 和文と欧文が併記されており、外国人もそのまま利用できる。
- 表面にサイクリングコースが9つ、裏面にマウンテンバイクコースが7つ紹介されている。
- サイクリングコースには距離と所要時間、レベルが明示され、目安となる高低図も付されている。
- サイクリングコースの地図は細い道が省略されており、分岐を見過ごしたり、分岐で迷う可能性もある。
- サイクリングコースには立ち寄りポイントが合い番を用いて示されている。各立ち寄りポイントは名称のみとなっているため、そのポイントの詳細は不明。
- マウンテンバイクコースの地図は小さいもので、常設コースを除けば、この地図だけで走行するのは困難と思われる。

■寒河江市・東根市・天童市観光マップ

- レンタサイクルの案内チラシがメインとなっており、その裏面を利用して地図が掲載されている。そのため立ち寄りポイントの概要と電話番号など、掲載された情報は必要最低限に限られている。

■バスと自転車で巡るいわて平泉

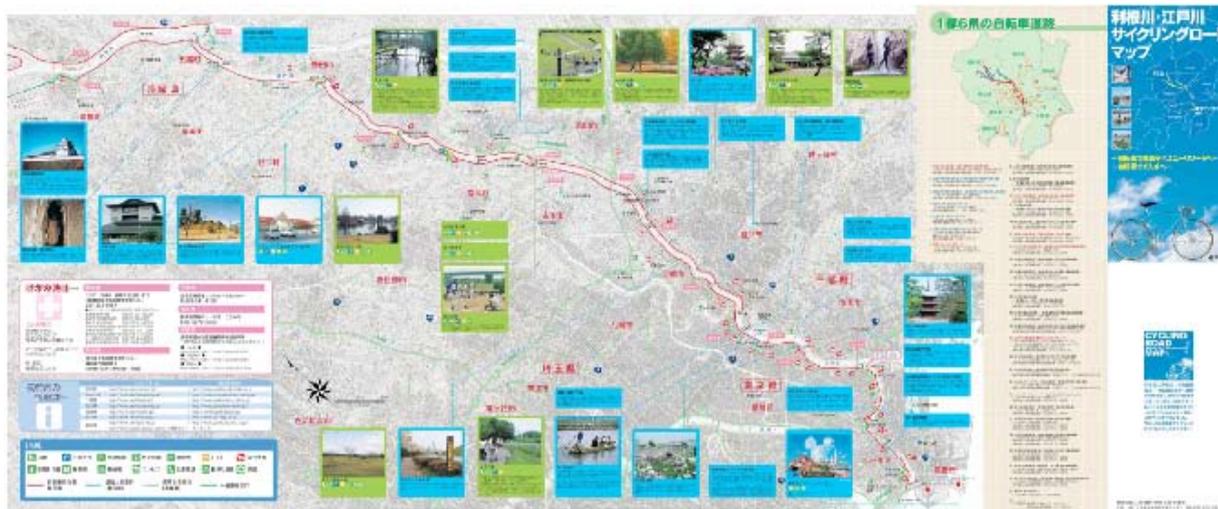
- 標題にあるように、平泉の文化遺産をバスと自転車で巡るツアーの紹介がメインとなっている。そのため地図や立ち寄りポイントの紹介のほか、同時に利用するバスの時刻表や路線図なども掲載されている。
- 立ち寄りポイントは飲食店がメインで、営業時間と定休日、電話番号、収容人数、おすすめのメニュー、最寄りのバス停が掲載されている。
- フリー乗車券を提示したときの割引特典が付されている。
- 地図上に自転車のコースは示されてはならず、アイコンもトイレや駐車場などに限られる。そのため

サイクリングマップとしての実用性は低い。

■利根川・江戸川サイクリングロードマップ

○渋川から舞浜まで利根川（渡良瀬川）、江戸川のサイクリングロード約170kmを国土地理院の数値地図（1/25,000）を基本に図示している。利根川自転車道ガイド、高崎伊勢崎自転車道ガイド、桐生足利藤岡自転車道ガイドの集成版。

○同じものを群馬県と埼玉県とで発行している。



■利根川自転車道ガイド／高崎伊勢崎自転車道ガイド／桐生足利藤岡自転車道ガイド

○大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の数値地図1/25,000をベースに、自転車道と沿道の立ち寄りポイント、コメント、トイレや水のみ場、サイクルショップ、コンビニエンスストア、駐車場などを示すアイコンが掲載されている。

○コース上のわかりづらい箇所には拡大図も示されている。

○立ち寄りポイントには概要のほか電話番号、営業時間、定休日、アイコン、写真が掲載され、その場所の特徴がひと目でわかるようになっている。

○ベースが地形図ということで細かい道まで表示されており、コース沿いでない立ち寄りポイントへのアクセスも読み取れる。

○高低図はないものの、コース上の勾配がきついところは明示されている。

○コースの概要が、散文として示されている。

■蛇川（石田川）ほかサイクリングロードガイド

○自転車の特性をわかりやすく解説した「自転車のススメ」が併載されている。

■鮎川ほかサイクリングロードガイド／高田川ほかサイクリングロードガイド／玉村渋川サイクリングロードガイド

○特記なし。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（前橋版）

- サイクリングロードをはじめ自転車の乗用に適した道を連結し、整備を図ろうという「サイクリングロードネットワーク計画」に基づいて作成されている。そのため計画の解説と、計画に基づいた実際の施工例などが掲載されている。
- 前橋市発行の都市計画基本図（1/2,500）をベースに、計画に組み込まれている道路が種別（歩道を利用した区間、路肩を利用した区間、サイクリングロード）に表示されている。
- エリア内の立ち寄りポイント、駐輪場、トイレ、水のみ場、コンビニエンスストア、サイクルショップなどはアイコンで表示されている。
- なかでもメインとなる立ち寄りポイントは、概要と写真も掲載されている。
- おすすめのコースが2つ紹介されており、これは地図上に示された合い番を色分けすることで区別されている。
- 自転車の特性をわかりやすく解説した「自転車のススメ」が併載されている。



■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（高崎版）

- 高崎市発行の都市計画基本図（1/2,500）をベースに使用して作成されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（渋川版）

- 渋川市発行の全図（1/20,000）をベースに使用して1/10,000として作成されている。
- サイクリングロードネットワークとは別に「アルテナード（芸術の散歩道）」が紹介されており、沿道の立ち寄りポイントは写真と開館時間、休館日、入館料、電話番号が記されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（沼田版）

- 沼田市発行の全図（1/10,000）をベースに使用して1/5,000として作成されている。
- 自転車の昔話が併載されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（伊勢崎版）

- 伊勢崎市発行の全図（1/20,000）をベースに使用して1/10,000として作成されている。
- 花暦と伊勢崎市サイクリングロード全体マップが併載されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（安中版）

- 安中市発行の都市計画図をベースに使用して作成されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（富岡市）

- 富岡市発行の1/10,000地図を使用して作成されている。
- サイクリングロードネットワークとは別に「おすすめコース」が紹介されている。
- メインとなる富岡製糸場ともみじ平総合公園は、大判の写真と概要、アイコンが掲載されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（藤岡市）

- 藤岡市発行の都市計画区域図（1/10,000）を使用して作成されている。
- サイクリングロードネットワークとは別に「おすすめコース」が紹介されている。
- メインとなる群馬の森は、大判の写真と概要、アイコン、園内地図が掲載されている。
- 雲の種類を説明したコラムが掲載されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（桐生市版）

- 桐生市発行の都市計画基本図（1/2,500）をベースに使用して1/5,000として作成されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（館林市版）

- 館林市発行の都市計画基本図（1/2,500）をベースに使用して1/5,000として作成されている。

■サイクリングロードネットワーク おもしろMAP（太田市版）

- 太田市発行の都市計画基本図（1/2,500）をベースに使用して1/10,000として作成されている。
- おすすめのコースが3つ紹介されており、これは地図上に示された合い番を色分けすることで区別されている。

■駅からチャリマップ

- 標題にあるように、埼玉県内の主要駅から、最寄りの立ち寄りポイントを巡るコースを紹介したものの。それぞれレンタサイクル（名称、住所、料金、営業時間、定休日、貸し出し台数）も掲載されており、手ぶらで訪れても楽しめるようになっている。
- それぞれのコースには、各ポイント間の距離と所要時間、立ち寄りポイントの概要や料金、営業時間などが示されている。地図が小さいため判読に難はあるものの、コメントやトイレ、コンビニエンスストア（「自転車の駅」となっているミニストップのみ）などのアイコンも載せられていて、実用に耐えるものとなっている。

■利根川・江戸川サイクリングロードマップ

- 群馬県と埼玉県が同じものを発行している。

■利根川自転車道ガイド

- 大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の数値地図1/25,000をベースに、自転車道と沿道の立ち寄りポイント、コメント、トイレや水のみ場、サイクルショップ、コンビニエンスストアなどを示すアイコンが掲載されている。
- コース上のわかりづらい箇所には拡大図も示されている。
- 立ち寄りポイントにはアイコン、写真が掲載されている。
- ベースが地形図ということで細かい道まで表示されており、コース沿いでない立ち寄りポイントへのアクセスも読み取れる。
- 高低図はないものの、コース上の勾配がきついところは示されている。
- 裏面には埼玉県内の自転車道一覧のほか、1都6県の自転車道の一覧も示されている。

■比企自転車道ガイド

- 大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の数値地図1/25,000を複製している。
- 荒川自転車道、県央ふれあいんぐロードも示されている。

■芝川自転車道ガイド

- 大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の数値地図1/25,000を複製している。



■江戸川自転車道ガイド

- 大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の数値地図1/25,000を複製している。
- 掲載されている自転車道は埼玉県が管轄するもの、および部分のみで、江戸川の対岸に延びる江戸川左岸自転車道（千葉県が管理）や江戸川自転車道の葛飾橋から下流部分（東京都が管理）などは明示されていない。

■入間川自転車道ガイド

- 大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の数値地図1/25,000を複製している。
- 自転車のルール、服装と持ち物、体のことについて記述されている。

■荒川自転車道ガイド

- 大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の数値地図1/25,000を複製している。
- 鴻巣市サイクリングロード、県央ふれあいんぐロード、比企自転車道、入間川自転車道、あげおサイクリングロード、新河岸川サイクリングコース、秋ヶ瀬緑道などが示されている。

■自転車みどころスポットを巡るルート100

- 100のルートの中から厳選した10ルート（17、20、32、34、62、64、74、76、85、99）を紹介している。他のルートはホームページ（<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/gurutto/gurutto-route100.html>）を参照。
- 自転車安全利用五則が示されている。

■ちちぶサイクリングマップCLELE 秩父鉄道秩父駅START&GOAL／ちちぶサイクリングマップCLELE 西武鉄道西武秩父駅START&GOAL／ちちぶサイクリングマップCLELE 羊山公園ミュージアムパークSTART&GOAL

- ベースとなる国土地理院の地形図には『ぼかし』を用いた高低表現が施されており、表面の全域図には「ちちぶサイクリングトレイン」でも利用されているコースが上書きされている。
- 裏面は3カ所のエリアマップとなっていて、こちらにもコースが上書きされている。
- 秩父市街と札所付近には拡大図が付されている。

■サイクリングガイドちちぶ

- おすすめ8ルートがそれぞれの地図で示されている。1～4のルートは白地図に道路、鉄道、河川とルート情報が示されている。5～8のルートはレリーフ表示の地図としているが、高低差は判別できない。
- 空気入れの設置場所のアイコンがある。要注意箇所アイコンもあるが1地点（浦山口駅南の狭い林道）のみ。
- サイクルイベントの案内、おすすめ8ルートの花の見どころスポット、グルメ情報、無料駐車場、レンタサイクル等の一覧が記述されている。

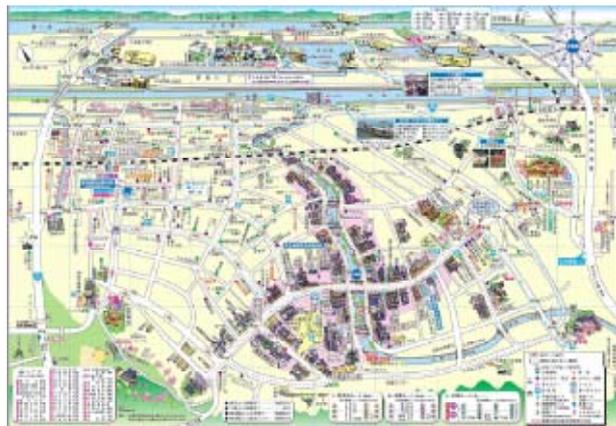


■埼玉協自転車マップ

- 5つのエリア（県北・県東・県南・県西・秩父）ごとに地図が発行されている。
- 縮尺5万分の1で簡略された地図にサイクリングロード・コースが示されているが、どちらも赤線のため区別ができない。
- 周囲に見どころと旨いところが写真とグリッド位置（例A-1）、住所で示されている。

■水郷さわら観光MAP

- 絵地図にA（11km）、B（20km）のコースと3つの徒歩ルートが示されている。
- 縮尺、距離は判別できないが右上隅に忠敬橋から主要な10地点への方向と距離が示されており、きれいで見やすく楽しい地図である。



■まつどサイクリングMAP

- 江戸川左岸の松戸・野田・関宿自転車道と市内の名所を紹介している。
- 自転車安全利用五則を掲載している。

■横須賀サイクリングロードマップ

- 国土地理院の2万5千分の1地形図を複製して1/43,000としている。
- おすすめコースとして10,000mプロムナードコース、北下浦海岸コース、西海岸コースの3コースが紹介されている。
- 死亡事故発生地点、重大事故発生地点、自転車関係事故多発区間などが示されている。
- 上り勾配の区間を図示している。

■茅ヶ崎里山公園RENTA CYCLE MAP

- 特記なし。

■箱根パーク&サイクル2011

○特記なし。

■ふるさと飯山ポタリング

- 輪行を前提としているものと思われ、駅もしくは駅最寄りの施設を起点とするコースが紹介されている。
- 輪行の概要説明と輪行のルール、地元サイクリストのひと言が併載されている。
- サイクリングを楽しむコツとして、ルールやメンテナンス、ウェアなどを簡単に説明している。
- 山がちな土地柄という特性を生かすため、ヒルクライムのコースも紹介されている。そのコースを含め、すべてのコースに距離のほか高低差も明示されている。
- 立ち寄りポイントは名称のみ。アイコンもトイレと駐車場、温泉のみ（ヒルクライムのコースには勾配を示すアイコンも）となっている。

■安曇野サイクリングマップ

- サブタイトルにあるように、CMのロケ地を訪ねるというコンセプトで作られている。そのため立ち寄りポイントとして選ばれたロケ地と物産センターには、概要のほか電話番号、入館料、開館時間、休館日などが付されているが、その他の立ち寄りポイントは名称のみ。コースもロケ地を巡るように設定されている。

■つるつるとまっぷ

- 名物の蕎麦屋をメインに紹介した地図であり、レンタサイクルを除けば自転車に関する直接の情報はない。
- その蕎麦屋を含めた立ち寄りポイントについて概要が示されているほか、裏面には営業時間や定休日、電話番号、住所に関する情報も明示されている。レンタサイクルに関しては電話番号と料金のみ。

■信濃大町サイクリングマップ

- プロMTBライダーの堂城賢さんが監修を務め、サイクリングの魅力を伝える一文も寄せている。
- 紹介されているコースは6つ。それぞれアイコン（トイレ、コンビニエンスストア、駐車場、車多い）を示したコース図と高低図、コースの概要、立ち寄りポイントの概要が記載されている。
- 巻末にはレンタサイクルのある大町市街地の地図も掲載されている。



■白馬小径

- 日本語版のほか、英語版も用意されている。
- 紹介されているコースは、オプションを含めて6つ。全体図の中に色分けして示されている。立ち寄りポイントとコース上の注意ポイントは合い番で表示。それぞれ概要と写真が付されて

いる。

- 各コースのポイント間距離と所要時間、コース状況は一覧表となっている。ただ、地図と引き合わせるの面倒で、実用性に疑問が残る。
- 各コースを抜き出した地図も別に用意されている。

■白馬小径 白馬駅コース／さのさかコース／岩岳コース／五竜コース／八方コース

- コースが抜き出されているため、全体図よりも視認性に優れている。
- 全体図と同様、日本語版のほか英語版も用意されている。

■千曲川湯ったりサイクリング

- 戸倉上山田温泉を中心とする千曲川沿いのエリアを巡るサイクリングのコースとハイキングのコースをまとめて紹介している。この2つはアイコンで区別されている。
- 記載されたサイクリングコースは9つ。そのうち3つはヒルクライムコースとなっている。
- 地図の裏面には各コースのレベル、区間距離や所要時間が示されている。
- 全体図とは別に、戸倉上山田温泉の詳細図も用意されている。

■坂のまち小諸 風のサイクリングルート

- ベースが地形図ということで細かい道まで表示されているものの、類似の地図と比べて小縮尺のため、地形図に示された文字や細かい道を判読することはできない。
- コースには交差点名のほか、わかりにくい地点には簡単なコメントが付されている。
- おすすめのコースが9つ紹介されており、これは地図上に色分けすることで区別されている。
- 立ち寄りポイントは名称のみで示され、駐車場とトイレ、温泉、眺めのいい場所のアイコンも付されている。
- 地図の欄外には各コースの高低図が載せられていて、そこには区間距離や区間高低差、所要時間も示されている。

■丘の上 自転車散歩マップ

- エッセイストの白鳥和也さんが、自著「丘の上の小さな街で」の舞台とした長野県飯田市を紹介したもの。
- 地図に記載されたエリアは狭いうえ、紹介されたコースもフルとハーフの2つのみなので、視認性は十分に確保されている。また、コース情報として総距離や標高差の合計、所要時間も記されている。
- ベースとなる地図には駐車場やトイレ、ガソリンスタンド、サクラなどのアイコンが記載されている。
- それに加え、注意すべきポイントといくつかのコメントが付加されている。
- 立ち寄りポイントには白鳥さん自身のコメントが付されている。

■ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ ひさかたガイド・マップ

- 標題にあるように、レースの観戦を主目的としたもの。ただし、エリア内の立ち寄りポイントや高低図も記されているため、サイクリングの地図としても利用できる。

- 周回に要する時間が自転車の車種やプロとアマ、はては徒歩も含めて紹介されているため、比較するのが楽しい。

■乗らっしゃい旅チャリマップ

- 新潟県の越後湯沢エリアで展開するレンタサイクル「旅チャリ」のために作られたマップ。そのため紹介された4つのコースはいずれも距離が短い。
- それぞれのエリアも限られているため、地図の視認性は高い。
- 立ち寄りポイントは概要のほか、必要に応じて料金や営業時間、定休日、電話番号なども示されている。



- 地図の欄外には各コースの区間距離や区間高低差、所要時間も示されている。

■湯.チャリで関川村を覗よう感じよう

- 新潟県のえちごせきかわ温泉郷で展開するレンタサイクル「湯.チャリ」のために作られたマップ。にもかかわらず「湯.チャリ」に関する説明は貸出場所のみで、料金や利用時間などは不明。
- 表面が地形図を正確にトレースした地図、裏面が手描きの地図となっている。両面ともほぼ同じエリアをカバーしており、2つを併載した意図はわからない。取り上げられている立ち寄りポイントは異なるものがある。
- メインとなる立ち寄りポイントには概要のほか、開館時間、休館日、入館料、写真などが付されている。
- 地形図を正確にトレースした地図内には駐車場とトイレが、手描き地図内には宿と食事どころ、お土産どころ、絶景スポットがアイコンで示されている。

■HAKKAISAN pedal map

- 地形図を正確にトレースした手描き風の地図で、立ち寄りポイントを示したイラストが楽しい。簡単なコメントも付されている。
- 記載されたサイクリングコースは3つ。それぞれのコース図のほか、裏面には全体図も掲載されている。
- 全体図には3つのサイクリングコースが示されておらず、各コースごとのエリアも全体図の下部にあるインデックスで示されているだけであり、全体図とコース図との比較対照がし難い。
- 緊急時の電話番号一覧が掲載されており、いざというときに役立つ。
- 本州中部の主要都市からのアクセスが掲載されている。

■水と土の芸術祭サイクリングマップ

- 表面に全体地図、裏面に拡大図が記載されている。
- 3つの作品巡りコースと作品の写真が示されている。

- 約1500m（自転車車で6分）の格子線（A～F、1～4）が入れている。
- 自転車で新潟を楽しむ10カ条とレンタサイクルステーションが記載されている。

■湯っこりんぐ中伊豆

- 地形図を正確にトレースした地図には細い道も記されており、地図としての実用性は十分。
- レンタサイクルで巡ることが前提となっているものの、7つ紹介されたコースのうち3つは、エリア内にレンタサイクルの貸出場所がない。
- 立ち寄りポイントは名称のみ記されている。
- エリア内のサイクルショップは電話番号とともに記されており、トラブルが生じた際に役立つ。
- 緊急時の電話番号一覧が掲載されており、いざというときに役立つ。



■沼津港周辺サイクリングマップ

- 静岡県沼津市で展開するレンタサイクル「ぬま輪」のために作られたマップ。そのため掲載されているのは、沼津港を中心としたごく狭いエリア。
- 地図上にはモデルコースと渡し船の航路、共通入場券利用可能施設、トイレのアイコンが表示されている。

■森町サイクルツーリングマップ

- 総延長が100kmということで、本格的なサイクルツーリングが楽しめる5つのコースが紹介されている。
- どのコースもスタート&ゴールは「アクティ森」。
- ここには無料駐車場をはじめ、レンタサイクルや食事どころ、お土産どころがあり、宿泊もできる。
- 各コースごとに概要の説明とともに注意点が列挙され、簡易ながら高低図もあるため、コースを選択する際の参考になる。
- 自転車の車種別一覧表が付録となっていて、それぞれの車種がどのコースに合っているかもひと目でわかる。
- 未舗装の林道の一部を含む、本格的なMTB向けコースもある。そのため立ち寄りポイントを説明するコメントに加え、危険箇所に対する注意コメントも多く掲載されている。
- 各コースごとの色分けがなされていないため、複数のコースの判別がしづらい。
- コースマップの使い方と注意事項、サイクリングの基礎知識が詳しく述べられている。



■磐田サイクリングガイドマップ

- レンタサイクルの貸出場所となる「ららぽーと磐田」を起点とする、4つのコースを紹介している。
- 表面は「ららぽーと磐田」を中心とする全体図、裏面が各コースごとの地図となっている。
- 全体図には各コースが色分けされて掲載。ただし線が細く点線となっているため視認性は低い。
- トイレ、撮影スポット、病院、警察、神社、寺院などがアイコンで表示されているものの、それぞれのサイズが小さいため目立たない。
- コース図には各所にコメントが付されており、わかりにくい地点には詳細図も示されている。
- 立ち寄りポイントは概要のほか、必要に応じて料金や営業時間、定休日も示されている。
- 各コースには走行距離と所要時間のほか、消費カロリーも示されているのは他にない特徴。
- 「ららぽーと磐田」までのアクセス情報が充実している。

■Shizuoka Enshu Cycle Style

- 静岡県西部地方（遠州）エリアにおけるサイクリングの総合案内となっており、他の詳細な地図との連携が図られている。
- 表面が全体図には立ち寄りポイントがプロットされ、主要なものは地図欄外に名称と概要、写真で紹介されている。
- 裏面には森町エリア、遠州灘エリア（浜松御前崎自転車道）、浜名湖エリア（浜名湖周遊自転車道）の詳細図が掲載されている。
- 詳細図にはトイレ、休憩所、サイクルショップ、注意ポイントなど多種多様なアイコンが記されている。ただし、それぞれの地図が小さいため、判読するのは困難。
- 森町エリアと浜名湖エリアのコースには、簡単ではあるもの高低図も記載され、目安として役立っている。
- コラムにおいて、パンクの直し方が比較的詳しく紹介されている。

■ゆーりん浜名湖サイクリングマップ

- 表面の全体図では、浜名湖を周遊するコースを紹介している。
- 地図内の道路は自転車道と一般道に大別され、自転車道はさらに自転車歩行者専用の道路・車道と自歩道の区分がある道路・車道と自歩道の区分がない道路に細分されている。
- コース内のわかりづらい箇所には詳細図が、危険な箇所には注意コメントが付されている。
- 地図内にはトイレ、休憩所、コンビニエンスストア、サイクルショップ、撮影ポイントなどを示すアイコンが表示されている。
- 地図の欄外には立ち寄りポイントの写真と概要が記されているものの、合い番や引き出し線がないため、それぞれが地図のどこにあるかがわかりづらい。
- 裏面には一周コースの一部をピックアップした、4つのコースが紹介されている。立ち寄りポイントには概要のほか、必要に応じて電話番号や営業時間、定休日、料金なども示されている。
- 観光宿泊案内として、観光協会の電話番号やインターネットのアドレス、静岡県サイクリング協会の電話番号などが列挙されている。
- ワンポイントアドバイスとして、走行時の注意点やサイクリングに適したウェアを解説している。

■太平洋岸自転車道 渥美サイクリングロード

○大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の地形図をベースに、自転車道と沿道の立ち寄りポイント、トイレ、レンタサイクル、コンビニエンスストア、駐車場などを示すアイコンが掲載されている。

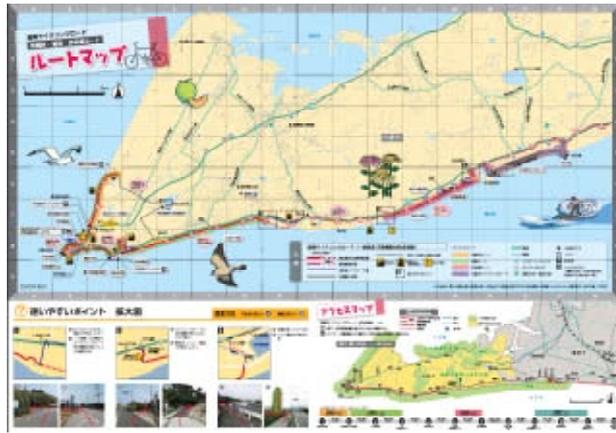
○コース上のわかりづらい箇所には拡大図が示され、正逆両方向からの写真（矢印付き）もある。

○立ち寄りポイントには概要が記されている。

○ベースが地形図ということで細かい道まで表示されており、コース沿いでない立ち寄りポイントへのアクセスも読み取れる。

○高低図はないものの、コース上の勾配がきついところは示されている。

○「楽しいサイクリングのために」と題し、メンテナンスや持ち物、マナーについて解説されている。



■知多半島サイクリングロード

○大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の地形図をベースに、自転車道と沿道の立ち寄りポイント、トイレ、レンタサイクル、コンビニエンスストア、駐車場などを示すアイコンが掲載されている。

○コース上のわかりづらい箇所には拡大図が示され、正逆両方向からの写真（矢印付き）もある。

○立ち寄りポイントには概要のほか、住所、営業時間、定休日、料金、電話番号が記されている。

○ベースが地形図ということで細かい道まで表示されており、コース沿いでない立ち寄りポイントへのアクセスも読み取れる。

○高低図はないものの、コース上の勾配がきついところは示されている。

○「楽しいサイクリングのために」と題し、メンテナンスや持ち物、マナーについて解説されている。

■豊田安城サイクリングロード

○大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の地形図をベースに、自転車道と沿道の立ち寄りポイント、トイレ、レンタサイクル、コンビニエンスストア、駐車場などを示すアイコンが掲載されている。

○コース上のわかりづらい箇所には拡大図が示され、正逆両方向からの写真（矢印付き）もある。

○立ち寄りポイントには概要のほか、住所、営業時間、定休日、料金、電話番号が記されている。

○ベースが地形図ということで細かい道まで表示されており、コース沿いでない立ち寄りポイントへのアクセスも読み取れる。

○高低図はないものの、コース上の勾配がきついところは示されている。

○「楽しいサイクリングのために」と題し、メンテナンスや持ち物、マナーについて解説されている。

○大規模自転車道を利用した、4つのオススメコースが紹介されている。

■安城市 自転車マップ

○愛知県安城市が目指す「エコサイクルシティ」事業の一環として、自転車の活用を促進するために作

成。そのため自転車利用のメリットについて解説されている。

- 安城市内の主要な道路を調査した結果に基づいて、走りやすさ（快適に走行できるor走行しにくい、歩道ありorなし）によって塗り分けされている。
- 利用者の利便性向上を図るため、レンタサイクルとサイクルショップの一覧が掲載されている。
- 特に顕著な地点については、走行状況が悪い、横断注意、障害物あり、カーブ注意、勾配があるなどといったアイコンが付されている。
- そのほかトイレ、サイクルショップ、駐輪場、アンダーパスなどのアイコンも表示されている。
- 立ち寄りポイントには合い番が振られ、写真が掲載されている。

■蒲郡サイクリングマップ

- 蒲郡市観光協会を起終点とする5つのコースを紹介している。
- それぞれのコースには概要のほか、距離、所要時間、消費カロリー、難易度が示されている。
- 地図内には各コースの経路が色別で、さらに温泉、コンビニエンスストア、土産物店などがアイコンで示されている。
- ワンポイントアドバイスとして、走行時の注意点やサイクリングに適したウェアを解説している。

■サイクリングロードマップ

- 地域づくりを行政と協働で進める市民活動団体が作成。
- 岩倉市の中心部をピックアップした地図には、オススメコースのほか休憩所とトイレとコンビニエンスストアのアイコンが記されている。
- 立ち寄りポイントは地図内に写真が示されているほか、裏面に概要が記されている。

■豊田市自転車走りやすさマップ

- 愛知県豊田市が進める「全国都市再生モデル」事業の一環として調査が実施され、その成果を生かすために地図が作られた。
- 豊田市内の主要な道路を調査した結果に基づいて、走りやすさ（快適に走行できるor走行しにくい、歩道ありorなし）によって塗り分けされている。
- 特に顕著な地点については、道路線形が良い（悪い）、路面状況が良い（悪い）、道路施設が良い（悪い）、交通状況が良い（悪い）などさまざまなアイコンが付されている。
- ただし余りにその数が多いため、実際の走行の際にいちいち気にはいられない。
- そのほかトイレ、サイクルショップ、駐輪場、アンダーパスなどのアイコンも表示されている。
- 立ち寄りポイントには合い番が振られ、写真が掲載されている。

■渥美半島・伊勢志摩サイクリングマップ

- 渥美半島の3コースと裏面に伊良湖フェリーで渡った鳥羽、伊勢、志摩のエリアを紹介している。
- フェリーの時刻表、料金表が記載されている。
- 写真とグリッド位置（例A-1）で主要観光地が記載されている。
- サイクリングの注意点が記述されている。

■Hida Satoyama Cycling

- 主にガイド付きツアーの利用者、それも外国人観光客を対象としており、英文表記がメインとなっている。
- 地図はコースを紹介するごく簡単なもの。

■岐阜市自転車散策マップ「ぎふポタ」

- 岐阜市内を2つに分割し、それぞれJR岐阜駅をスタート&ゴールとするコース（3コース）、岐阜公園をスタート&ゴールとするコース（3コース）が紹介されている。
- 市内に4カ所あるレンタサイクルポートで自転車を借りることが前提。また、散策マップということで、紹介されているコースは10km弱から16kmまでと短い。
- ミウラ折りの採用により、折りたたんだ状態ではポケットに入るほどとなり、閉じ開きも簡単。
- 地図内には立ち寄りポイントが名称のみプロットされ、主要なものは地図欄外に名称と概要、写真で紹介されている。
- そのほかトイレ、コンビニエンスストアなどのアイコンが配されている。



■サイクリングロードマップ北部コース編

- 岐阜県垂井町の歴史と文化を訪ねるコースを紹介している。
- 北部と南部、2つのサイクリングマップで構成されている。
- 国土地理院の地形図をベースにオススメのコースが赤で示され、さらにオプションとして2つのコースが継ぎ足されている。
- 示されたコースの一部が太線となっているものの説明がないため、それが何を意味するのかは不明。
- 地図内には立ち寄りポイントの合い番、トイレ、手洗い場、コンビニエンスストア、駐車場などを示すアイコンが掲載されている。
- 裏面には主な立ち寄りポイントの名称と概要が紹介されている。
- 特産品や土産物の紹介、まつりの紹介など垂井町を紹介するパンフレットとしての性格も有している。

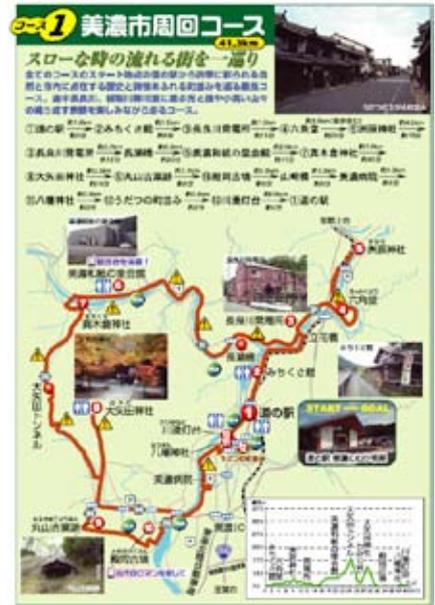
■サイクリングロードマップ南部コース編

- 岐阜県垂井町の歴史と文化を訪ねるコースを紹介している。
- 北部と南部、2つのサイクリングマップで構成されている。
- 国土地理院の地形図をベースにオススメのコースが赤で示され、さらにオプションとして2つのコースが継ぎ足されている。
- 地図内には立ち寄りポイントの合い番、トイレ、手洗い場、コンビニエンスストア、駐車場などを示すアイコンが掲載されている。

- 裏面には主な立ち寄りポイントの名称と概要が紹介されている。
- 特産品や土産物の紹介、まつりの紹介など垂井町を紹介するパンフレットとしての性格も有している。

■美濃サイクリングマップ

- 紹介されているコースは9つで、全体図の中に色分けして示されている。
- 地図内には立ち寄りポイントの写真と概要が記されているものの、合い番や引き出し線がないため、それぞれが地図のどこにあるかがわかりづらい。
- 裏面には各コースが個別（2コースまとめてもあり）に紹介され、それぞれ概要のほか距離や所要時間、さらには高低図も示されているため、コースを選ぶ際の参考になる。



■伊賀忍者ランマップ

- 既存の地図にコースを上書きしただけのもの。しかもモノクロのコピーということで評価は難しい。

■伊勢自転車マップ

- 紹介されているコースは2つで、全体図の中に色分けして示されている。ただし線が細いため、視認性は低い。
- 地図内には立ち寄りポイントの名称と合い番が付され、裏面に概要のほか、必要に応じて住所や電話番号、開館時間、休館日、料金なども示されている。伊勢神宮と名物の伊勢うどん・餅は、より詳細に説明されている。

■チャリガイドマップ伊勢

- 4コース（20.8～23.5km約2.5時間）が紹介されている。
- 甘味どころ、見どころ、登り、ダートの位置が示されている。
- 裏面に伊勢市駅周辺の地図で比較的安全に自転車で走れる道筋が示されている。
- 伊勢チャリひとロメモ、案内メモ、伊勢チャリメッセージ、基本的な乗り方と注意の記述がある。

■桑名市観光ガイドマップ

- 名称に示されているように、桑名市の観光ガイドの一部としてサイクリングが取り上げられている。
- そのため地図内に示されたコースもサイクリングを謳っているわけではないが、旧東海道や美濃街道、濃州道などはサイクリングに適しているものと思われる。
- 地図内には立ち寄りポイントの合い番が付され、主な立ち寄りポイントは裏面に概要のほか、必要に応じて電話番号、開館時間、休館日、料金なども示されている。
- 観光ガイドマップということで、裏面には特産品の紹介やイベントスケジュールも記載されている。

■サイクリングコースガイド

- おみやサイクリングターミナルのパンフレットということで、表面は施設の使用料金表やアクセスで占められている。裏面の地図も簡単なものだが、そこに3つのコースが色分けして示されている。
- 地図内にはレストランとトイレのアイコンも記載されている。

■県道富山庄川小矢部自転車道線／県道富山朝日自転車道線

- 既存の地図に自転車道のコースを上書きし、主なポイントを示しただけのもの。自転車道の紹介以上の意味はなく、この地図を用いて走行することはできない。

■レンタサイクル みらくる

- レンタサイクルの案内チラシがメインとなっており、その裏面を利用して地図が掲載されている。そのため立ち寄りポイントの概要など、掲載された情報は必要最低限に限られている。
- 地図の欄外にはオススメコースとして4コースが紹介されているものの、地図内にルートは示されておらず、立ち寄りポイントの合い番を自分自身でたどっていく必要がある。

■市街地周遊観光ガイドマップ

- 特記なし。

■シーサイドレンタサイクル

- 特記なし。

■いしかわ大規模自転車道

- 標題にあるように大規模自転車道を紹介するためのもので、ベースとなる地図に自転車道が上書きされている。
- わかりにくい地点には詳細図も示されているため、自転車道の走行ガイドとしては十分。その代わり沿道の立ち寄りポイントの紹介は、名称など必要最低限にとどまっている。
- トイレや水飲み場を示すアイコンも掲載されている。

■七尾西湾周遊サイクリングコースマップ

- 石川県七尾市を巡る4つのコースを紹介している。
- ベースとなる地図は精細な鳥瞰図で、実用性を保ちつつも旅心がそそられるデザインとなっている。
- 裏面には主な立ち寄りポイントの名称と写真が、コース別に掲載されている。
- 表記は日本語がメインとなるが、立ち寄りポイントには英語と中国語が併記されている。

■楽輪々Map

- 石川県輪島市で展開するレンタサイクル「楽輪々」のために作られたマップ。そのため紹介された3つのコースはいずれも距離が短い。
- レンタサイクルは市内の各拠点に用意されているとなっているものの、その拠点がどこなのかが地図内に明示されていない。

○広域図は輪島市の概要と3つのコースの位置関係を把握するためのもの。

■加賀市サイクリングマップ

○石川県加賀市内を自転車で巡るコースを紹介したもの。

○全体図内には7つのコースが掲載されているものの、2色刷りということで視認性が悪く判読は困難。

○日本語表記のほか英語とハングルが併記されている項目もあるが、その数は限られており中途半端な印象を受ける。

○地図の欄外にコラムとして、自転車のルールとマナーを掲載。車道左端が原則であることを謳うなど、道路交通法の改正を踏まえた内容になっている。

○地図内にはトイレやサイクルショップ、コンビニエンスストアに限らず多種多様なアイコンが記載されているものの、2色刷りということとアイコンが小さいということで、せっかくの情報も判読はしづらい。

■白山市サイクリングMAP

○ベースとなる地図は精細な鳥瞰図で、実用性を保ちつつも旅心がそそられるデザインとなっている。

○裏面には表面と同じ範囲が地形図を正確にトレースした地図として記載されている。こちらはコース上のわかりづらい箇所に拡大図、さらに高低図も記載されているものの、同じ範囲ということもあり、1枚にまとめることもできたのではと思われる。

○地図の欄外に季節の風景、アトラクション、日帰り温泉の一覧が記載されており、アイコンによって地図とのリンクが図られている。

○「今後、マップを改善していきたいので、意見を寄せてほしい」との一文が添えられている。



■ふくいりんりんマップ

○国土地理院発行の数値地図1/2,500を使用して、市内の道路を自転車通行に関して区分し図示している。

○坂道、自転車通行止め、危険な場所を示している。

○雨宿りできる場所、トイレ、自転車店、交番、コンビニエンスストアの位置が示されている。

○自転車のルールについて記述している。

■サイクルトレインMAP

○40ページの冊子となっているうえ、特典のある店を紹介したポケット判の冊子も付録する。

○福井市および周辺市町村の広域図と中心市街図が掲載され、地図内に示された合い番が、概要を記した立ち寄りポイントの一覧とリンクする。

- 標題は「サイクルトレインMAP」となっているものの、それ自体の紹介は後半に半ページ割いているだけであり、情報として物足りない。
- 自転車のルールについては、イラストを主体にわかりやすく示されている。

■ふくいサイクリングロードマップ

- 標題にあるように、福井県内にある4つの自転車道を紹介したもの。
- それぞれ地図内にはコースのほか駐車場やトイレのアイコンが記載されているものの、どの地図もサイズが小さすぎて実用には向かない。
- 1面を割り、自転車を利用した運動の利点が解説されている。

■びわ湖周遊サイクリングマップ

- 琵琶湖を一周するオススメのコースを紹介している。
- コース図には各所に注意を促すコメントが付されており、わかりにくい地点には詳細図も示されている。
- 裏面には各エリアの立ち寄りポイントの概要と写真が掲載されているだけでなく、温泉、宿泊施設、レンタサイクルなどが一覧として紹介されており、サイクリングに必要な情報が網羅されている。
- コラムとして、安全に走るための心得が紹介されている。



■日野町サイクリングマップ

- 国土地理院の地形図（拡大）をベースに、日野町を巡る3+ α のコースが色分けして記されている。
- 立ち寄りポイントはコース上の合い番で表示。それぞれ名称と写真が付されている。
- 地図内にはコースのほか、案内所、トイレ、休憩所、レンタサイクルのアイコンが記載されている。
- 各コースには走行距離と所要時間のほか、消費カロリーも示されているのは他にない特徴。
- 自転車の安全な走り方に加え、自転車が健康と環境のそれぞれにとっていかに有効であるかを解説したコラムが付されている。

■湖北サイクルロードマップ

- 国土地理院の地形図をベースに、湖北サイクルロードを構成する4つのコースが色分けして記されている。
- 線の幅が適切で、しかも複数のコースが重複しているところが少ないため、視認性は十分。
- コース沿道の各所にコメントが、さらにトイレとレンタサイクルのアイコンが付されている。
- 裏面には各コースの行程と主な立ち寄りポイントの概要、料金や営業時間、定休日、電話番号なども示されており、コースを選ぶ際の参考となっている。

■びわ湖大津なぎさ散走サイクリングガイド

- 地図内に記されているのコースは、それぞれテーマに基づくタイトルが付けられており、旅心がそそ

られる。また、これらのコースは色分けして記されているため視認性は良好である。

- 高低図がない代わりに、勾配のきつい箇所には3段階のアイコンが記されている。
- 観光協会、公共交通機関、自転車店、宿泊施設などの一覧が掲載されており、サイクリングに必要な情報が網羅されている。
- サイクリストが気軽に立ち寄れるよう、トイレや空気入れを提供したりサイクリングスーツの販売したりする「サイクルステーション」がエリア内に設置されており、それを示すアイコンが地図内に記されている。



■湖東定住自立圏バイコロジーマップ

- 地図内に記されているコースは6つに大別され、それぞれがさらに細かく分けられている。大別は色分けにより、細かな分けは記号を振ることによりなされているが、各コースが重なり合っているため、視認性は劣る。
- 高低図がない代わりに、勾配のきつい箇所には3段階のアイコンが記されている。さらに標高に応じた色分けもされているため、大まかな勾配をつかむことができる。
- 名称と電話番号だけとなるものの、立ち寄りポイントや駐輪場、レンタサイクルの一覧が掲載されており、サイクリングに必要な情報をできるだけ提供しようとの意志が感じられる。
- コラムとして安全に走るための心得のほか、近江鉄道サイクルトレインの情報が掲載されている。

■野州市史跡マップ

- タイトルにあるように市内の史跡を紹介する汎用の地図ということで、自転車に関わる表示は川沿いの自転車道のみ。
- 地図には交差点名や橋梁名などが明記され、コメントも付されておりわかりやすい。
- 裏面には市内にある4つの立ち寄りポイント（近江富士、弥生の森体験工房、ウッドイルーム、家棟川エコ遊覧船）が詳しく紹介されており、訪れてみようという気にさせられる。それぞれの周辺施設もあわせて紹介されている。

■大津サイクリングマップ

- おおつ環境フォーラム・自転車にやさしいまちづくりグループが全6部を作成。
- ①大津中心ルート 旧東海道探訪となぎさ公園快走、②粟津晴嵐ルート 旧東海道探訪となぎさ公園・夕照の道を快走、③瀬田川周遊ルート 石山寺、幻住庵をめぐる瀬田川遊歩道を快走、④瀬田・草津ルート 歴史ある旧東海道と矢橋道を探訪、さざなみ街道を快走、⑤大津京ルート 古都の跡をたずねれば激動の歴史が見えてくる、⑥坂本・唐崎ルート 美しい石積みの門前町と戦国武将の夢の名残りをめぐる、の6ルートで構成されている。
- レンタサイクルの案内と観光スポット、ユニークなお店、季節限定お勧め情報等が記載されている。

■リンクル与謝野探訪

- 町内にあるサイクルステーションで自転車を借り、加悦岩滝自転車道を走る人のために作られたもの。
- 目的がはっきりしており、必要な情報が過不足なく掲載されている。
- レンタサイクルにトラブルが生じた際には、エリア内の自転車店でも対応するシステムとなっており、裏面に掲載された一覧のほか、地図内にもアイコンが記されている。
- 限られたエリアの紹介にとどまっているため、観光客を引きつける魅力に欠けるきらいがある。

■ゆうゆうサイクルマップ

- 「きょうたなべ環境市民パートナーシップ」の自転車チームである『ゆうゆうサイクルの会』が作成したもの。
- 同会の活動報告を兼ねたものとなっているため、裏面に記載された内容は一般利用者にとって必要性の低いものもある。
- ポリプロピレンフィルムによる加工が施されているため、水をはじくだけでなく破れることもない。
- ベースとなる国土地理院の地形図に、自転車走行に適した道が緑の実線で、京都八幡木津自転車道が緑の点線で表示されている。
- 判形の大きさに比例して文字も拡大されており、視認性に優れる。その一方でたたんだときのサイズも大きく、持ち運びや移動先で広げるには不便も感じる。
- 裏面には川沿いを走る9つのコースが紹介されているのだが、表面の地図との関連が薄く、せっかくの情報も生かすことが難しい。

■道の駅舞鶴港とれとれセンターレンタサイクル

- タイトルにあるように、道の駅のレンタサイクル利用者に対し、コース情報を提供するものとなっている。そのためそれぞれの距離も4~10kmと短い。
- 地図内に記されているコースは4つ。2色刷りということもあり、視認性はやや劣る。
- 地図内には立ち寄りポイントの写真とコメントが記されている。
- 欄外にQRコードが載っていて、携帯電話のサイトでもモデルコースが紹介されている。

■美山銀輪地図

- 5つのコースが縦断図、距離、最大標高差、平均斜度の情報と図示されている。
- 地形、道路等の省略が多く縮尺も不明。
- バイクハンガー、無料貸し出しポンプ、工具等が完備されているサイクルステーションが26地点図示されている。
- 裏面は、白黒の地図にサイクリングメモとしてサイクリストたちの情報が記述されている。

■サイクリングマップ

- 羽曳野市内の名所旧跡を巡るもので、東西横断と南北縦断の2種で構成されている。
- 地図の判形が小さく、それによって地図そのものも縮小されているため、判読がしづらい。また、コースの曲がり角などもわかりづらく、この地図だけで走行するのは困難。
- 主な立ち寄りポイントは名称と写真のみで紹介されており、それぞれの詳細はわからない。

- アイコンが記されるなどレンタサイクルでの利用が前提となっているようだが、レンタサイクルの所在地、連絡先、営業時間、料金などの記載はない。

■いきいき池田マップ

- 池田市内を巡る路線バスのルート図にサイクリングロードのコースを付け足したもので、視認性が低く実用性に乏しい。
- ベースとなる地形図は小縮尺かつコントラストが低く、そこから情報を読み取ることは困難である。
- 主な立ち寄りポイントも名称のみ記されている。
- 裏面もメインは路線バスの時刻表であり、レンタサイクルに関する情報は少ない。

■上町台地サイクリングマップ

- 八つ折を拡げるとA3サイズの1枚の簡易地図に①～④のおすすめコースが示されている。
- 裏面にそれぞれのコースが、区間距離と時間と簡略されたプロフィールマップと写真で説明されている。
- 自転車マナーとして4カ条が記述されている。
- 駐輪場マップを公開しているQRコードがあり、携帯で確認できる。



■堺市自転車地図

- 昭文社が国土地理院の1万分の1と2万5千分の1の地形図を使用してA1サイズの地図を作成して24折にたたまれている。
- 12のコースが示されており、主要な地点を写真で説明している。QRコードで観光ガイドのアクセスが可能。
- 坂道を [< ややきつい、 << きつい、 <<< かなりきつい] で図示し、曲がり角なども写真で示している。
- さかいコミュニティサイクルの利用料金とQRコードでレンタサイクル利用状況を公開。

■さかいコミュニティサイクルのご案内

- 六つ折を拡げるとA3判サイズの1枚の簡易地図にサイクルポートと観光スポット、寺社、ホテル等が示されている。
- 自転車安全利用五則が記述されている。
- さかいコミュニティサイクルの利用料金とQRコードでレンタサイクル利用状況を公開。

■ならサイクリングロード [大和中央自転車道] /ならサイクリングロード [奈良自転車道] /ならサイクリングロード [飛鳥葛城自転車道]

- 大規模自転車道を紹介するためのもので、国土地理院の地形図をベースに、自転車道と沿道の立ち寄りポイント、トイレや公園、レンタサイクル、コンビニエンスストアを示すアイコンが掲載されている。
- ベースとなる地形図はコントラストが抑えられているため、情報を読み取るには限界がある。

- 主な立ち寄りポイントは名称のみ記されているため、どのような場所なのか判断することはできず、モチベーションは上がらない。
- 橋を渡るなどわかりにくい箇所には拡大図が示されている。
- 裏面に県内の他の大規模自転車道も併記した全体図が掲載されているものの、縮尺が中途半端で、スペースを割いている割には実用性に乏しい。

■自転車周遊マップ奈良～京都

- 嵐山から飛鳥までの推奨ルートが標高と距離とともに示されている。
- エリア紹介で観光ガイドと飛鳥京（643～694）、藤原京（694～710）、平城京（710～784）、恭仁京（740～743）、長岡京（784～794）、平安京（794～1180）の形についての記述がある。
- まちの自転車さん一覧（京都府・奈良県）が掲載されている。
- 安全のためにルール（5則）の記述がある。

■古都りん

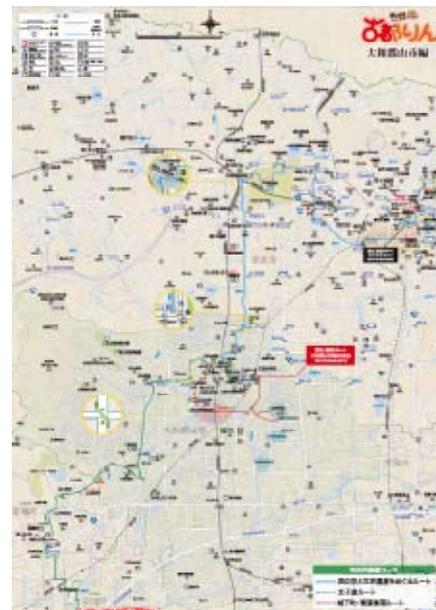
- 7つのエリアすべての位置関係が示されている。
- 4つのテーマのおすすめコースについて距離と標高が図示されている。
- 奈良周遊観光の見どころが写真入りで記載されている。
- 安全のためにルール（5則）の記述がある。

■レンタサイクル古都りん活用便利マップ（斑鳩町版）

- 「古都りん」とは奈良県が社会実験として実施しているレンタサイクルで、7つのエリアに分かれており、それぞれ地図が作られている。
- （斑鳩町版）と（大和郡山版）とでは表面のなら自転車道の地図は共通。裏面は各エリアの詳細図となっており、自転車道のほか一般公道を利用した推奨コースも紹介されている。
- 地図がクーポン券としての役割も果たし、期間限定となるものの割引サービスなどが受けられる。
- 道の勾配を示すためオリジナルのアイコンを採用。<を用いる一般的なアイコンよりもわかりやすい。
- 右左折を繰り返すわかりづらい箇所には拡大図が、それ以外に写真も掲載され、道迷いを未然に防ぐ配慮がなされている。
- 裏面の詳細図は、地図内に主な立ち寄りポイントの概要と必要な情報が記されている。

■レンタサイクル古都りん活用便利マップ（大和郡山版）

- 「古都りん」とは奈良県が社会実験として実施しているレンタサイクルで、7つのエリアに分かれており、それぞれ地図が作られている。
- （斑鳩町版）と（大和郡山版）とでは表面のなら自転車道の地図は共通。裏面は各エリアの詳細図となっており、自転車道



のほか一般公道を利用した推奨コースも紹介されている。

- 地図がクーポン券としての役割も果たし、期間限定となるものの割引サービスなどが受けられる。
- 道の勾配を示すためオリジナルのアイコンを採用。<を用いる一般的なアイコンよりもわかりやすい。
- 右左折を繰り返すわかりづらい箇所には拡大図が、それ以外に写真も掲載され、道迷いを未然に防ぐ配慮がなされている。
- 裏面の詳細図は、地図内に主な立ち寄りポイントの概要と必要な情報が記されている。

■田原本町ハイキングサイクリングMAP

- ベースとなる国土地理院の地形図に、5つのコースが色を分けて上書きされている。
- コースそのものはわかりやすいのだが、ベースとなっている地形図が縮小されすぎており、実際の走行において曲がり角などを確認するのは困難と思われる。
- 主な立ち寄りポイントは名称と簡単なイラストのみ記されているため、どのような場所なのか判断するのは困難。
- ボランティアガイド（無料）がコースを案内するサービスが用意されている。
- 裏面には観光協会会員である店の情報一覧と、手描きの駅周辺詳細図が掲載されている。

■宇陀市レンタサイクルモデルコースVol.1／宇陀市レンタサイクルモデルコースVol.2

- モノクロの手描きの地図に、赤でコースと距離を記したもの。
- 手描きの地図ということで、コースおよびコース周辺の限られたエリアのみ紹介されている。そのため素っ気ない印象を受けるものの、視認性は良好。
- 地図以外の情報がほとんどないため、立ち寄りポイントに関して必要な情報（時間や料金など）は別途調べる必要がある。
- コース周辺の主な立ち寄りポイントは、名称と写真が記されている。
- レンタサイクルの利用が前提とされているようで、末尾に一覧が掲載されているのだが、この一覧と地図との対応が図られておらず、どこで借りてどう走ればいいのかかわかりづらい。

■南紀熊野たんけん絵地図

- モノクロの手描きの地図に、主な立ち寄りポイントをイラストで示している。
- 全体図のほか6つのエリア図で構成されている。
- 手描きの地図ということで親しみやすく、地図と立ち寄りポイントに関する情報とが違和感を与えることなく融合している。
- 全体がモノクロということで視認性が乏しいところがあり、地図をひと目見たときの印象もインパクトに欠ける。
- 17の体験型観光メニューが一覧となっており、土地の魅力がわかりやすく、かつそこにどんなお楽しみが待っているかがわかりやすい。
- 地図内にはレンタサイクルのターミナルも記されている。

■わかやまサイクリングマップ

- A2判サイズを12分割して折り込んだ和歌山市全域マップ（1/50,000）に、A～Gの7コースが示されている。
- 裏面は、和歌山市中心エリアマップ（1/10,000）、加太エリアマップ、和歌浦エリアマップとビューポイントが写真付きで解説されている。
- 和歌山スポーツサイクルサポートネットワークとして4店についての情報が記載されている。
- 城まちeco観光レンタサイクルとサイクリングの際のマナーの記述が示されている。
- 和歌山市への交通アクセスとして、電車、自動車、高速バスの情報を記載している。
- 問い合わせ先として和歌山サイクリング同好会の住所、電話、ホームページURLを記載。

■越知川名水街道ツーリズムガイド

- 姉妹グリーンバスがバスとレンタサイクルとを組み合わせた「越知川名水街道自転車下り」という取り組みを行っており、この地図はそのために作られたもの。
- タイトルにあるようにコースは越知川に沿ったものであり、沿道には順路を示す看板も立てられている。
- 地図の欄外に主な立ち寄りポイントの故事が記されており、歴史ファンや民俗学ファンの興味を引くものとなっている。
- 裏面には地域の名水一覧や喫茶店一覧が記されており、女性の興味を引くのはもちろんのこと、休憩場所の情報提供にもなっている。

■淡路島サイクリングマップ

- 淡路島を一周する150kmコースをメインに、途中でショートカットする60kmと120kmのコースも紹介されている。
- 国道や県道を利用するシンプルなコースゆえ、小縮尺の地図でありながら道迷いの心配は少ない。洲本市と南あわじ市の市街地は拡大図があり、さらに間違いやすいポイントは写真が掲載され、そこに進行方向を示す矢印も付されている。
- それぞれのコースの高低図があり、難易度が簡単に把握できる。
- スタート&ゴールは、本州と島とを結ぶ連絡船が発着する港となっている。
- モデルの女性が立ち寄りポイントを巡るスタイルで紹介されているため、眺めるだけでそれぞれのポイントを巡ってみようというモチベーションが湧いてくる。
- パンクの修理方法が、写真を使っていねいに解説されている。
- たこフェリーの時刻表などが掲載されているものの、2010年11月以降休止となっている。
- 自転車の走行ルールやサイクリングの心得が、コンパクトでわかりやすくまとめられている。



■淡路島サイクリングマップ

- 本州と島とを結ぶ連絡船が発着する岩屋港がスタート&ゴール。淡路島を一周する150kmコースをメインに、途中でショートカットする25kmと30、50、60、120kmのコースも紹介されている。
- そのほか洲本をスタート&ゴールとする25kmと21kmのコース、福良をスタート&ゴールとする30kmコースも併載されている。
- それぞれのコースの高低図があり、難易度が簡単に把握できる。コースの概要とサイクリストのコメントも付されており、コースを選ぶ際の参考となる。
- 国道や県道を利用するシンプルなコースゆえ、小縮尺の地図でありながら道迷いの心配は少ない。洲本市と南あわじ市の市街地は拡大図があり、さらに間違いやすいポイントは写真が掲載され、そこに進行方向を示す矢印も付されている。
- 島内の主なコンビニエンスストアに空気入れとタイヤレバーが配置されていることが紹介されている。
- ドライバーとサイクリストの双方に対し、マナー向上を呼びかけている。

■丹波篠山えこりん集落めぐりサイクリングマップ

- 地図内にコースは記されておらず、お気に入りの立ち寄りスポットを自由に巡るようになっている。
- デザインを重視した地図は、コントラストが弱く文字が小さいため、視認性に劣る。
- 裏面には各エリアの概要と主な立ち寄りポイントの写真が掲載されている。表裏に分かれていることもあって、地図と対照させるには困難を伴う。
- 食事と入浴のスポットが詳しく紹介されており、食べ歩きサイクリングも楽しめる。

■長船サイクリングクイズマップ／牛窓サイクリングクイズマップ／邑久サイクリングクイズマップ

- 手描きの素朴な印象を与える地図に2つのコースが色分けして表示され、さらにこの2つをつなげて走るコースもある。
- 裏面にはグーグルマップをベースとする同じエリアの地図が掲載されており、コース周辺情報の取得に利用できる。
- 主な立ち寄りポイントを題材としたクイズが、サイクリングへの興味関心を引き立ててくれる。
- 環境と健康に関わる自転車のメリットが、具体的な数値に基づいて解説されている。

■四季のウォーキング（サイクリング）ロードマップ真備コース・庄コース

- 一般的な地図をベースとしつつも、淡い色使いや効果的なイラストの配置により手描き風の味わいが感じられる。
- 地図の両面を使って、2つのコースが紹介されている。
- 主な立ち寄りポイントは吹き出し風に地図内に配置され、写真のほか概要が付されているものもある。
- カロリー消費量を掲載するための数式と表が掲載され、消費し



たカロリーを正確に把握することができる。

○イベントカレンダーが掲載されているため、時期に応じた楽しみ方を事前に確認できる。

■四季のウォーキング（サイクリング）ロードマップ潮の風・緑の風・花の風

○一般的な地図をベースとしつつも、淡い色使いや効果的なイラストの配置により手描き風の味わいが感じられる。

○下津井電鉄の軌道跡を利用して敷設された茶屋児島自転車道路をメインに、周辺の立ち寄りポイントも合わせて紹介している。

○立ち寄りポイントは地図内に名称と合い番で表示。裏面に概要と写真が掲載されている。

○コース上で見受けられる風景が、吹き出し風に写真で紹介されている。

○わかりづらい箇所には拡大図が掲載されている。

○高低図が掲載されており、コースのプロフィールがひと目でわかる。

○カロリー消費量を掲載するための数式と表が掲載され、消費したカロリーを正確に把握することができる。

■玉野市 築港・宇野サイクリングマップ

○玉野市の中心部を巡るための地図で、地図内にはモデルコースが1つ掲載されている。

○立ち寄りポイントは地図内に合い番で表示し、欄外に名称と写真が掲載されているものの、写真が小さいため特徴を把握するのは困難。

■吉備路自転車道きびろーどサイクリングマップ

○吉備路自転車道の一部を紹介した地図。

○立ち寄りポイントは地図内に名称と合い番で表示。表面欄外と裏面に概要と写真が掲載されている。

○レンタサイクル利用者のため、営業時間や利用料金が記されている。

■蒜山観光MAP

○蒜山高原を紹介する観光マップ。自転車専用道が色分けされているものの、凡例がないため自転車道かどうかの確認ができない。

○主な立ち寄りポイントは地図内に赤字で記されている。

○欄外にQRコードが載っていて、携帯電話のサイトでもモデルコースが紹介されている。

○裏面に津黒高原山乗のマップと施設の一覧が載っているが、地図との対応がなされておらず、地図内で場所を確認するのは困難。



■江田島市サイクリングマップ

○全ルートを紹介する江田島の全体図に加え、江田島をほぼ一周する70kmのコースと島の北東部を巡る30kmコース、島の中央部を巡る50kmコースの各地図が掲載されている。

- サブルートが点線で示されており、特に古鷹山と陀峯山を目指す2つのヒルクライムは、アプローチのルートごとにコメントが付されている。
- それぞれのコースには高低図が掲載されており、プロフィールがひと目でわかる。
- 島内に2カ所あるサイクルステーションでは工具や空気入れの貸し出しなどのレスキューサービスを実施しており、それが地図の欄外に明記されている。
- 走行上の注意として、牡蠣殻の集積場付近ではパンクが多いなどサイクリストの視点に立った情報が記載されている。
- 裏面には本土との間を結ぶフェリーの時刻表や主な立ち寄りポイントの写真と概要などが掲載されている。
- 地図の用紙として、環境に優しく水に強いストーンペーパーが使用されている。

■ECOの街広島 レンタル自転車 旅チャリで遊ぼう！

- レンタサイクルプロジェクトが運営する旅チャリ利用者が、市内中心部を巡るための地図である。
- 地図内には市営駐輪場と民間駐輪場が色分けして示される一方、自転車放置規制区域もあり、それも地図内に示されている。
- モデルコースは1つだけということもあり、視認性は良好となっている。
- 主な立ち寄りポイントは地図内に赤字で示され、そのうちのいくつかは裏面に写真と概要が掲載されている。
- 地図がメインの表面のみとなるものの、日本語版とは別に英語版が用意されている。

■のりんさいくる ひろしまサイクルポートマップ

- 広島市が社会実験として実施しているコミュニティサイクル「のりんサイクル」利用者のための地図。
- ベースとなる地図は小縮尺のため判読するのが困難。市内に9カ所設置されたサイクルポートの場所を案内するためのものであり、その他の目的に利用するのは難しい。

■しまなみ海道サイクリングマップ（日本語版）／しまなみ海道サイクリングマップ（中国語：繁体字版）／しまなみ海道サイクリングマップ（中国語：簡体字版）／しまなみ海道サイクリングマップ（韓国語版）

- 広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶしまなみ海道の全線を紹介。主な立ち寄りポイントは赤字で示されている。
- 各島を結ぶ橋の部分は、アプローチをわかりやすく示した詳細図が示されている。
- 掲載されたエリアが広大であることから、曲がり角など地図だけでは把握することが困難な箇所もある。
- コース全体の高低図が掲載されており、プロフィールがひと目でわかる。
- 裏面には概要図が掲載され、ルートが初級・中級・上級に色分けして示されている。
- 裏面下部には概要図に示されたルートを組み合わせた6つのおすすめサイクリングコースが紹介されている。
- 裏面には当地出身の画家、平山郁夫が描いたスケッチのポイントが、その絵とともに紹介されている。

る。

- サイクルターミナルの一覧と、そこで貸し出し対応をするレンタサイクルの詳細が掲載されている。
- 日本語版のほか、同じ体裁で3カ国の地図が用意されている。

■尾道観光案内地図

- レンタサイクルターミナルと向島エリアのサイクリングコースが示されている。

■安芸灘とびしま海道サイクリングマップ

- 往路（北側）、復路（南側）、5つの島一周のデータ（8.9～49.7km）が紹介されている。
- 縮尺が示されていないが、区間距離から1/60,000程度である。
- ほぼ平地（青線）と坂（赤線）の区別が示されている。
- サイクルステーション（4カ所）が案内されている。
- フェリーのアクセスや時刻表、料金等が記述されている。
- 裏面に満喫ガイドとして名物が写真入りで示されている。
- 水に強く、環境に優しいストーンペーパーを使用している。

■防府サイクリングマップ

- 表面に防府市内を巡る3コースを紹介した地図が掲載され、裏面には市内中心部にある種田山頭火の句碑を巡る地図が掲載されている。
- 表面の地図は簡略化されたものであり、曲がり角の判断に迷うこともありうる。また、コースから離れて寄り道することはできない。
- 表面の3コースは色分けがされているものの、そもそも2色刷りということもあって判別はしにくい。
- 防府駅がスタート&ゴールということで、駅前のレンタサイクルの利用が前提となっている。

■うべE.サイクルマップ

- 宇部市地球温暖化対策ネットワークが作成したもので、片面が自転車通勤をしている人向け、もう片面がサイクリングをしている人向けとなっている。
- プリントアウトはA4判となっているため地図内の文字を判読することは困難だが、サイトにPDF形式のデータが登録されているため、より大きなサイズでプリントアウトすることも可能。
- 自転車安全利用五則だけでなく、歩道通行可かどうかの判断法や路側帯の種類など自転車の安全走行に必要な知識が細かく解説されている。
- 環境に優しい自転車の効用が、欄外に詳しく説明されている。また、地図内に掲載された3コースにも、CO₂の年間削減量が表示されている。



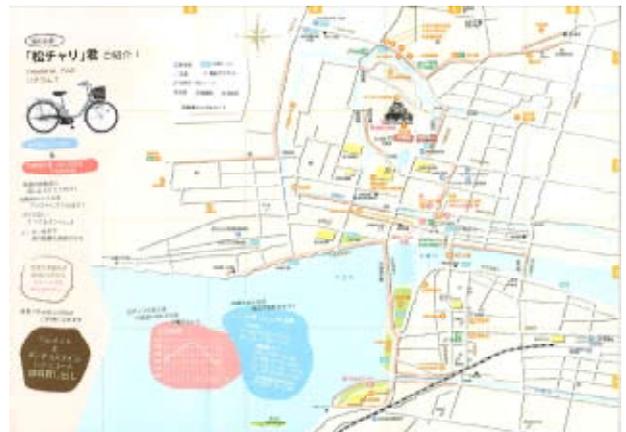
- モニター調査の結果に基づき、主要な道路が評価別（高・中・低）に色分けされている。
- その他に野外彫刻とお勧めの見物ルートが色分けされているものの、低評価の道と色が近似しており、見分けるのが困難となっている。

■しものせき観光サイクリングマップ 関門エリア／しものせき観光サイクリングマップ 城下町長府

- 下関市内の2つのエリアを自転車で巡るための地図で、いずれもレンタサイクルの利用が前提となっている。
- 地図は簡略化されたものであり、曲がり角の判断に迷うこともあり得る。また、コースから離れて寄り道をすることはできない。
- 地図にはお勧めのコースが示されており、コメントが吹き出し風に地図内に配置されている。
- レンタサイクルにトラブルが生じた際に対応するサイクルショップの一覧が、地図内に記されている。

■ガイド付電動アシスト自転車ツアー

- ガイド付きの電動アシスト自転車ツアー「松チャリ」のガイドブック。
- テーマに即して7つのコースが設けられている。
- ガイドブックを頼りにガイドなしで走ることも可能だが、地図にはコースが示されておらず、やや面倒である。
- 主な立ち寄りポイントは写真と概要が掲載されており、それぞれのコースで立ち寄るのかもひと目でわかるようになっている。
- ご縁スポットやグルメスポットが主な立ち寄りポイントとは別に掲載されており、女性の興味関心を引くよう配慮されている。



■松江サイクリングマップ

- 3カ所の貸し出し拠点があるレンタサイクルの利用が前提となっており、掲載された範囲は松江の市街地に限られる。
- 一般的な地図をベースとしつつも、淡い色使いや効果的なイラストの配置により手描き風の味わいが感じられる。
- 主な立ち寄りポイントには名称のほか、簡単なコメントが付されている。
- トラブルが発生した際にサポートを受けられるサイクルショップの一覧が欄外に掲載されている。

■大山中海サイクリングマップ

- A3判見開きの両面に絵地図で5つのコースが示されている。
- 各コースの距離、最大標高差とプロフィールマップが掲示されている。
- 主要地点の標高数値が地図上で記されている。（例：H995m）

- それぞれの観光ポイントが写真で示されている。
- ハンゲル版もある。

■サイクリングステージKAGAWA

- 沿岸部や平野部を中心に、県内を巡るコースを紹介するサイクリングマップである。
- 各コースのタイトルは主な立ち寄りポイントに即したキャッチーなもので、モチベーションの向上に寄与している。
- コースごとに消費カロリーが表示され、それがうどんの杯数に換算されているのがユニーク。
- 県の全域を示した概要図とともに詳細地図が掲載され、メインやサブのルート、そのルートの高低図（メインルートのみ）、勾配の程度を示したアイコン、道の駅、トイレ、自転車店、コンビニエンスストアといった、サイクリングに不可欠の情報が載せられている。



- 概要図にはコースの沿道以外の箇所にもコメントが付されており、そのコメントはコースそのものを対象としたものと立ち寄りポイントを対象としたものとで色分けがなされている。
- 香川県らしく、コメントにおいてうどん店（さぬきうどん百店満点掲載店）が紹介されている。

■自転車王国とくしま 県央版／自転車王国とくしま 県北版／自転車王国とくしま 県南版／自転車王国とくしま 県西版

- 紹介されたコースには立ち寄りポイントに即したタイトルが付けられており、それぞれ「スタートゴール」「危険箇所」「難所」「見どころ」について詳述されている。
- コースを紹介する地図は幅の狭い道などを省いたシンプルなものなので、曲がり角の判断に迷うこともありうる。また、コースから離れて寄り道をすることはできない。
- 高低差の大きなコースには高低図が付されている。
- 「自転車王国とくしま」という取り組みが行われている。コース利用者にはQRコードを活用してマイルが与えられ、それを貯めることでプレゼントへの応募も可能となる。あわせて温泉やお土産に関する情報も提供される。
- コラムでは自転車の乗り方に関するルールとともに、装備に関するノウハウも解説している。

■サイクリングで市民遺産めぐり

- 徳島駅周辺地図と全体図とで構成され、それぞれ立ち寄りポイントが「自然・景観」、「歴史」、「街・暮らし」、「文化」という4つのカテゴリーに分類され、かつ色分けもされている。
- 各立ち寄りポイントには写真と概要のほか詳細図も付されている。
- 自転車道や自転車の走行に適した道は明記されていない。
- 観光拠点となる阿波おどり会館と眉山ロープウェイ山麓駅がピックアップされ、詳細に紹介されている。

■大歩危・祖谷レンタサイクルMAP

- 徳島県の大歩危・祖谷エリアで貸し出されているレンタサイクルを利用して巡る3コースを紹介している。
- 地図は簡略化されたものだが、各コースは川沿いとなるため道迷いの心配は少ないものと思われる。
- 地図内にはコンビニエンスストアやトイレをはじめ、多種のアイコンが表示されている。
- 地図内にはポイント間の距離と所要時間が示されているものの、それがどの区間を指しているかがわかりづらい。
- 欄外には本格的なサイクリングを楽しみたい人や近接する美馬市でサイクリングを楽しみたい人に向け、情報の入手方法が解説されている。

■美馬市散策サイクリング観光マップ

- 500年ほどの歴史を誇る城下町ということで、その由来や歴史のトピックも紹介されていて、歴史ファンには特に興味がそそられる。
- 中心部の地図はイメージを壊さぬよう手描きとなっているというだけでなく、デフォルメされているところがないため実用性も十分。
- 裏面の広域図はシンプルにデザインされたもので、主な立ち寄りポイントが写真と概要により紹介され、あわせてコメントも付されている。

■まつやま観光レンタサイクルマップ

- 市内に4カ所あるレンタサイクルポートで貸し出されるレンタサイクルの利用が前提。そのため掲載された地図の表示範囲は市街地に限られており、それぞれのサイクルポートから500m圏内を示す円も表示されている。
- 裏面には4つのモデルコースが紹介されているものの、表面の地図にコース表示はない。
- 立ち寄りポイントは地図内に名称と合い番で表示。裏面に概要と写真が掲載されている。

■いまばり観光レンタルサイクルマップ

- レンタサイクルの利用が前提となっていると思われる。地図内にレンタサイクルの場所を示すアイコンは表示されているものの、営業時間や利用料金といった情報はなく中途半端な印象を受ける。
- 地図は全域図と2つの詳細図とで構成されている。全体図は位置関係の把握はできるが、小縮尺のため、この地図を頼りに走行するのは困難。
- 4つのモデルコースが紹介されているものの、地図内にコースの表示はない。
- 地図内に表示されたグルメスポットやお土産スポットにはひとことコメントが付されており、特徴がひと目でわかる。

■いまばり観光レンタルサイクルマップVol.2

- 前述した地図のVol.2というタイトルとなっているが、改訂版ではなく内容はまったく異なっている。
- 全体図には今治に限らず愛媛県側のしまなみエリア全体が表示され、さらにピックアップされた7カ所については詳細図も表示されている。

- 8つのモデルコースが紹介されているものの、地図内にコースの表示はない。
- 立ち寄りポイントは地図内に合い番で表示。裏面に名称と住所、電話番号の一覧が掲載されている。
- エリア内で体験できる7つの活動が紹介され、モチベーションを高める効果を発揮している。

■新居大島サイクリングマップ

- 一周9kmほどの小さな島を巡る地図ということもあり、掲載された地図はシンプルなもの。
- 主な立ち寄りポイントは写真と簡単なコメントにより紹介されている。
- 高低図が掲載されており、コースのプロフィールがひと目でわかる。
- 島に渡る連絡船の料金や時刻表もあり、必要な情報は押さえられている。

■サイクリングまっぷ

- 表面に西条市の市街地図、裏面に広域図が掲載されている。
- 地図内にはそれぞれ1つずつモデルコースが記されている。
- 主な立ち寄りポイントは合い番で表示。それぞれ概要と写真が付されている。
- ボランティアガイド（有料）がコースを案内するサービスが用意されている。

■内子サイクリングマップ

- 内子駅前にあるレンタサイクル「旅里庵」を利用することが前提で、掲載された3コースとも、ここがスタートとなっている。
- コースを紹介する地図は幅の狭い道などを省いたシンプルなものなので、曲がり角の判断に迷うこともありうる。また、コースから離れて寄り道することはできない。
- 主な立ち寄りポイントはイラストとして地図内に配されており、地図を見たときに受けるイメージが和らげられている。
- 主な立ち寄りポイントは欄外でも写真と概要が紹介されている。
- 地図内には自転車のアイコンが配されており、駐輪場かと思われるのだが、凡例がないため確認することができない。

■しまなみ島走Map 因島・向島／しまなみ島走Map 上島町／しまなみ島走Map 生口島／しまなみ島走Map 大三島／しまなみ島走Map 伯方島／しまなみ島走Map 大島／しまなみ島走Map 今治

- 現地のNPO法人である「シクロツーリズムしまなみ」が発行。ベースとなる地図はきれいで詳細なもので、幅の狭い道も省略されずに表示されている。
- サイクリングに適した道が「おすすめロード」として表示されているものの、大規模自転車道である「しまなみ海道」は其中に含まれておらず、自転車道の経路を確認することができない。
- オススメロードに関するコメントと道案内に関するコメント、ビューポイントに関するコメントが色



分けして示されている。

- 主要な道には区間距離と勾配が記されており、道を選ぶ際の目安となっている。
- 裏面には食事スポットとサイクリングコースが、写真と概要などにより紹介されている。

■上島町サイクリング・ウォーキングマップ

- 32ページのガイドブック冊子の後ろにA3判サイズの地図が貼られている。
- 弓削島、生名島、佐島、魚島、岩城島の地図が絵で表現されている。
- 区間距離が標記されているが縮尺が不明。
- 峠と標高、勾配が示されていてアップダウンがわかりやすい。

■今治市観光案内マップ

- ミウラ折り（A7サイズ×5×8）で仕上げられている。
- おすすめコースとして今治～尾道までの約70kmの高低表が図示されている。
- レンタサイクルターミナルの案内、渡船情報が記述されている。
- 裏面には観光情報が、写真入りで記載されている。

■安芸市観光案内マップ

- 安芸市市街地の地図に、主要な道路と主な立ち寄りポイントが概要とともに掲載されている。
- 安芸市観光協会が運営するレンタサイクルと観光の拠点となる観光情報センターは詳しく紹介されている。



■安田町チャリンコ乗りヤスマップ

- 安田町の地図に、主要な道路と主な立ち寄りポイントが掲載されている。
- 地図のあちらこちらに手描きのイラストが配されており、親しみが感じられる。
- 地図内に記されている4つのコースは、それぞれテーマに基づくタイトルが付けられており、旅心がそそられる。また、これらのコースは色分けして記されているため視認性は良好である。
- 裏面にはコース別に主な立ち寄りポイントが紹介されている。

■天狗高原×自転車 気分爽快

- 自転車の積み込みが可能なバスの紹介とエリアの紹介文のみで、サイクリングマップではない。

■四万十川りんりんサイクル

- レンタサイクル「四万十川りんりんサイクル」の案内パンフレットであり、表面が詳細な紹介で、裏面にモデルコースが掲載されている。
- コース以外は省かれている地図ということで、コース外に足を延ばすことはできない。

■宿毛市・大月町の旅 サイクリングマップ

- 宿毛市・大月町の地図に、主要な道路と主な立ち寄りポイントが掲載されている。
- 地図内に記されている6つのコースは、それぞれテーマに基づくタイトルが付けられており、旅心がそえられる。また、これらのコースは色分けして記されているため視認性は良好である。
- 裏面にはコース別に主な立ち寄りポイントが紹介されている。

■JOYiNTマップ

- 門司港の中心部にあるレンタサイクルターミナルで、自転車を借りた人に対してコースを紹介するのが前提となっている。
- 4つのコースは内容に応じたタイトルが付けられており、立ち寄りポイント間の距離と所要時間、概要が掲載されている。
- 地図内にも色分けして表示されているものの、地図が込み入っていることもあり、視認性は十分でない。



■ほとめきの街「久留米」のまちなか散策マップ

- 表面は久留米市中心部の地図に、それぞれテーマを掲げた6コースが上書きされている。ただし、「散策マップ」というタイトルに示されているように、このうち自転車利用が前提となっているのは1コースのみ。
- 久留米市は幹線道路に通りの名称と位置番号を示した道案内を設けており、地図内にも通りの名称と位置番号が記され、目安となっている。
- 主な立ち寄りポイントは、裏面にある各コースごとの紹介に記されている。

■水郷柳川「まち歩き」マップ①／水郷柳川「まち歩き」マップ③／水郷柳川「まち歩き」マップ④／水郷柳川「まち歩き」マップ⑤

- 柳川市が「まち歩きマップ」として作成した地図のうち、ドライブマップを除いた4点。このうち③と④がサイクリングマップ、①と⑤はまち歩きマップと銘打たれている。
- ①と⑤のまち歩きマップは、自転車での移動も想定している。
- それぞれコースをメインとする簡略化された地図内には、主な立ち寄りポイントの合い番が振られており、欄外に写真と概要が掲載されている。
- ③と④のサイクリングマップは、コース上のわかりにくい箇所が写真と写真内の矢印を用いて説明されている。



○裏面にはそれぞれ、当地のうまいものと方言（①）、むかしばなし（③）、温泉と方言（④）、ひな祭り（⑤）が紹介されている。

■みやき町サイクリングマップ

○特記なし。

■かしましましまweb

○ウェブサイトにて、鹿島レンタサイクルの情報とコース例が公開されている。

○掲載されたコースは6つで、概略地図と写真が示されている。そのうちの1つは、Googleマップを利用している。

■北つしまサイクリングマップ

○タイトルにもあるように、東シナ海に浮かぶ対馬の北部全域をカバーする。

○掲載されたコースは3つで、それぞれ詳細図と概要、立ち寄りポイントの写真で構成されている。

■SAIKAI-ROAD西海路サイクリングマップ

○サイクリングマップとトレッキングマップが合体しており、表面の地図にはトレッキングとサイクリング、それからウォーキングのコースも記されている。

○ベースとなる地図は12万分の1という小縮尺の地図となるため、コースの曲がり角などわかりづらく、この地図だけで走行するのは困難かと思われる。

○立ち寄りポイントは地図内に合い番で表示。裏面にそれぞれ概要と写真が付されている。

■「川棚」・大崎自然公園

○大崎自然公園を紹介するリーフレットの中に、園内を巡るサイクリングロードが掲載されている。

■長崎県・川棚 KAWATANA MAP

○長崎県川棚町を紹介するパンフレット。大崎自然公園を示す詳細図の中にサイクリングロードが掲載されている。

■ゆうかファミリーロード

○大規模自転車道の1つ、熊本山鹿自転車道（ゆうかファミリーロード）の全線を紹介。ベースとなる地図は簡略化されているため、この地図だけではコースから外れて寄り道をするのは困難である。

○地図の下部に高低図が掲載されており、コースのプロフィールを把握することができる。

○裏面には主な立ち寄りポイントが写真と概要などで紹介されているものの、コースからのアクセスが示されていないため、実際に立ち寄るのは困難。

■五家荘 風の四季彩ロード

○五家荘を巡るコースは、1つのスタンダードコースと3つのオプションコースで構成されている。

○地図内には合い番が付されており、主な立ち寄りポイント（紺）、食堂・売店（橙）、宿（緑）で色

分けされている。

- 各コースとも詳細な高低図が示されており、特徴がひと目でわかるようになっている。
- 山間部ということもあってか、水溜りや落石、排水溝、浮き砂に対する注意を喚起するコラムが設けられている。

■南阿蘇水めぐりサイクリング・ウォーキング散策マップ

- 1面は上に地域の特産物などを散らばめた写真が、下に南阿蘇全域をカバーする地図が掲載されている。
- さらに2・3面に水めぐりマップの詳細図が掲載されている。なお詳細図は手描きされており、利用者に親しみを抱かせるものとなっている。地図内の文字や欄外の主な立ち寄りポイントの紹介を含め、文字もすべて手書き。
- 4面はこのエリアの拠点となるあーと和紙工房白水の詳しい紹介などが掲載されている。



■のんびりレンタサイクル サイクリングマップ

- ベースとなる南阿蘇エリアの地図に、5つ（そのうち1つは裏面の詳細図内）のサイクリングコースが上書きされている。
- 各コースは色分けされているため視認性に問題はないが、ベースとなる地図が簡略化されたものなので、曲がり角や分岐で戸惑ってしまうことも考えられる。
- 各コースから延びるオプションコースが、点線で示されている。
- 各コースの特徴は、写真と概要によって説明されている。
- 裏面には3エリアの詳細図が掲載されている。

■サイクリングロードで楽しむ球磨・人吉サイクリングロードMAP

- 熊本県球磨郡湯前町から人吉市に至る「球磨川サイクリングロード」のほぼ全線を5つのエリアに分割して掲載している。
- 分割したエリア同士は近接しているものの連続はしておらず、エリアをまたいで走行しようとする場合に支障が生じる。
- エリア図には球磨川サイクリングロードのほか、それぞれのおすすめサイクリングコースが示されているものの、そのルートが地図内に明記されておらず、コースを走行するのは困難。
- エリア図内のわかりにくい箇所には拡大図が付されている。

■耶馬溪サイクリングターミナル

- 自転車道の沿道に位置する耶馬溪サイクリングターミナルが発行しているもので、メイプル耶馬溪サイクリングロードの大部分をカバーしている。
- 耶馬溪サイクリングターミナルを基準に、山国川の上流部（A・表面）と下流部（B・裏面）とに分けられている。

○沿道の主な立ち寄りポイントにはコメントが付されている。

■メイプル耶馬溪サイクリングロードマップ

○メイプル耶馬溪サイクリングロードの全線を紹介している。自転車道のわかりにくい箇所には拡大図が付されているものの、地図は簡略化されており、サイクリングロードを外れて寄り道しようといった用途には使えない。

○主な立ち寄りポイントは地図上に吹き出しが設けられ、そこに名称と写真（アイコンがあるものも）が載せられている。

■おおいた自転車マップ

○ベースとなる国土地理院の地形図に、自転車道とおすすめのルート、自転車通行可の歩道、河川管理道が上書きされている。

○表面に大分市の全域図と5カ所のエリア図、裏面に市内中心部のエリア図と3つのルート図が掲載されている。

○地図はさわやかな色使いがなされており、そこに自転車に乗った人のイラストが描き込まれていることで、親しみやすい印象を受ける。

○地図の折り方にはミウラ折りが採用されており、ワンタッチで広げることができる。

○坂道の中には、勾配を示すアイコンと勾配率が記されているものがある。ただし、すべてがカバーされているわけではないので注意が必要となる。

○裏面の欄外にQRコードが載っていて、携帯電話のサイトで大分駅を起点とした周回ルートの情報を得ることができる。

○立ち寄りポイントの紹介はごくわずか。



■レンタサイクル飫肥城下町めぐり

○日南市の飫肥城下町を、レンタサイクルを利用して巡ることが前提となっている。

○掲載された地図はややデフォルメされているものの、エリアが狭く主だった道路が表示されているため、最低限の実用性は担保されているものと思われる。

○地図の欄外に2つのコースが紹介されているが、地図内には1本の赤線が引かれただけであり、コースを確認するのは困難。

○地図内の合い番は赤と紫に色分けされ、それぞれ立ち寄りポイントの有料（赤）と無料（紫）に対応している。

○飫肥城下町には当地にゆかりのある文化人たちの文学碑も点在しており、これも地図内に合い番として示されているほか、裏面には碑に記されたフレーズが紹介されている。

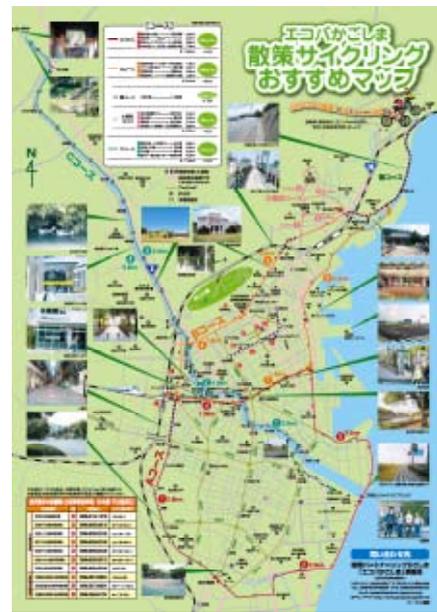
■肝付町サイクリングマップ

○国土地理院の地形図を縮小したものに、赤でサイクリングコースが上書きされている。

- コース沿道の立ち寄りポイントは、写真と名称で示されている。
- ベースとなる地図は大幅に縮小されているため、そこから情報を読み取ることはできない。したがって、コース途中の曲がり角や分岐についても、地図を頼りに判断することはできない。

■エコパかごしま散策サイクリングおすすめマップ

- 鹿児島市中心部を自転車で巡るための地図。
- 地元の調査隊が実走調査をした結果をまとめたもので、危険を感じた道路や自転車が歩道を通行できる道路が色分けされている。
- コースも5つ紹介され、それぞれ色分けされている。ただしそのうちの1コースは、全線にわたって危険を感じた道路に指定されている。
- 主な立ち寄りポイントは、吹き出しで写真が掲載されている。
- 駐輪場の一覧が、表と地図内の合い番を用いて紹介されている。



■風に誘われて風を誘って

- 南さつま市にあるサイクリングターミナルとサイクルステーションの紹介リーフレット。そのため施設の紹介がメインであり、裏面の地図には6コースが紹介されているものの、小縮尺であることもあって、この地図だけを頼りに走行するのは困難と思われる。

■南さつま まち歩き散策マップ

- サイクリングターミナルでレンタサイクルを借りて走行することが前提となっている。
- サイクリングコースとして所要2時間のコースが掲載されているが、コースの端が写真で隠され途切れてしまっている。一部の立ち寄りポイントは写真と概要が掲載されている。
- 裏面には町歩きの地図が掲載されている。

■竜宮岬レンタサイクル散策MAP

- 西大山駅がスタート&ゴールということで、駅前のレンタサイクルの利用が前提となっている。
- ベースとなるシンプルな地図に、竜宮コースと唐芋コースという2つのコースが上書きされている。
- 立ち寄りポイントは地図内に合い番で表示。裏面にそれぞれ概要と写真が付されている。



■指宿たまたま箱ガイド

- 鹿児島県指宿地方を多方面から紹介するパンフレット。
- サイクリングのコースとして紹介されているのは2コース。電動レンタサイクル「楽チャリ」の利用が前提で、いずれも指宿駅を起終点としている。
- ベースとなる地図は小縮尺でコースの曲がり角などがわかりづらく、この地図だけで走行するのは困難かと思われる。
- 立ち寄りポイントは地図内に合い番で表示。次ページにそれぞれ概要と写真が付されている。

■古都首里サイクリングマップ

- 電動アシスト自転車をレンタルする「ポタリング首里」が作成したもので、ここで自転車を借り、首里エリアを巡るのが前提となっている。
- 掲載された地図は、色使いや配されたイラストから親しみやすい印象を受けるが、道の狭い道路が省かれるなど地図として実用性には疑問が残る。
- 地図内には合い番が振られており、主な立ち寄りポイントの名称とその場所の分類が確認できる。
- 裏面にはピックアップされた立ち寄りポイントが写真と概要により紹介されている。

■NYC CYCLING MAP

- 両面にニューヨーク市街の自転車専用道（Protected Bicycle Path）〔緑〕と自転車レーン（Bicycle Lane）〔赤〕および共用ルート（Bicycle Route）〔燈〕が示されている。
- 自転車店（BIKE SHOPS）の位置、電話とレンタル可能（With Rental）の一覧が掲載されている。
- ルール（New York City RULES）について、英語とスペイン語、中国語で記述されている。
- 走行方法（TIPS FOR THE RIDE）について図と写真で解説されている。
- マナー（Bike Smart）について、図解で説明している。
- 地下鉄、バス、フェリー等への持ち込み方法（Bikes on Transit）についての記述がある。

サイクリングで“川、を観光商品化

ネーミングから始める道づくり

2000年の伊豆新世紀創造祭という伊豆の観光再生事業で、唯一“川、を観光商品化しようという取り組みに、われわれは自転車を持ち込んだ。当時は、今日の自転車やサイクリングブームの兆しはずかしく現れてきた程度だったものの、狩野川流域は間違いなく自転車適地になれば、当時の大仁町観光協会会長の内田隆久さんと一緒に、狩野川のサイクルツーリズム推進事業を立ち上げた。事業の構成は、①ルートの設定、②マップの編集と発行、③サインの整備、④イベントの実施、と大きく4つに分類される。

まず、自転車で狩野川の魅力を巡るみちを「コリドー狩野川」とネーミング。堤防上のみちを主軸に、できるだけクルマの少ない裏道を接続したサイクリングルートを設定した。

そのうえで、自転車での走行や旅にとって有効な情報を多彩に盛り込んだ専用のマップを編集、発行することにした。不特定多数を想定した一般の観光パンフレットにはないオリジナルな情報を大切にするとともに、サイクリストが求める自転車旅ならではの醍醐味、サイクリストを満足させる質の高い写真や文章表現を追求したつもりである。これを関東から関西に至る主要なサイクルショップに10,000部を配置した。

次に、そのルートに対するサインの整備である。快適な狩野川のサイクリングが楽しめるルートをたどるため、狩野川の堤防上を中心にサインが必要と思われる場所に専用サインを取り付けた。占有許可を得て設置する仮設サインである。1年という時限措置だったため、国交省もスムーズに許可をくれた。

こうしてサイクリングルートを、いつでも、誰でも、どこからでも使える状態にしたうえで、2つのイベントを実施することとした。ひとつは1日だけのシンボルイベントとしての「狩野川100kmサイクリング」であり、もうひとつは自分の都合のよいタイミングで参加できる「狩野川サイクリングラリー」である。

長距離を走るサイクリングイベントは、レースではないにもかかわらず、地域の人々にも大きなアピール力を持ち、参加者の達成感や一体感も大きいのが特徴である。コリドー狩野川を使った100kmのサイクリングイベントは、初回から約500名の参加者を得て2000年秋に開催。ルートの存在感、ゲレンデの魅力を大きく印象づけることができた。

参加者の都合がよいときに自転車で走行し、チェックポイントでスタンプを押し、応募するとプレゼントが当たるという方式のサイクリングラリーは、2カ月間にわたって実施した。専用マップを関東から関西の主要サイクルショップへ配置するとともに、専門誌を通じてラリーの存在を全国に情報発信したところ、これも約1,000に近い応募をいただくなど、サイクリストから大きな反響と共感を呼び、サイクリストという存在そのものを地域に着目させる役割を果たしたといえる。

狩野川100kmサイクリングは、2011年10月で12回の開催を数えるに至っている。首都圏と静岡圏から、コンスタントに毎回800名のサイクリストを集める定番ロングライドとしてその位置を固めるとともに、流域の旅館業からも「サイクリストを積極的に受け入れたい」といった声があがるようになった。

専用マップが不可欠

この狩野川での実績をベースに、われわれは静岡県内各地でサイクルツーリズムの取り組みに関わっていくこととなる。2003年には、森町でのMTBとロードバイクそれぞれにふさわしい①ルートの設定、②マップの編集と発行、③サインの整備、④イベント「森町サイクルツーリングデー」の実施、と4本柱を整えてスタートさせることができた。イベントは4年間にわたって実施。以後はマップの更新を続け、またレンタサイクルシステムも整備して、着実なスタイルでサイクリストを地域に迎えている。

浜名湖サイクルツーリングは、同じく2003年の立ち上げから3年間、軌道に乗るまで携わった。今や参加者が2,000人を超えるビッグイベントに成長したが、「サイクルイベントの実施」というミッションが色濃く、取り組みはイベントの運営にとどまっており、いわば「時代を反映したイベントノウハウ」として定着しただけに映る。本来目指そうとした「浜名湖のサイクルツーリズム」に上げていくためには、専用マップの編集と発行が不可欠だ。イベントを否定するものではないが、日常的にサイクリストたちが集い、走り、滞在することができるためにどうするか、という基本に立ち返ったシステムの構築が急務であろう。

「場面の提供」と「時間の提供」の両方が必要

サイクリスト人口の増加という好機に、単純な観光客誘致的な『場面：イベントやツアー』を提供する前に、サイクリストがいつ来ても楽しめる『時間：マップを含めたサービスやシステム』を提供しよう、つまり地域資源の顕在化とマップ編集を優先的にしようという考え方がある。自転車ならではの味わい深い風景や魅力ある資源と出会う、自由度の高い自転車旅の提案。これには、われわれが編集したコリドー狩野川のような専用マップがどうしても必要である。基本ルートに多彩なサブルートを加えた読本型マップだ。

もう一方で、最初からサービスやシステム化だと言うより、まずは集客型イベント等により目に見える成果を出してこそ、次のステップへ進むことができるというのもひとつの方法論だ。つまり、サイクリストたちのブームを加速させるのがまず最初だという考え方も、決して否定するものではない。

たとえば島や湖を一周するという行為は、サイクリストがモチベーションと達成感を得るのに最適な要素である。地域がその認識を新たにし、一周型サイクリストを迎えるための環境をもっと整えていくことが望まれる。具体的にはロングライドイベントの実現であったり、それとともにマップやサインの整備を進めていくのだ。どちらが先か、という議論ではなく、間違いなく『場面の提供』と『時間の提供』の両方が必要なのである。

われわれの地元である大井川と天竜川に囲まれた静岡県中東遠地域は、里山地形と味わいある資源、ココ（地元）サイクリストがサイクリストをガイドする独自のサイクルツーリズムを確立しようとしている。県内各地で取り組んできたことの応用はさておき、掛川市を中心にサイクル&トレイン、ツーデイズサイクリング、ガイドサイクリングといった先進的な実験や試行ばかりを重ねたことで、コマースリズムに乗らない『通好み』のサイクルフィールドとなってしまった感があるが、よそに負けないシステムやノウハウを確実に残してきた。それはサイクリングルートの蓄積と、それによるサイクリングマップの豊富さ、そしてルートを探求し顕在化してきた20名近い口コサ

イクリストたちの存在である。それによって『時間の提供』という道筋を徐々に整えてきたといえる。

先行した『時間の提供』を追いかけるカタチで、『場面の提供』を実現しようと「ゆるゆる遠州サイクルツーリズム」として事業を展開しはじめている。今年3月17日（土）のロングライド、18日（日）のガイドライドに合計600名のサイクリストが全国から集まる。マップは昨年に編集・発行しているが、このマップを使ったツアーイベントは初の開催となる。

増加したサイクリストと拡大したサイクルマーケットのニーズは、サイクルイベント参加型から滞在型サイクルツーリズムへと着実に進化している。しかし、サイクリストのハレの舞台を用意することは、地域にもマーケットにも、そしてツーリズムにも有効なモチベーションとなることもまた事実なのである。

佐藤 雄一（さとう ゆういち）

商品、商環境、デザイン、建築、空間、地域、観光の研究・企画・開発・プロデュースを生業とする。

静岡県の伊豆・狩野川流域、森町、掛川市、浜名湖沿岸、小笠山山麓のサイクルツーリズムの商品化に携わる。

コンセプト株式会社 〒436-0091 静岡県掛川市城下5-10・1F

☎0537-22-0654 FAX0537-22-0786

E-MAIL : sato@conception.co.jp URL : <http://www.conception.co.jp>

BLOG : http://blog.goo.ne.jp/concept_s



河口付近に架かる自転車歩行者道の専用橋



お茶どころ静岡ならではの光景に囲まれる

主催4団体に聞くガイド付きサイクリングツアーの現状と課題

一般の旅行と同様、サイクリングにも不特定多数を対象に参加者を募り、申し込んだ人たちを専門のガイドが引率するというスタイルのツアーが存在する。このガイド付きサイクリングツアーは歴史が浅く、まだマイナーな存在というのが実状である。しかしその一方、これまでサイクリングの経験がない人に一歩を踏み出してもらおうきっかけとなったり、地域おこしを目指す人々から新たな観光のあり方として注目を集めたりしているのも事実である。

ここではガイド付きツアーを催している4団体（「にわサイクリングツアーズ（NCT）」、「サイクリングツアーズジャパン（CTJ）」、「京都サイクリングツアープロジェクト（KCTP）」、「シクロツーリズムしまなみ（CTS）」）からうかがった話に基づいて、日本におけるガイド付きサイクリングツアーの現状と課題について考察してみたい。ちなみにこの4団体のうち、CTSを除く3団体は独自に旅行業の登録をしており、同団体も旅行業登録をしている他団体と共同でツアーを行っている。

参加者の多くは中高年層と女性

まず気になるのは、どのような人たちがツアーに参加しているのかということである。NCTとCTJでは中高年層や女性、KCTPでは外国人がメイン。また、CTSでは地元の人が多いとのことである。いずれもサイクリングの経験が少ない、もしくはまったくない人たちであり、「きっかけ」としての役割を十分に果たしているものと思われる。

ではいったいこの人たちが、どのような理由でツアーに参加しているのでしょうか。まず女性の場合は、自転車というハードそのものに対する興味や関心が薄く、したがって手に入れようとも思っていないという点が挙げられる。あるいは購入を考えているにしても、いきなり高価なスポーツ自転車に手を出すにはためらいのあることがうかがえる。さらに個人でサイクリングに出かけた場合、途中でトラブルが生じても対応できないといった不安も抱えている。その点、ツアーで用意される自転車はアップデートされているし、もちろんメンテナンスもしっかりしている。仮にトラブルが生じても、ガイドやスタッフがサポートしてくれるから心配は無用だ。

また、個人でサイクリングに出かけようという場合、自宅から走り始めるのでもない限り、現地まで公共交通機関やクルマを利用して自転車とともに移動する必要があるが、それが困難であることも考えられる。移動に際して必須となる、自転車のホイールを着脱する行為。これは慣れてしまえば簡単だが、



広大な北海道の大地を行くツアーの参加者たち

その経験のない人にとって障壁と感じられるのは当然である。それがツアーであれば身一つで出かけ、用意された自転車にまたがるだけでいいわけだから、これほど楽なことはない。CTJでは愛車で参加できるように、自宅から最寄りの集合場所まで自走で来てもらい、そこからバスとトラックで現地まで運ぶ搬送サービスまで用意している。

さらにCTJには、同団体ならではの理由もある。若年層がショップ主催のサイクリングや走行会にすんなりと入っていけるのに対し、中高年層にとってはショップの敷居自体が高く、プライドもあってショップの若いスタッフの指示に対して素直に従うことに抵抗もある。その点、CTJは参加者と同じくスタッフも中高年層ということで、一緒に楽しもうという気分になってもらえるとのことだ。結果的にリピーターが圧倒的に多く、その割合は65%を超えている。

KCTPの主な対象は外国人

それに対し、KCTPはやや趣を異にする。もともと代表の多賀一雄氏が「日本文化を広く世界に知ってもらいたい」との思いから立ち上げたこともあり、主な対象は外国人。自転車に目をつけたのも、その移動手段としてのポテンシャルの高さゆえのことである。世界遺産の1つであり、観光スポットがいたるところに存在する京都には国内外から多くの観光客が訪れており、レンタサイクルの業者も以前から存在した。つまり市内観光をする程度であれば、そこで自転車を借りるだけでいいという選択肢もある。そのため同団体においては通訳者が案内するというのが大前提であり、参加者もそれを望んでいる。必然的に日本人の利用者は少なくなる。

道案内はガイドに任せて

ツアーに参加するもう1つの大きな理由は、「交通量が少ない自転車に最適なルートを、ガイドに案内してもらえ」ことである。コースプランを立てるには地図を読んだりさまざまなことを調べたりすることが必要で、それを人に任せて走りに専念しようとの考えである。仕事や家事に追われるなか、限られた余暇を目いっぱい楽しもうという考えには納得もいく。集団走行ゆえ先頭交代で風を避けることができ、巡航速度がアップ。そのうえ集団だとある種のオーラが生じ、気分も高揚するという。経験者にとっては、こちらがツアーに参加する主な理由となるのだろう。長距離を快走する場合など余分な荷物をサポートカーに積んでおくことができるため、それをメリットに挙げる人もいる。

みんなと一緒に走りたいけど、わずらわしいのはイヤ

前項と重なってくるのだが、「自分ひとりで走るよりも、みんなと一緒にのほうが楽しい」から参加する人もいる。これも年齢や性別、あるいは経験の有無にかかわらず、多くの人がツアーに参加する理由に挙げている。これまでなら既存のサイクリングクラブに入って、あるいは自前でクラブを立ち上げていたような人たちが、ツアーに参加しているということになる。クラブだと自分たち自身が運営を担わなければならないため、それが負担になったり、クラブ内の人間関係をわずらわしいと感じているのだろうか。「休日ぐらいは浮き世の義理を忘れ、楽しむことに専念したい」と思っている人がツアーに参加している。だから参加者同士がツアーとは別に走りに行くこともあるけれど、それは非常にゆるやかなつながりであり、それこそ電子メールで告知をし、集まれる人だけが集まるというスタイルでやっている。

ショップが担ってきた役割の一部を肩代わり

「ショップのあり方の変容が、ガイド付きサイクリングツアーの需要を生み出している」との指摘が、CTJの杉野耕造氏とNCTの丹羽隆志氏の双方から出された。杉野氏は「顧客のサポートをショップができていない。購入したときにポジション調整をしたという自転車でも、その多くは再調整が必要。特に中高年層はお金を持っているので高い（＝レーシング志向の強い）自転車を買わされてしまい、レース向きの無理なポジションで乗っている例も見られる」と語る。そのためアップライトのポジションに調整したりギヤレシオを変更したりと、同団体には本来ならショップがすべきことへの対応も求められている。

一方の丹羽氏は、ショップが顧客のサポートをできない実状を、ガイド付きサイクリングツアーの主催者にとっての好機と捉える。「ショップは販売やメンテナンスで手一杯。さらにショップのスタッフ自身にも走りたいという願望があるため、顧客を連れてツアーに参加する方法を選んでいる」と語る。

そのためにはショップから、「あそこに任せれば安心」と思われる存在にならなければならないということで、彼は必要とされるものを2つ挙げた。その1つ、これは野山を走るMTBツアーに限られるものだが、フィールドを所有する地権者の了解を得て、合法的に利用するという。もちろん「ダメ」と言われることもあるわけだが、「はじめからあきらめるのではなく、よい関係を築けるよう地道に努力すべきであって、そうしないと何もプラスには働かない」と主張する。そして、もう1つは旅行業の登録。これは他団体の取り組みも交えて後述するとして。

参加者のレベル差への対応は？

続いてガイド付きサイクリングツアーにおいて懸念されるいくつかの問題について、どのように対処しているかを追ってみよう。不特定多数を対象とするサイクリングツアーでは、用意したツアーのレベルに参加者のレベルが追いつけない（大幅に遅れてしまう、途中でリタイヤしてしまう）点が危惧される。このことについて各団体はどのように考えているのだろうか。

NCTではウェブサイトなどにツアーのグレードを5段階に分けて表示しており、レベルのマッチングはだいたいうまくいっているという。判断が難しいのは自転車の経験はないものの、普段から運動しているという人。その場合、基礎体力に加えて走行テクニックも求められるオフロードだと差が出てしまうので、まずはオンロードで50kmを走るといったツアーに参加してもらって様子を見る。参加者も自信がないからこそツアーに申し込んでおり、無理に我を通すことはせず、こちらの言うことを聞いてくれるという。ツアーへの申し込みに際しては同意書への承諾も求めており、いざとなれば「こういう



ガイドと一緒に、こんな路地でも安心して進める

同意を取っている」と主張できるため、特に困ることはないようだ。

もちろん複数日にまたがるツアーではさまざまな準備企画があり、講習会もやったり実際にみんなで走ったりもしている。参加は強制ではないが、「自転車で走るということは、課題を1つずつクリアすることで身につくことが多い」と話し、できるだけ参加してもらうなど準備は怠らない。

CTJではバスやトラックの併走を基本とする同団体のメリットを生かし、この問題に対処している。基本は最も遅い人に合わせること。もちろん、これは他団体にも共通するものであろう。そしてフリーランの併用。そうしないと速く走る人がストレスをためることになるからだ。それでも遅れるようなら、その場合にはバスに乗ってもらうことになる。ユニークなのは、コースの途中にあえて上りを入れておくこと。脚力のない人が遅れるのは上りだが、そこでバスに乗ってもらえば、逆に差を詰めることができる。まさに逆転の発想だ。

ただし、その場合に「もうしんどいでしょうからバスに乗ってください」と言うと、相手にもプライドがあるので乗ってもらえない。そこで「この先にもっといいコースがあるので、今はバスに乗っておきましょう」という言い方をする。そこには中高年層の参加者を中高年層のスタッフが引率する同団体ならではの配慮も感じられる。もちろん、その前提としてコースの下見を何度もし、どこでどんな問題が起こりそうかの予測も立て、その想定範囲内で遊んでもらっているとのことだ。

KCTPは、また別のアプローチを試みる。それはツアーの人数を最大6人に限定したこと。実際の平均は2.8人とさらに少ない。ガイドから「後方の確認ができない」という声が上がったのがきっかけというが、確かに1台の自転車は前後2mほどを占有するから、5人でも10m、30人なら60mにもなり、先頭のガイドが全体を目配せすることはできない。さらに最大6人ということは複数のグループが混在できるわけだが、同団体ではそれも取りやめて完全なプライベートツアーとしている。外国人の参加者が多いなかで混在を許してしまうと言葉の問題が生じるからとはいえ、結果的に前述した問題は、そもそも起こりえないという副産物も生み出している。

トラブル発生時の対応は？

不幸にしてトラブルが発生したときには、どのような対処をしているのだろうか。NCTでは管理マニュアルを作り、それをスタッフで共有している。丹羽氏本人が参加していないツアーでも、事故があったときの連絡体制やその場での救急対応など、マニュアルに従って動いてもらっている。いざトラブルが発生した際には丹羽氏に確実に連絡が取れるよう、たとえば彼自身が海外に出かけるようなときは、その期間に別のツアーを催さないようにしている。



しまなみ海道に架かる橋をバックに

そして「ほかの参加者がいるためツアーを中止することはできない」ということで、けが人が出た場合も他の参加者が楽しめるよう、スタッフは複数を前提にしている。保険をかけるのも当然のこと。ただし保険会社が自転車保険から撤退したり、いったん保険金を請求した場合、次にかけづらくなるという実態もあるようだ。

CTJ の杉野氏は、「ケガが発生したときは救急車を呼ぶのが最大の策」と語る。そのためコースプランニングをする際に、沿道の消防署や病院の位置を把握する。応急処置の道具も持ってはいるが、下手に処置を施すと、それがあとになって訴訟の対象になることもあるうえ医師法の問題もある。したがって本人ができるものに関しては、やり方を教えて本人にやってもらっている。さらに自転車の場合は、山とは異なって舗装路を走る限りは遭難は避けられる。それもあって同団体では MTB のツアーは催していないとのことだ。

機材にトラブルが発生した場合にはどうするのだろうか。

NTP には MTB のツアーもあるだけに、かなり本格的な対応をする。サスペンションのエア抜けをはじめ、メカニカルタイプであればブレーキトラブルも OK。オイルタイプだと製品によって使われるオイルがさまざまということで、さすがに対応していない。道具もクランク抜きやハブスパナといった専用工具を持参する。CTJ はバスやトラックのサポートがつくため、パンクをしたときはチューブを交換するに限らず、ホイールごと交換することもある。

一方で KCTP の場合、ガイドは自転車に関しては素人。そのためパンクした際もチューブ交換やパッチ貼りといった対応はできない。その代わりに応急措置用のパンク修理剤を持たせている。そして、それ以上のトラブルに関しては、走行エリアが京都市内ゆえ 15 分ほどで向かうことができるため、自転車交換で対応している。

旅行業の登録は必要か？

冒頭に述べたとおり、4 団体のうち 3 団体は旅行業の登録をしている。募集の対象を事前に登録したメンバーとする限り、必ずしも旅行業の登録を必要とするわけではないが、実際には公募している例がほとんど。つまり監督官庁である観光庁が摘発しようと思えば、その対象となる団体は多く存在する。現状ではサイクリングツアーを主催する団体数が限られ、社会的認知度も低いということで、いわば「目こぼし」を受けている状態といわざるをえない。

旅行業の登録をするうえで、資格（旅行業務取扱管理者）を取得すること自体はさほど困難ではなく、多額の営業保証金を供託しなければならないというのが課題となっている（前年度の取引額または取引見込額が 2 億円未満の場合、第 3 種で 300 万円、第 2 種で 1100 万円、第 1 種だと 7000 万円必要とされる。旅行業協会に加入する場合はその 1/5 である弁済業務保証金分担金で済むものの、協会への入会金と会費等が別途必要になる）。

多賀氏は北海道の登山ツアーで死者が出たとき、その団体が旅行業の登録をしていなかったことが問題になった例を挙げ、「サイクリングツアーを主催する団体でも、旅行業の登録をしないと同じ轍を踏んでしまう」と語る。また CTJ の杉野氏は、これまでずっと製造業の経営に携わっていたことから、製造者（この場合は主催者）の瑕疵により損害が生じた場合、重大な責任を問われることを肌身に感じていた。当初ボランティアとしてツアーを手伝っていたときにこの問題を強く意識し、予防策として旅行業の登録をしたという。

もちろん旅行業の登録を申請する動機は、このような消極的な理由によるものばかりではない。登録

をすることで公的な体裁を整えられるというメリットもあり、NTC にツアーを任せるショップの例のように、それが信頼につながっている。

ちなみにこの旅行業の登録をするか否かは、それぞれの団体の設立の経緯にも関わってくる。他団体がツアーありきで設立されたのに対し CTS は、愛媛県東予地方の町おこしを担う「しまなみスローサイクリング協議会」を母体に、そこで立ち上がったツアープランを実現する場として作られた。そのため組織形態も民間非営利団体であり、冒頭で述べたように旅行業登録をしている他団体と共同でツアーを行っている。

ガイドに求められる資質とは？

ところでサイクリングツアーのガイドには、どんな資質が求められているのだろうか。

KCTP は国内の道路や交通規則に疎い外国人を案内することから、ガイドに対して6種類（①自転車研修、②交通研修、③走行研修、④ガイディング研修、⑤中距離研修、⑥京都学研修）の研修を課している。特に②交通研修と③走行研修は、同団体のガイドが自転車の経験が浅いという実情を踏まえ、重視しているという。また、ガイドが参加者を喜ばせることができるかどうかは、ガイド自身のキャラクターに負う部分が大きいのことで、研修の場で細かく指導することはないようだ。ただ、案内するエリアやスポットに関する最低限の知識はもちろん必要。それも通り一遍のものではなく、参加者から寄せられる疑問や感想に対し、当意即妙に回答することが求められる。事実、私がガイドをお願いした方も、私が発するさまざまな疑問（本願寺がなぜ東と西に分かれているのかなど）に対し、澁むことなく答えてくれた。さらにベテランともなると、ルートのアレンジもこなすようになる。だからガイドの走行研修をやっていると、多賀氏自身が「こんな道を探したんだ」と驚かされることもある。たとえば同団体の路地裏ツアーでは任天堂の旧社屋を紹介しており、それはアレンジから生まれたものが定着したのだという。定番のルートであっても、そのようにしてどんどん変わっている。

NCT の丹羽氏は、「ツアーに参加している人に、その時間をどれだけ楽しんでもらえるかが大事」と語る。特に MTB のツアーガイドは、話の中身がライディングテクニックに終始する傾向が見られるというが、それだけでなく道をたどった先にある風物の話もする。つまりガイドを先生やインストラクターではなくエンターティナーと捉えることが必要とのことだ。

最後にこのところ散見されるようになってきた、ボランティアベースのガイドに対する捉え方をうかがってみよう。

サービスを提供するビジネスとしてガイドを捉える多賀氏は、これに対し疑問の念を抱いている。ボランティアは「してあげている」という意識が抜けず、顧客のニーズに応える姿勢が希薄になりがちだと考える。一定の水準をクリアしたサービスを提供するために経費が掛かる以上、それに見合った対価を求めるのは当然ということだろう。NCT の丹羽氏も、「お金をもらってやる以上、魅力あるサービスを提供しなければならない」と意識し、自身は対価に値するサービスが提供できているかどうかを、常に自問自答していると言う。

訪れた人々が満足できるサービスを提供する。そのために既存の団体がさまざまな努力をし、工夫を凝らしていることが、ここまで読み進めてくださった人にはおわかりいただけたはずである。もちろん、その努力や工夫に対する正当な対価なくして、この事業を続けていくことができないということも。ガイド付きツアーに限らず、レンタサイクルなど自転車に関わる事業に取り組もう、あるいはすでに取り組んでいる方々に対し、先を見据えて息長く続けていただけるよう、切に願う次第である。

【参考】取材に協力していただいたガイド付きサイクリングツアーを主催する各団体

■にわサイクリングツアーズ ☒nct@ncycling.com <<http://www.yamamichi.jp/>>

「サイクルスポーツ」（八重洲出版）などでのツーリングのレポート、「丹羽隆志の日本ベストサイクリングコース10〈vol.1〉」「関東サイクリングロードマップ」（いずれも東京地図出版）といったコースガイド、はたまたNHK教育の番組で講師役も務めた丹羽隆志氏が主宰。2001年1月にスタートした当初は里山をベースとしたマウンテンバイクツアーがほとんどであったが、近年は北海道縦断ツアーや都内巡りのツアーなど多種多様なツアーをメニューに加え、風の旅行社と提携して海外ツアーも行っている。

■京都サイクリングツアープロジェクト ☎075-354-3636 <www.kctp.net/jp/index.html>

歴史と観光の町京都の、ガイドブックに載っていないような穴場を巡るツアーを数多く用意。ガイドは通訳案内士の資格を有しているうえに観光情報にも精通しており、うんちくにあふれる話を聞けば脚のみならずアタマも鍛えられる。ツアーは毎日開催され、どのコースも自転車込みなので、気軽に参加することができる。しかもその自転車は、500円追加することでツアー終了後も継続利用できる（19時まで）。

■サイクリングツアーズジャパン ☎0774-72-3994 <<http://www.cyclingtoursjapan.jp/>>

2009年に自転車旅行専門の会社として設立。サイクリング初心者からベテランのツーリストまでを対象に、自転車を一生の趣味として楽しんでもらうためにツアーや講座を企画している。景色を楽しむのんびりサイクリングしたあとは、おいしい料理と自転車談義に花を咲かすというのは、中高年のスタッフが中高年メインの参加者を引率する団体ならではの。公認サイクリングインストラクターの嶋村年彦氏と自転車業界の生き字引である杉野耕造氏が、すべて下見をしていねいに旅を作っている。

■シクロツーリズムしまなみ ☎0898-33-0069 <<http://www.cyclo-shimanami.com/>>

自転車旅行者のおもてなしを充実させる志を持った地域住民のネットワーク組織「しまなみスローサイクリング協議会」が母体となって、2009年4月に設立。サイクルトレインを利用した親子やビギナー向けの「しまなみ満喫イベントツアー」など五感をフルに使って地域をまるごと楽しむ新しい旅のスタイルの普及や提案を通じて、持続的な地域づくりを目指している。ガイドを務める宇都宮一成氏はパートナーであるトモ子さんとともに、タンデム自転車での世界一周を達成した経歴の持ち主である。

おもてなしの心に基づき、サイクリストにサービスを提供

「しまなみサイクルオアシス」は、農家民宿やガソリンスタンド、小売店などを営む地元住民がサイクリストのためにスペースを用意し、さまざまなサービスを提供するスポットである。旗振り役を務める愛媛県東予地方局が①幟旗（タペストリー）、②休憩するためのベンチ、③フロアポンプ（空気入れ）、④パンフレットスタンドの4点を貸与。受け入れ側に条件があるところでは、給水施設やトイレも用意している。これらのうちタペストリーは、「しまなみサイクルオアシス」のシンボルであり目印。どのようなサービスが提供されているかが、描かれたアイコンによってひと目でわかるようになっている。

これまでしまなみ海道を訪れるサイクリストは、道の駅やコンビニエンスストアで休んでいた。対して「しまなみサイクルオアシス」は、「地元の人との交流ができる場所で休んでもらえば地域のためにもなる。交流することでコミュニケーションが生まれ、ひいてはリピーターとなってくれる可能性もある」との発想に基づいて始められた。

同様の取り組みは広島県尾道市でも実施されていた。しかしそれは社会実験としてであり、実験終了に伴って一段落がついていた。そのため「しまなみサイクルオアシス」を始めるにあたっては、これを恒常的なものにすることが必須の前提であった。

滑り出しは順調で、大島、伯方島、大三島、岩城島、弓削島、生名島の6島合わせて19カ所に設置されてのスタートとなった。この取り組みが始まる前から自宅敷地にベンチを置いている人もいたし、シクロツーリズムしまなみが催すツアーなどを通じ、地元とのつながりがあったことが功を奏している。しかもこの数には、愛媛県側だけで7カ所あるレンタサイクルの貸し出し施設は含まれていない。これらは道の駅などに併設され、休憩やトイレといった設備がもともと整っているため、あえて指定する必要はないとの判断による。

シクロツーリズムしまなみでは今後に関し、数を増やすことよりも今あるものを育てていくことが大切と考え、利用の拡大や周知の徹底を図ろうとしている。そして、そのために「しまなみサイクルオアシス」を利用したツアーや、イベント開催時に「しまなみサイクルオアシス」で何かを提供することなどを考えている。

さて、話は少し横道に逸れる。シクロツーリズムしまなみでは、しまなみ海道に引かれた青の線（通称しまなみブルー）に対し、懐疑的な思いを抱いているという。線が引かれたルートは推奨コースとされているものの、実態は本州と四国を短い経路で結んだものにすぎず、各島内の見どころや立ち寄りどころを素通りする例が多く見られるからである。

これではしまなみ海道の魅力が十分に伝わらないうえ、地元にとって経済的な効果も望めない。そのため「しまなみサイクルオアシス」は、この推奨コースにこだわらず設置している（そもそも岩城島、弓削島、生名島の3島は、しまなみ海道が通ってもいない）。訪れた人たちに思いのまま走ってもらい、いざというときの安心を与える場として「しまなみサイクルオアシス」が機能する、それが同団体の思い描く理想の姿である。

なお、前述したように尾道市側では社会実験終了に伴い一段落ついていたものの、「しまなみサイクルオアシス」を立ち上げるにあたっては尾道市にも意向を伝え、連絡を取りつつ、会議では尾道市も出席しながら進めていった。その結果、尾道市側でも16カ所のスポットを新たに設置。愛

媛県側と尾道市側、その両者が提供するサービスは厳密に言えば異なる部分もあるけれど、異なった名称を用いて余計な混乱を招くよりはとの判断から、名称もタペストリーも統一した。県をまたいでできるところは一緒にやるという意識が醸成されてきたことは、この間の大きな成果といえよう。

同様の取り組みはしまなみ海道以外にも広がっている。「自転車の駅」の名で整備を進めているのが栃木県宇都宮市。同市では公共施設のほか市内の観光施設やコンビニエンスストアと協力しながら、空気入れなどの貸し出しを行っている。これを主要なサイクリングルート沿線の16カ所に設置。サイクリストのためのモデル施設「宮サイクルステーション」とともに活用されている。

埼玉県も負けていない。県内に156店あるコンビニエンスストアチェーン「ミニストップ」に、同チェーンの特長であるイトインコーナーを生かした「自転車の駅」を設けて休憩や飲食、トイレ利用の便を図るほか、空気入れの貸し出しや観光パンフレットの設置によりサイクリストをサポートする。さらに県内に18カ所ある道の駅のうち、県管理駐車場を有する8カ所に駐輪場やサイクリングマップを設置した。

また、奈良県では2011年11月から自転車を屋内保管してくれる、あるいは自転車搬送サービスの取り次ぎをしてくれる宿を「サイクリストにやさしい宿」に認定。現在県内32件の宿泊施設がリストアップされている。

輪行袋に収納した状態で客室持ち込み可、そのままの状態でも玄関やロビーなどに保管など宿によって対応は異なるものの、それはサイト上の一覧表で事前に確認することができる。さらにメンテナンススペースの提供や空気入れの貸し出し、手荷物の一時的預かり、シャワーや風呂の一時的利用などその他のサービスも一覧表に記載されている。

昨年度の調査報告書でわれわれは「もてなしの心」の必要を訴え、バイクラックなどちょっとした心遣いがサイクリストの琴線に触れ、「また来よう」との思いを募らせると述べた。ここでは4例を紹介したにすぎないが、それでも「もてなしの心」に基づいた取り組みが確実に広まっていることは、どなたも実感されるのではないだろうか。



地元住民がサイクリストのためにスペースを用意し、さまざまなサービスを提供する

ガイド付きサイクリングツアー実走レポート

「地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究」の大テーマの下、活用事例の1つとして「ガイド付きサイクリングツアー」に注目し、そのサービス実態を把握する。また、民間企業や観光協会など運営主体の違いがサービス内容にどのような違いをもたらすのかにも注目する。

1. 飛騨里山サイクリング

●調査実施日時：2011年11月3日（木）13：30～17：00

●調査地：岐阜県飛騨市（飛騨古川）

●サービス運営主体：(株)美ら地球（ちゅらぼし）

●ガイドツアーのメニュー

飛騨里山サイクリングでは、2010年から飛騨市の飛騨古川地域でガイドツアーを実施している。ツアータイプはスタンダード、ハーフ、ライド&ハイクの3種類で、要目は下記の通り。

タイプ	所要時間 (h)	費用 (円)	特徴
スタンダード	3.5	6000	飛騨の里山を走る
ハーフ	2.5	4500	スタンダードよりも短距離
ライド&ハイク	5	9500	ハイキングとランチが込み



飛騨里山サイクリング事務所前で（右がガイドの松尾氏）



飛騨古川の中心地



水場で世間話



農家の軒先でも



安国寺から見た飛騨中山

- 催行人数：1名※1ツアーにつき1～6名で催行（3～4名が多いとのこと）
- 使用車種：MTB（ルイガノ LGS-5）
- ウェブサイト：<http://www.satoyama-cycling.com/>

●概要

今回体験したツアーはスタンダードで、13時30分に飛騨里山サイクリング事務所前をスタート。飛騨古川一帯（距離約20km）を走る。

飛騨古川は江戸時代から続く、白壁土蔵や町家、錦鯉が泳ぐ水路などが織りなす古い街並みが楽しめるほか、山あいに向けた盆地の里山風景も大きな観光の魅力だ。



携帯用コンロでティータイム



夕霞たなびく里山を走る



ルイガノのMTB。整備は良好

途中、ガイドの案内で地元の人々の親しまれている湧水、刈り取った田んぼ、飛騨牛（ひだうし）の牛舎、道の駅、築150年の古民家などに出会う。ガイドは地域社会によくなじんでいるらしく、湧水を汲みに来た人や、農家の軒先でのおばちゃんとの世間話から、都市生活ではなかなか見られない里山の生活の表情を垣間見ることができる。

また、コースのほぼ中間にある安国寺では、ガイドが湧水を使って紅茶を淹れるティータイムがある。安国寺は盆地を見下ろす山裾にあり、夕霞がたなびく飛騨古川を眼下に温かい紅茶をいただく。茶菓子は地元名物「みそせんべい」だ。

スポーツサイクルで1時間半もあれば走れてしまう距離を、あちこち寄り道しながらゆっくり移動する。健脚者には物足りなく感じるかもしれないが、サイクリング初心者にとっては適度な疲れも心地

よいコース内容といえる。

●特筆すべき特徴

- ガイドの仕事の質が高い。場所ごとの説明、地元住民との交流の演出、通行時の安全確保などに常に気を配っている。
- 参加者の4分の1は外国人。隣の飛騨高山がミシュランガイドで三ツ星にランクされており、飛騨地域は海外からも注目されている。
- 旅の口コミ&ランキングサイト「トリップアドバイザー」で観光名所の人気ランキング1位(2012/2/5現在)。

●気になる点

- 1名参加の場合、ガイドがつきっきりでサポートしてくれるが、時にうっとうしく感じることも。

2.ガイドと水めぐりサイクリングツアー

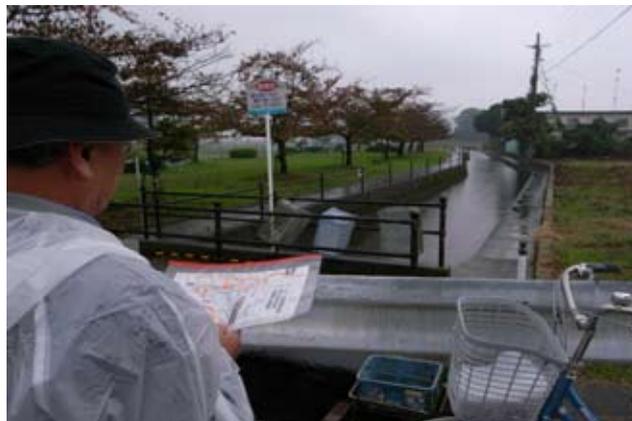
●調査実施日時：2011年11月5日(土) 10:00～12:00

●調査地：愛媛県西条市

●サービス運営主体：西条市観光協会

●ガイドツアーのメニュー

西条市では2010年から、市民を中心としたボランティアによる自転車ガイドツアーを実施している。コースは1つのみ。



市内を流れる水路でガイドが案内



ため池もある

タイプ	所要時間 (h)	費用 (円)	特徴
ガイドと水めぐりサイクリングツアー	2	300 ※	市街地の自転車散歩

※自転車レンタル保証料 2000 円 (終了時に返却)、レンタサイクル料金 (2 時間 400 円) は別途

●催行人数：1 名※ 1 ツアーにつき 1 ～ 5 名で催行 (4 ～ 5 名が多いとのこと)

●使用車種：シティサイクル

●走行コース (ルートラボ)：<http://yahoo.jp/CQh9zZ>

●ウェブサイト：<http://saijo-imadoki.heteml.jp/archives/7726>

●概要

今回走行したコースは、走行距離約 9.5km を 2 時間かけて走る。ところどころ停車してガイドが説明



江戸期からあるという石灯籠



自噴する「うちぬき」



きれいな水流が目を引く



一般的なシティサイクルを使用

するのは飛騨里山サイクリングと同じ。

西条市は市内を流れる加茂川の伏流水が豊富で、地面に鉄管を数m打ち込むと地下水が自噴する「うちぬき」がよく知られている。また市内は水路が多く、瀬戸内海にも面している。水と密接に結びつきながら工業としても発展した城下町・西条の表情を自転車で楽しんでもらおう、という趣旨だ。距離は短く、ファミリー向き。

●特筆すべき特徴

○自治体（観光協会）がガイド付きサイクリングツアーに取り組んでいる先進的な事例。「西条まつり」や温泉など、観光資源が多い西条市が、その魅力化手段としてサイクリングに目を付けたのは慧眼。同市では2007年からガイド付き観光ウォークを実施しており、その活動成果が下敷きになっている。

●気になる点

○ガイドにおもてなしの気配りが欠けていると言わざるをえない。各ポイントで撮影などしているのに、ガイドが走り出してしまい、何度も置いてけぼりを食わされた。

○自転車通行マナーの理解が浅い。歩道を平気で走る場面が散見された。

3.京都路地裏散歩

●調査実施日時：2011年11月14日（月）13：30～17：00

●調査地：京都府京都市

●サービス運営主体：京都サイクリングツアープロジェクト

●ガイドツアーのメニュー

京都サイクリングツアープロジェクトでは参加した「京都路地裏散歩」のほか、「京の町家めぐり」「京の至宝探訪」、さらに希望に合わせてコースをカスタマイズする「オーダーツアー」を行っている。完全プライベートツアー（1名～6名）なので、参加者のペースに合わせたスケジュールとなる。

タイプ	所要時間 (h)	費用 (円)	特徴
京都路地裏散歩	3	3900 / 4名以上～11000 / 1名	映画のセットのような祇園の路地裏を巡る
京の町家めぐり (ショート)	3	5900 / 4名以上～14000 / 1名	京都人の暮らしと知恵が詰まった伝統的な町家を巡る
京の町家めぐり (ロング)	7.5	8000 / 4名以上～25000 / 1名	京都人の暮らしと知恵が詰まった伝統的な町家を巡る
京の至宝探訪	8	12000 / 4名以上～30000 / 1名	世界遺産を案内する京都のゴールデンコース

●催行人数：1名～6名

●使用車種：内装8段変速&オートライト付きのオリジナルシティサイクル

●ウェブサイト：<http://www.kctp.net>

●概要

今回体験したツアーは京都路地裏散歩で、13時30分に京都駅サイクルターミナルをスタートし、京都市内（距離約22km）を走る。まずは東本願寺に立ち寄り、鴨川に沿って北上後、建仁寺を経て祇園。ここではツアーに参加しなければ素通りしてしまう路地裏を巡り、置屋や舞妓・芸妓専門の美容院



こちらの質問にも当意即妙に答えてくれるガイド



置屋の玄関口には、舞妓や芸妓の名前が

など、この土地ならではの場所を訪ねる。続いて平安神宮でひと休みし、鴨川を渡って京都御所。京都市街とは思えないうっそうとした林の間を抜け、ふたたび鴨川に戻ったら、川沿いを南下してスタート地点に戻る。

●特筆すべき特徴

- 本願寺をはじめ訪れた寺社について、豊富な知識に基づいた興味深い話を聞かせてもらった。また、こちらで尋ねた「本願寺はなぜ東西に分かれているのか？」とか「なぜ多くの信徒が団体で訪れているのか？」といった質問にも、澁むことなく答えていただいた。
- 右左折や直進・停止の際に出される手信号も適切で、後ろについて走った私が戸惑うことはなかった。
- 自転車は内装8段変速ということで走り出しが軽く、ちょっとした坂道も楽に上ることができる。タイヤの太さも十分で、京都御所の砂利道なども問題なく走行することができた。前かがみが便利で、日没が近づいたときにライトが自動で点灯した点も評価される。

●気になる点

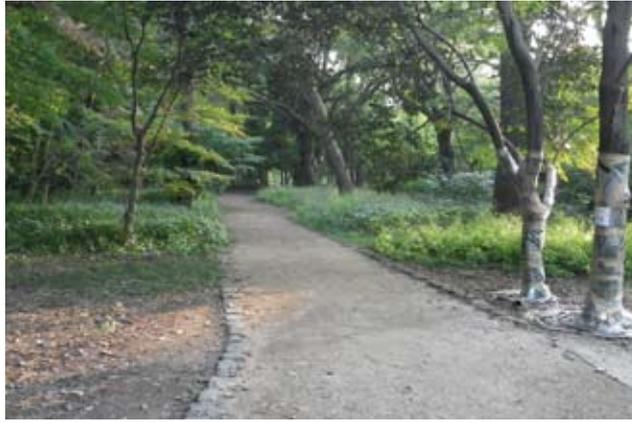
- 車道の左端走行を徹底し切れていないところなど、「自転車が車両である」との意識が、ちょっと欠けているかな？と思われるところもあった。
- ヘルメットは用意されているものの、ガイドを含めてかぶるのは本人の意志に任されている。
- ブレーキに効きの甘さを感じた。また、ペダルの軸が少し曲がっていたようで、ペダルを回す際に足裏に歪みを感じた。



祇園の目抜き通りは人やクルマでごった返す



加茂川の堤防上の道を行く



京都御所の敷地には、こんなうっそうとした道も



持参した資料を用いて説明するガイド

3者の比較から見えること

ガイドツアーの質は、観光資源の豊かさもさることながら、むしろそれを引き出すガイドのスキルとモチベーションにきわめて大きく左右されると気づかされた。決定的な違いは観光資源の多寡よりも、ガイドのおもてなしの意識にある。

西条市の場合はボランティアが「無報酬」で行うが、飛騨里山サイクリングや京都路地裏散歩では、ビジネスとしてガイドツアーを実施している。その業績が会社を左右するメイン事業だけに、緊張感を持って質の向上に努めている姿勢が伝わってくる。飛騨里山サイクリングにはあえて過疎と衰退にあえぐ地方でビジネスに挑む志の高さと決意を、京都路地裏散歩には事業として10年間にわたって継続してきた気概の高さと揺るぎなき自信を感じざるを得ない。

ボランティアの愛郷心と個々人の資質に依存する西条市のガイドツアーと、ビジネスとして取り組む飛騨里山サイクリングや京都路地裏散歩とでは、おもてなしの質の差は歴然としていた。一律にボランティアではダメということではないとしても、おもてなしの気持ちがなければ参加者は興ざめしてしまう。ボランティアの場合は、楽しく続けられる＝金銭にかわる報酬が得られるような工夫が必要だろう。

【参考】外国人向けガイド付きツアーの実際

京都路地裏散歩では過半数、飛騨里山サイクリングでも約4分の1の利用者が外国人だが、都内で外国人向けに特化したガイド付きサイクリングツアーを2006年から行っている「東京グレートサイクリングツアー」では、東日本大震災以前までは利用者が着実に増加していた。

4～10月のメイン期間は1日1回、週4日ツアーを実施し、年間利用者数は1100人（2010年実績）。これは開始当時の3倍という。利用者の出身国別ではアメリカが最も多く、次いでオーストラリア、イギリス、カナダ、ドイツの順に続く。

都内は自動車が多く走りにくいという印象があるが、同ツアーでは交通量が比較的少ない道路を選ぶなどの配慮をしているおかげもあり、利用者は「東京は人が親切で、自分の国よりも走りやすい」とおむね好評なのだという。

- 東京グレートサイクリングツアー（TGCT）<http://www.tokyocycling.jp/>

行政区分をまたいで広域化

自由に駆け巡ることのできるスポーツバイクの魅力を活かすのであれば、町や区、市や県といった行政区分に縛られるより、魅力の及ぶ範囲にまで広げて考えたほうが楽しみは増す。このようなスタイルのイベント運営は難しいとされてきたが、近年は行政区分をまたいで自転車イベントが開催されるようになってきた。いくつかの事例を見ながら広域化について考えてみたい。

富士山の麓を山梨・静岡の両県にまたがって一周する形で開催される「Mt. 富士エコサイクリング」。富士山エリアの自転車イベントは多数開催されているが、どれも一県内にとどまるものばかりだ。対してこのイベントは、財団法人日本サイクリング協会が主催となり、企画立案と大会実現までの交渉を行った。

1周120kmあまりのコースは、公道を使用する。交通規制はかけないものの、大会の開催に向けて一番の難関になるのが警察との調整だ。この大会の場合は、山梨、静岡の両県警の許可を得なければならず、静岡県警本部のほか、コース上の富士、富士宮、御殿場、沼津各署の交通課、山梨県は富士吉田署交通課に直接足を運び、説明して回ったそうだ。

イベント実現のための必要条件として、「地元の理解を得ていること」がある。行政機関の許可と協力を得るため、両県の知事とコース上の市町村の担当部署すべてを訪問し、説得する必要があった。一県での開催と比べると、説得すべき機関が増えてハードルが上がる。公益を目的とする法人が主催することと「富士山を世界遺産に」を標榜することで真摯な説得を重ねた結果、ようやく開催の許可を得られたそうだ。

初年度以降も大会の企画や運営は、協会を主体とする実行委員会の手で行われており、現状では地元からの意見や提案、積極的な協力はなく、開催を了承するというレベルでの関わりになっている。

1500名ほどの参加者を集めるイベントであるにもかかわらず、一県で開催される他の自転車イベントと比べても物足りなさを感じるが、それもこれも自県で独占できない1500名程度の自転車のイベントでは、特に魅力を感じないというところだろうか。同地域は通年で十分な観光客を集めており、その実態も影響しているのであろう。

複数の行政区域にまたがって開催されるイベントの実施や走行環境の確保は、やはり難しいといえそうだ。

複数の県にまたがるサイクリングコースとして最も有名なのは、瀬戸内海横断自転車道、通称しまなみ海道であり、年間を通じて多くのサイクリストが走行を楽しんでいる。橋上には自転車歩行者専用道が確保され、訪れる島々でも環境整備が進められているため、他のエリアと異なり、イベント実施に伴う警察との調整の苦労は少ないといえそうだ。現時点では年間3つのイベントが開催されており、それぞれが異なる運営スタイルを取っている。

3月に開催される「しまなみ縦走」は徒歩または自転車で、しまなみ海道沿いのチェックポイントを回る参加費無料のスタンプラリー。コースは片道で最長70km。すでに14回の開催実績がある。開催の提案は本州四国連絡高速道路株式会社（本四高速）から出されたものだが、主催は本四高速のしまなみ尾道管理センターと、しまなみ今治管理センター、瀬戸内しまなみ海道振興協議会（協議会）の3者となった。準備から実施まで3者で相互に連携&協力し、尾道・今治両市の意見を反

映させながらルートや大会のアウトラインを描いてきた。協議会が運営マニュアルを作成し、人員手配も行うが、両市の職員が中心になって当日の看板の設置やチェックポイントの運営、広報活動を行っている。また、チェックポイントでは市の職員や地元ボランティアが自発的に、地元色を打ち出したおもてなしを行っている。本四高速や協議会の性質上、両市が協力しやすかったといえるかもしれない。

1999年から継続開催の「来島海峡大橋サイクリング」は、今治市と今治サイクリング協会の発案で実施されているもの。主催者はこの両者に、同市の教育委員会や観光協会、自転車商組合、市職員などから構成される瀬戸内しまなみ海道来島海峡大橋サイクリング大会実行委員会が名を連ねる。コースは尾道市に属する生口島を除き、すべて今治市に属するため、事実上今治市サイドの単独開催といい。企画立案や人員の配置、警備、補給地点の運営など当日の環境整備は、すべて今治の主催者サイドで行われ、尾道市との調整はというと、イベントで使用する関係施設に直接協力要請が行われているようだ。

このエリアで最も新しいのが、2009年から開催されている「CYCLE MODE しまなみアイランドライド」。尾道市とテレビ大阪が、自転車の展示イベントの開催に向け協議を行った結果、展示イベントとサイクリングイベントの合同開催になったという経緯がある。主催はこの両者から構成されるしまなみアイランドライド実行委員会。走行ルートはしまなみイベントの中で最も長く、今治と尾道を往復するコースが主流。イベントの設計はすべて主催者が行い、両市で説明会を開き、今治市に人員配置、走行環境の美化、補給地点の運営などの協力要請を行い、両市の担当者間で情報共有や意思の疎通を図りながら運営されている。補給地点では両市が独自に地域色豊かな食材を提供するなど、それぞれの特色を生かした運営を行った。

最長のカテゴリーでは通常のしまなみ海道ルートに加え、因島や大三島内を縫うように巡って190kmを走る。フェリーを活用した島巡りコースを取り入れた年もあり、テレビ大阪というイベント運営の経験豊富な企業が主体となったことからコース設定もバラエティに富んでいる。コースが



多数の参加者の中には子どもの姿も



しまなみ海道で訪れる島の、昭和の面影が残る商店街

長い分だけ両市との調整が必要になり、苦勞も大きいものと思われるが、併催の前日イベントの運営を含め、サイクリストがこのエリアと自転車を楽しむという意味では非常に充実したイベントとなった感がある。

今後はこういったイベントを契機に両市が協調し、各島内にあるしまなみ海道のルート以外のエリアでもサイクリングが楽しめるよう環境整備が進めば、サイクリストの楽しみも増え、宿泊を伴う観光収入の増加なども見込めるのではないだろうか。

そしてもう一つ、広域化という意味で無視できないのが四国の「お遍路」だ。NPO 法人「遍路とおもてなしのネットワーク」事務局が主体となり、2009 年から自転車で 300km を巡るお遍路のスタンプラリーを開催している。これはスペインの巡礼に自転車が用いられていることにヒントを得たもので、若い人や歩きで巡るのが難しい人にチャレンジしてもらいたいとの思いや、自転車で回りやすい四国の立地を活かし、四国の美しい風景を楽しんでもらいたいとの思いから立ち上げたものだという。

行政機関との連携としては、スタート地点となる松山市がスタンプラリー台紙の印刷と設置に協力し、ゴール地点となるさぬき市は認定書の印刷と授与に協力。両市の市長が認定書に直筆でサインを入れ、捺印してくれる。自転車専用のサイクリングマップはまだなく、歩行者用を共有する形にはなるが、自転車専用の道案内シールを作成してルート沿いに貼っている。また、香川県自転車軽自動車商協同組合との連携や協力してくれる自転車店探しにも乗り出しており、自転車で巡る遍路のための走行環境も整いつつある。

遍路は昔からあったものの、これまで四国 4 県の協調はあまりなかったという。近年、遍路こそ四国の活性化に必要な資源という認識が深まり、遍路を介して協力する方向に変わりはじめているようだ。

設定距離が 300km と長いこともあり、まだ完走者は多くないそうだが、遍路経験と四国の自然の中でのサイクリングとの両立を楽しむサイクリストが増えてくるかもしれない。海外からの参加者を募るイベントが開催されたため、2011 年度の完走者の多くは海外からの来訪者だった。

神社仏閣や棚田など美しい田園風景、街並といった純日本的景観は、派手ではないものの海外からの観光客に喜ばれることが多い。今後は国内だけではなく、海外からの観光客に自転車というツールで日本を味わってもらおう観光ツアー開催の可能性もあるだろう。そのためにも魅力ある地域を行政単位で区切るのではなく、地域として楽しめるような枠組みがより進んでいくことを期待したい。

参加者に優しいジャイアントのサイクリングイベント

ジャイアントは手頃な価格で良質なスポーツバイクを販売し、人気を集めている自転車ブランドである。同社本体とコンセプトストアであるジャイアントストアの主催により、年に数回ずつサイクリングイベントが開催されている。その主な対象はスポーツバイク未経験の女性たち。スポーツバイクを始めようと思いついても、ひとりの場合は男性よりも難しいケースが多いからだ。

実際の走行の場においても、男性が混ざるとペースが上がり、ついていられない女性参加者が負い目を感じ、自信を失ってしまうケースもある。そのため原則としてビギナーの女性のみを対象にしている。さらに自転車貸し出し希望者から事前に身長やスポーツバイクに乗る目的などを確認し、クロスバイクやロードバイクの中から合ったバイクを選び、ヘルメットやグローブとともに貸し出している。そして走行前には必ずサドルの高さや位置、ハンドルの角度といったポジション調整を行い、乗り方のレクチャーをしてからスタートする。

ジャイアント主催のもので定員は12名程度だが、スタッフは4～5名が帯同。参加者を誘導し、安全に目を配るそうだ。ストア主催の小さなものになると、スタッフの数のほうが多くなるものもある。

コースを設定するうえで最も留意することは危険回避。可能な限り右折を避け、右折する場合には十分な待避場所が設けられるコーナーを選ぶ。女性が心配しがちなトイレ休憩もきちんと確保し、急に冷え込んだときのため、サポートカーには防寒具も積載している。また、体調不良の参加者が出た際に対処できる副案も用意し、生じうるトラブルに対応できるよう万全を期している。

都内であれば時速10kmで換算した無理のないペースで走れる走行距離を設定。女性の満足度を大きく左右するランチや休憩のカフェ選びにも気を遣う。

参加費用はレンタサイクルと食事込みで8,000円程度。やや高めな印象もあるが、3,000円程度のランチ、ケーキセットや走行時のドリンク、保険や記念品代に加えてサポートカーや人件費も考えると、かなりお値打ち感の高い価格設定といえるだろう。実際、ジャイアントがかなりの経費を負担している。

利益を度外視してイベントを企画するのは、きちんと整備されたスポーツバイクの爽快感や良質な自転車の可能性を体感してもらうため。都市部を走るものと鎌倉など近郊を走るものとは大別されるが、これはクロスバイクやロードバイクに乗りはじめた人が、実際にライドを楽しむシーンを想定したもので、購入後の自転車の楽しみ方の提案という意味合いを込めている。また、自転車は他のスポーツのように乗る行為のみが目的なわけではなく、移動などの「手段」でもあり、生活の中に入っていくものだ。自転車通勤用の施設やヨガとコラボしたり、雰囲気異なる街を自転車をつないだりと、参加者が自転車のある健康的な生活をイメージできるよう、イベントのテーマ設定にも工夫している。

イベントは毎回満員御礼。都心部のスポットを巡るごちんまりしたものも含め、参加者の満足度は高い。サイクリングイベントにおける参加者の満足度は、美しい景観やルートの目新しさだけでなく、楽しい時間を持てるようにとの運営側の心遣いによっても大きく左右される。

イベント後にジャイアントのスポーツバイクを購入した参加者は3割程度で、他ブランドを購入した人も含めれば、このイベントを機にスポーツバイクデビューした割合はかなり高い。このレベ

ルのイベントはジャイアントほどの規模でないと難しいとはいえ、参加者に喜ばれるサイクリングイベントを開くヒントは傾聴に値しよう。

質の高いレンタサイクル事業を営む

レンタサイクルを営業している店は数あれど、品質や整備状態はお世辞にもよいとはいえない自転車を出している店も多いのが現状だ。そんななか、メディアにも多く登場しているのが「グリーンサイクルステーション」。横浜の山下公園前にある小径車で有名な同店では、質の高いレンタサイクル事業が行われている。

「横浜サイクルーzing」と名づけられたこの事業で貸し出されるのは、ショップオリジナルの小径車。パステルカラーがかわいい7段変速の人気商品だ。気になったスポットを訪れたり写真を撮ったりと、横浜を自由に楽しんでもらうにはストップ&ゴーの踏み出しが軽い小径車型のギヤ付きスポーツバイクが最も優れているという。ライトやカギといった装備だけでなく、荷物を運ぶためのカゴやメッセンジャーバッグも無料で貸し出し、お土産も安心して購入できるようになっている。しかもおしゃれで、形だけの貸し出し品にはないクオリティの高さも誇る。

バイクはいつもピカピカに清掃、キチンと整備されており、レンタル代金には乗車する人を対象とした保険も含まれる。走行前に操作方法と走行ルールの指導、そして体格に合わせた乗車ポジションの調整をしてから送り出す。さらにレンタル代金は3時間1000円、1日1800円とリーズナブル。海外で販売されているガイドブックにも掲載されているようで、ガイドブック片手に店を訪れる外国人観光客の姿も見受けられる。

アイテムのセレクトセンスや自転車のクオリティ、購入後の保証への信頼が厚く、遠くからわざわざ訪れる客もいるほどの人気店で、なぜこのような事業を行っているのだろうか。代表の鈴木氏によれば「自分が生まれ育った横浜と、自転車のすばらしさを知ってほしい」一心で、山下公園前



「グリーンサイクルステーション」で貸し出されるショップオリジナルの小径車

に店舗を移転した2004年から開始したそうだ。コストと手間をかけ、保険まで付けて良質の自転車を貸し出すのは、横浜で3代営む自転車屋としてのプライドから。「とにかく横浜の印象を悪くしたくない」と語る鈴木氏は、『さすが横浜！自転車屋も違う！』といい思い出を持って帰ってもらいたい」と付け加えた。

収支の面ではどうなのだろうか。用意されているのは、1台7万円ほどの7段変速の小径車10台。昨年1年間のレンタル事業の売り上げは130万円程度というから、おおよその耐用年数が3年程度ということを考えれば、整備や清掃にかかる人件費を考えても、車体本体の代金は十分回収できる。レンタサイクルを利用した客がその後同店でバイクを購入するなど、実際の売り上げにつながるケースもあるそうだ。

よく整備されたギヤ付き自転車が借りられるショップはまだ少ないため、スポーツバイクに乗りたくて借りに来るケースも多い。用途は近隣のポタリングに限らず、なかには往復50kmほどのライドに出かける客もいるとか。客のニーズを汲み、今後は日をまたぐ貸し出しサービスも検討している。

横浜という土地を愛し、客の満足にこだわった経営を進める鈴木氏には、同じ想いを抱く地元他業種の面々も注目を寄せ、親交を深くしている。観光の足としての自転車には、今や大きな期待が寄せられているとあっていいだろう。今後、横浜で自転車が、さらなる発展をする日も近いかもしれない。

スポーツ自転車のレンタサイクル、その勤どころは？

レンタサイクル用の自転車で一般的なのはママチャリやシティサイクルだが、最近では本格的なスポーツサイクルを貸し出す事業者も増えてきた。

そこで気になるのが整備状況だ。観光地などで利用できるレンタサイクルはいかにもボロボロで、ブレーキレバーのタッチやペダルを踏んだときの感覚に思わず不安を感じてしまう。長距離をハイスピードで走行可能なスポーツサイクルで、ママチャリと同様に雑な整備をしていれば、利用者はスポーツサイクルの快適さを味わうことができないのではないかと。最悪の場合は交通事故さえ招きかねない——そんな心配が頭をもたげる。

スポーツサイクルは繊細だ。ささいな不具合が印象を大きく左右する。

先日利用したガイド付き自転車ツアーでも、見た目は新しいMTBを借りたのだが、最初にペダルを踏んだときの、チェーンが砂でもかんだかのような「ジャリッ」という印象に強い違和感を覚えたものだ。また、八丈島でMTBを借りたときは変速がスパッと決まらず、自分でシフトワイヤの張りを調整した。

実際のところ事業者は、スポーツサイクルをレンタルするにあたって、どんな点に注意すべきなのか、そしてしているのか。

■ブレーキパッドの減りが早い——Blss

埼玉県長瀨町を拠点に、秩父地域で林道などを使ったガイド付き自転車ツアーを実施するバイクライフサポートシステム(Blss)(※1)では、ツアー参加者に15～30万円台のMTBを貸し出す。

「利用者は初心者が中心。油圧ブレーキのパッドの減りが早く、2カ月も持たない」と話すのは、代表の岩瀬信彦さんだ。

林道を走り慣れた人であれば適宜ブレーキを操作するところを、初心者は恐怖心から常にブレーキを引いた状態であることが多いのだという。そのため限界ギリギリまでパッドを摩耗させても、交換のタイミングが早くなってしまふのだそう。

ただし、機械式ブレーキの場合と異なり、摩耗に応じたブレーキワイヤの調整が不要なため、その点で整備の手間は省けているという。自ら10台あるMTBを整備するという岩瀬さんは、MTBダウンヒル全日本チャンピオンの経歴もあり、経験に裏打ちされた整備のためか、機械のトラブルに起因する事故は皆無だそう。

■パーツ選びは耐久性重視——びわ湖一周サイクリング

「琵琶湖を一周すると、約150～200km走ることになる。整備は入念に行う」と話すのは、ウェブサイト「びわ湖一周サイクリング」(※2)を運営するNPO五環生活スタッフの真田健吾さんだ。

びわ湖一周サイクリングでは、クロスバイクやMTBなど20台をレンタル。主にスポーツサイクル初心者を対象に、乗り方のレクチャーなども実施しながら貸し出している。

使用環境がハードなため、入念な対策が必要となってくる。「パーツ選びは耐久性重視。ロングライド中にパンクが発生すると利用者も事業者も大変な思いをするので、チューブ内にシーラント(充填剤)を注入する対策を計画している。また、自転車はアフターパーツ供給のしっかりした日

本製のコンポーネントを装備したものを極力選ぶようにしている」

万全の状態で貸し出しても、戻ってくるときにはあちこちに整備や調整が必要な箇所が出てくることも。そのためスポーツサイクルのレンタルは予約制で、前日までに整備を済ませておくという。

整備の中心を担う真田さんは、スポーツサイクル歴 10 年。「ショップに出さず自分で整備する」という自身の経験が整備にも反映されているといい、「利用者の反響はおおむね好評」とのことだ。

こうしてみると、やはりスポーツサイクルの整備にはそれなりの技術や経験が不可欠だとわかる。スポーツサイクルでレンタサイクルを実施する際には、当然のことだがスポーツサイクル乗りの目線で整備ができるスタッフの存在が欠かせない。

また興味深いのは、いずれのケースでも主な利用者がスポーツサイクル初心者であることだ。スポーツサイクルに乗り慣れた人は、レンタルサービスを必ずしも利用していない。長年スポーツサイクルに乗る人は、乗り味に各自のこだわりを強く求めるため、万人向けのレンタサイクルを少なくとも現時点では余り歓迎していない、と考えることもできる。

ともあれ両者とも「ベテランサイクリストから細かなクレームをつけられたことはほとんどない」という見方では一致している。初心者にターゲットを絞り、走る・曲がる・止まるの基本を満たす整備を万全に行っていれば、とりあえずは問題ないということか。筆者の心配はどうやら杞憂のようだ。

※ 1 : <http://www.blss.cc/>

※ 2 : <http://www.biwako1.jp/>

(平成23年度) 総括 (まとめ)

委員長 蓮見 孝

本調査・研究は、JCA が7年間にわたり取り組んできた継続的な事業である。自転車乗用環境の整備は、わが国にとってきわめて重要な課題であるにも関わらず、綿密な検討がおこなわれてこなかった課題でもある。自転車は、環境共生の時代に適する完全無排気の乗りものであるだけでなく、人々の心身を健やかにする優れたフィットネス・ツールでもある。このように多様な利点を有する自転車を社会に有効に活用すべく、さまざまな視点から調査・研究をおこなってきたが、わが国における自転車乗用環境には、依然として多くの根本的問題が存在し、発展途上にあると言わざるをえない。

第1に、自転車の社会的位置づけが曖昧なことである。時に歩行者とみなされたり、車両とみなされたりすることが自転車利用者の通行マナーにも影響し、危険性も含めた自転車への正しい認識が社会的にしっかりと根づいてこなかった。道路交通法に則った自転車安全利用五則では、「自転車は車道が原則、歩道は例外」、「車道は左側を走行」等と明示されているにも関わらず、自転車の逆走や無灯火走行は日常茶飯事であり、駐輪のモラルも一向に向上していない現状が見られ、さらにきめ細かい改善方策の実行が求められる。

第2に、自転車乗用環境の基盤的インフラである「道路」や「付帯設備」等の整備において、数々の問題点が見られることである（「平成16～17年度調査・研究報告書」参照）。全国各地を対象とした実走調査から明らかになったことは、自転車道の整備が河川敷や海岸線、あるいは鉄道廃線などを転用しているケースが多く、また自転車道相互のルートのつながりが弱いため、「ミッシングリンク」（道路の分断）が生じ、特にロングライドにおいては自転車のスムーズな移動に困難を生じさせていることである。市街地においては、諸先進諸国で一般化している自転車走行車線が、わが国ではほとんど整備されておらず、自動車優先の車道では、たとえば常時左折可の大きな交差点のように自転車走行に危険が伴う箇所も少なからず存在している。本調査・研究で提示した既存道路のミッシングリンクをつなげるしくみである「サイクル・リンク」の実行が望まれる（「平成20年度調査・研究報告書」参照）。さらに「クルマ止め」や「案内標識」、「案内地図」という付帯設備についても、管理する自治体ごとにかたちや模様、色などの仕様が異なっており、統一性に欠けるため、自転車道や行政区が変わるたびに戸惑ってしまいがちである。すなわち、ひと目で理解できるという認知性に欠け、快適に走りにくい状況が多々あることが判明した（「平成20年度調査・研究報告書」参照）。付帯設備については、整備の機会をとらえて着実に標準化・統一化を図るべきである。

第3に、自転車乗用を促す社会的発信力が弱いことである。自転車の利用は「ママチャリ」に象徴される日常使いの自転車と、マニア的なスポーツタイプの自転車に二分され、一般市民がこぞって自転車を楽しむ文化的土壌が十分に育っているとは言い難い。ドライジーネの発明以来200年もの長い自転車進化の歴史を持つ欧州諸国では、市街地におけるシェアリング・システムの整備や、老若男女が気軽に参加できるサイクルイベントの開催などにより、自転車が環境共生時代のシンボルとして高い位置づけにあり、生活文化として定着している。物心がついたときから自転車と親しみ、自転車を生涯にわたって楽しみ合う人びとが増えることにより、環境共生型社会づくりは一段と進展するに違いない。

本年度は、特に第 3 の問題に焦点を当て、自転車の楽しさや有用性を効果的に発信し、自転車を楽しむ環境を整えながら地域の観光振興にも供し得る新たな自転車活用の可能性について調査・研究を進めた。その糸口として、全国の公共団体等が発行している「サイクルマップ」に着目し、実際にサイクリングを楽しもうとする人びとのニーズに立つとともに、20 年を超えるサイクリングキャリアを持つ本委員の視点も反映させながら、マップに掲載されている情報の質と量について評価し、望ましいマップのあり方を明らかにした。観光庁の協力を得て全国から収集した 221 点のサイクリングマップは、それぞれに発信者である企画・発行者のサイクリングや地域活性化に対するビジョンが反映され、また地域の特性を生かしたさまざまな工夫がこめられているはずである。事実、各マップはそれぞれに個性に満ち、魅力的なものが多かった。しかし、発信者にサイクリングの当事者たる意識が希薄なケースも散見された。本当に自分自身がサイクリストの立場に立ち、サイクリングを楽しむために有効な情報を提供サービスしようとしているのだろうか、という疑念である。たとえばサイクリング道路は長く続いているのに、自らの行政区内だけの地図掲載で終わっている例が散見された。また縮尺や方位が表示されていないもの、所要時間しか表示されていないものも、計画が立てづらく使いにくい。反面、本調査で見られた優良なサイクリングコースでは、複数の自治体が連携し、さらに事業者や一般市民もこぞって参画し、サイクリングコースを利用する来訪者を最大限にもてなそうとする配慮がみられた。また利用者のニーズを絞り込み、その特性に合わせてきめ細かくプランニングされた「ガイド付きツアー」など、交流型の上質なサイクリングの萌芽も各所に見られた。このような事例は、まさに観光庁が提唱する「スポーツ・ツーリズム」の理念にしっかりと合致するものであり、地域全体、さらに日本という国の魅力化にも貢献するものであろう。自転車は孤立していたさまざまな地域資産（人、もの、場、こと）を有効に結び、地域に潜在するポテンシャルを導き出し活用するしくみとしても有効なのである。それに気づいた賢い地域がすでに活発に動き始め、先導的な活動が芽吹き枝葉を広げているのである。

さらに、サイクリングの質そのものを高めようとする動きが見られることは好ましい。たとえ景色が素晴らしい観光地でも、整備不良の生活臭が漂う貸し自転車では豊かな旅は満喫できないし、自転車やサイクリングの本当の魅力に気づかされることもないだろう。整備が行き届いた高機能の自転車、しっかりとした走行前のオリエンテーション、サイクリングを熟知したガイド、そして地域を挙げてのおもてなしに包まれたサイクリングの時空間は、ありきたりの消費型観光では決して得られない充実した自己実現行為としてのサイクリングの世界に、多くの人びとを導いてくれるはずである。サイクリングを通して地域の魅力が掘り起こされ、地域に住む人の参画が活発な交流を生み、それが来訪者と地域住民の双方の生活の質の向上につながればよいと思う。「誰も損をしない」「誰もが幸せな気持ちになれる」。自転車とサイクリングは、そのような高い社会的資質を持った素晴らしい“文明の利器、なのである。

本事業は、第 I 期と第 II 期の調査研究を合わせると 10 年もの長きにわたる。本事業は調査研究委員会委員およびワーキンググループメンバー、そして多数の協力者の支援と尽力によって成し遂げられてきたものであり、関係各位の惜しみないご協力を厚く感謝したい。そして本年度もまた、観光庁をはじめ多くの自治体や事業者、そして自転車乗用の振興活動に関わる市民団体など、数え切れないほど多くのみなさまのご協力で支えられて事業を推進することができた。改めて自転車を愛し、その乗用環境の改善・整備にご努力されてこられた関係各位に、心より御礼を申し上げます。

平成 23 年度「自転車乗用に関する調査研究事業」

報 告 書

- 地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究 -

財団法人 日本サイクリング協会

〒 107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3

URL : <http://j-cycling.org/>

Mail : jca@j-cycling.org

Tel : 03-3583-5628 Fax : 03-3583-5987

2012 年 3 月

サイクリングマップ一覧表

No.	府県	コード	名称	発行者	発行年	配布方法				料金	郵送希望	更新増刷	部数	web掲載	イベント	体裁サイズ	モデルコース	距離(km)	用途分類	縮尺	方位	高低差	WC	GS	交番	コンビニ	観光ガイド	味食	レンタサイクル	自転車屋	公共交通	指導	備考	
						案内	役所	観光	宿泊																									他
1	北海道	01	サイクリングマップ旭川	旭川市経済観光部観光課	2009.3.31	■	■	■	■	■	無料	無料	予定なし	5,000	自治体	ない	B3/12折	7	4.6~36.5	観光型	—	○	△	○			○	○	○	○	○			
2	北海道	01	びえいしろがねサイクリングマップ	(社)美瑛町観光協会	2010.9.17	■	■	■	■	■		着払	在庫	50,000	観光協会	ない	A4/3折	4	4.2~25.1	Ride型	—	—	○				○	○	○	○	○			
3	北海道	01	倶知安サイクリングマップ	倶知安観光協会	2010	■	■	■	■	■	無料	無料	予定なし	不明	ない	ない	A3/6折	5	10.5~43	Ride型	—	○	△	○		○		○	○	○	○	マナー	GoogleMap 衛星写真	
4	北海道	01	富良野サイクリングコースマップ	(社)ふらの観光協会	2011.3.31	■						対応なし	予定なし	200	ない	ある	A5×30頁	14	9.4~29.3	S.T.型	—	○	△	○			○	○	○	○	○	マナー ルール	日の出日の 入平均気温	
5	北海道	01	ニセコサイクル		2010												A3/10折	9+7	2.0~59.4	S.T.型	1:161,290 拡大図	N up	○	○		○	○	○	○	○	○		英文併記	
6	山形県	04	寒河江市・東根市・天童市観光マップ	めでためてた花のやまがた観光圏推進協議会	2010.7.9	■					無料	無料	予定なし	5,000	ない	ない	A4			観光型	—	N up					○	○	○	○	○			
7	岩手県	05	バスと自転車で巡るいわて平泉	県南広域振興局経営企画部	2009.4.14	■	■	■	■	■	無料	無料	2012.3 予定	15,000 85,000	自治体	ない	A5×8折			観光型	1:10,869 周辺マップ	N up		○			○	○	○	○	○		割引特典	
8	群馬県	08	利根川・江戸川サイクリングロードマップ	群馬県県土整備部道路管理課交通安全施設係	2005.3 2010.7	■					無料	郵送代	在庫	2,000 32,000	自治体	ない	1.68A2/ 20折			Ride型	1:75,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
9	群馬県	08	利根川自転車道ガイド	県土整備局道路企画管理課	2004.6 2011.5	■					無料	郵送代	在庫	5,000 15,000	自治体	ない	1.68A2/ 20折	1	37.7	Ride型	1:25,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
10	群馬県	08	高崎伊勢崎自転車道ガイド	県土整備局道路企画管理課	2010.12	■					無料	郵送代	在庫	5,000 14,000	自治体	ない	1.29A2/ 16折	2	6.0~42.5	Ride型	1:25,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
11	群馬県	08	桐生足利藤岡自転車道ガイド	県土整備局道路企画管理課	2011.5	■					無料	郵送代	在庫	5,000 11,000	自治体	ない	1.52A2/ 18折	1	38.4	Ride型	1:25,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
12	群馬県	08	蛇川(石田川)ほかサイクリングロードガイド	県土整備局道路企画管理課	2011.7	■					無料	郵送代	在庫	4,000 8,000	自治体	ない	1.68A2/ 20折	5	4.4~13.5	Ride型	1:25,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
13	群馬県	08	鮎川ほかサイクリングロードガイド	県土整備局道路企画管理課	2005.3 2011.2	■					無料	郵送代	在庫	4,000 8,000	自治体	ない	1.52A2/ 18折	9	3.8~11.5	Ride型	1:25,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
14	群馬県	08	高田川ほかサイクリングロードガイド	県土整備局道路企画管理課	2010.7	■					無料	郵送代	在庫	4,000 6,000	自治体	ない	1.52A2/ 18折	4	2.2~13.1	Ride型	1:25,000	N up	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
15	群馬県	08	玉村渋川サイクリングロードガイド	県土整備局道路企画管理課	2003.8												1.52A2/ 18折	1	35.0	Ride型	1:25,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
16	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(前橋版)	県土整備局道路企画管理課	2004.4 2011.6	■					無料	郵送代	在庫	3,000 6,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:20,000 1:10,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
17	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(高崎版)	県土整備局道路企画管理課	2004.4 2011.7	■					無料	郵送代	在庫	3,000 7,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:20,000 1:10,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
18	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(渋川版)	県土整備局道路企画管理課	2005.4 2011.7	■					無料	郵送代	在庫	3,000 4,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:20,000 1:10,000	○	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
19	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(沼田版)	県土整備局道路企画管理課	2005.4 2011.7	■					無料	郵送代	在庫	3,000 4,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:10,000 1:5,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
20	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(伊勢崎版)	県土整備局道路企画管理課	2005.4 2011.7	■					無料	郵送代	在庫	3,000 5,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:25,000 1:10,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
21	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(安中版)	県土整備局道路企画管理課	2011.5	■					無料	郵送代	在庫	3,000 3,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:20,000 1:10,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
22	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(富岡市)	県土整備局道路企画管理課	2011.3	■					無料	郵送代	在庫	3,000 4,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:20,000 1:10,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
23	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(藤岡市)	県土整備局道路企画管理課	2010.6	■					無料	郵送代	在庫	3,000 4,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:25,000 1:10,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
24	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(桐生市版)	県土整備局道路企画管理課	2005.4 2010.7	■					無料	郵送代	在庫	3,000 5,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:10,000 1:5,000	○	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
25	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(館林市版)	県土整備局道路企画管理課	2005.4 2011.7	■					無料	郵送代	在庫	3,000 4,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:10,000 1:5,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
26	群馬県	08	サイクリングロードネットワークおもしろMAP(太田市版)	県土整備局道路企画管理課	2005.4 2011.7	■					無料	郵送代	在庫	3,000 5,000	自治体	ない	A1/24折			複合型	1:20,000 1:10,000	N up	基本図	○			○	○	○	○	○	○		
27	埼玉県	11	駅からチャリマップ	埼玉県産業労働部観光課	2011.3	■	■	■			無料	無料	予定なし	100,000	ない	ない	1/2A4× 16頁	10	5.8~19.4	S.T.型	各種サイズ	N up		○		○	○	○	○	○	○	○		
28	埼玉県	11	利根川・江戸川サイクリングロードマップ	群馬県、埼玉県県土整備部道路環境課	2011.8	■					無料	返信切手	在庫	4,000	自治体	ない	1.68A2/ 20折			Ride型	1:75,000	○	数値 地図	○	駐 輪 場	○	○	○	○	○	○	○		
29	埼玉県	11	利根川自転車道ガイド	県土整備部道路環境課	2005.3 2011.5	■					無料	返信切手	在庫	2,000 6,000	自治体	ない	1.68A2/ 20折	1	26.0	Ride型	1:25,000	○	数値 地図	○	○	○	○	○	○	○	○	○		勾配がきつい 場所(3%以上)
30	埼玉県	11	比企自転車道ガイド	県土整備部道路環境課	2002.3 2010.3	■					無料	返信切手	在庫	2,000 9,000	自治体	ない	1.18A2/ 14折	1	12.8	Ride型	1:25,000	N up	数値 地図	○	○	○	○	○	○	○	○	○		勾配がきつい 場所(3%以上)

サイクリングマップ一覧表

No.	府県	コード	名称	発行者	発行年	配布方法				料金	郵送希望	更新増刷	部数	web掲載	イベント	体裁サイズ	モデルコース	距離(km)	用途分類	縮尺	方位	高低差	WC	GS	交番	コンビニ	観光ガイド	味食	レンタサイクル	自転車屋	公共交通	指図	備考			
						案内	役所	観光	宿泊																									他		
31	埼玉県	11	芝川自転車道ガイド	県土整備部道路環境課	2006.2 2010.10	■				無料	返信切手	在庫	4,000 3,000	自治体	ない	1.18A2/ 14折	1	12.5	Ride型	1:25,000	○	数値地図	○	○	○	○								勾配がきつい場所(3%以上)		
32	埼玉県	11	江戸川自転車道ガイド	県土整備部道路環境課	2005.4 2010.10	■				無料	返信切手	在庫	4,000 6,000	自治体	ない	1.68A2/ 20折	1	41.2	Ride型	1:25,000	○	数値地図	○	○	○	○								勾配がきつい場所(3%以上)		
33	埼玉県	11	入間川自転車道ガイド	県土整備部道路環境課	2005.4 2010.10	■				無料	返信切手	在庫	4,000 6,000	自治体	ない	1.52A2/ 18折	1	22.6	Ride型	1:25,000	○	数値地図	○	○	○	○								勾配がきつい場所(3%以上)		
34	埼玉県	11	荒川自転車道ガイド	県土整備部道路環境課	2002.3 2011.5	■				無料	返信切手	在庫	2,000 15,000	自治体	ない	1.68A2/ 20折	1	45.9	Ride型	1:25,000	○	数値地図	○	○	○	○								勾配がきつい場所(3%以上)		
35	埼玉県	11	自転車みどころスポットを巡るルート100	県土整備部道路環境課	H23.10.29											A2/12折	10	7~35	S.T.型	1:35,714 1:64,102	Nup		○			○	○					5則				
36	埼玉県	11	ちちぶサイクリングマップC L E L E 秩父鉄道秩父駅	秩父市観光課	2010.3					無料	無料					A2/12折	5	16~100	S.T.型	1:25,000 1:62,500	Nup		○			○	○							注意		
37	埼玉県	11	ちちぶサイクリングマップC L E L E 西武鉄道西部秩父駅	秩父市観光課	2010.3					無料	無料					A2/12折	7	25~100	S.T.型	1:50,000 1:62,500	Nup		○			○	○							注意		
38	埼玉県	11	ちちぶサイクリングマップC L E L E 羊山公園ミュージアムパーク	秩父市観光課	2010.3					無料	無料					A2/12折	7	30~56	S.T.型	1:40,000 1:50,000	Nup		○			○	○							注意		
39	埼玉県	11	サイクリングガイドちちぶ	秩父元気アップ戦略会議	2011.9					無料	無料					B2/8折	10	11.5~74	S.T.型	1:25,000 1:71,429	Nup		○			○	○	○	○	○	○	○	安全	サイクリングイベント		
40	埼玉県	11	埼玉協自転車マップ 県北エリア	埼玉県自転車軽自動車商協同組合・埼玉協青年部監修	2010.6.30					■ 無料						A2/12折	5	16~30	複合型	1:500,000	Nup		○				○	○							自普協	
41	埼玉県	11	埼玉協自転車マップ 県東エリア	埼玉県自転車軽自動車商協同組合・埼玉協青年部監修	2010.6.30					■ 無料						A2/12折	3	4~8.5	複合型	1:500,000	Nup		○				○	○							自普協	
42	埼玉県	11	埼玉協自転車マップ 県南エリア	埼玉県自転車軽自動車商協同組合・埼玉協青年部監修	2010.6.30					■ 無料						A2/12折	7	5~17	複合型	1:500,000	Nup		○				○	○							自普協	
43	埼玉県	11	埼玉協自転車マップ 県西エリア	埼玉県自転車軽自動車商協同組合・埼玉協青年部監修	2010.6.30					■ 無料						A2/12折	5	4~22.5	複合型	1:500,000	Nup		○				○	○							自普協	
44	埼玉県	11	埼玉協自転車マップ 秩父エリア	埼玉県自転車軽自動車商協同組合・埼玉協青年部監修	2010.6.30					■ 無料						A2/12折	3	25~60	複合型	1:500,000	Nup		○				○	○							自普協	
45	千葉県	12	水郷さわら観光MAP	水郷佐原観光協会						¥20						B3/6折	2	11~20	観光型		○	-	○			○	○							絵地図		
46	千葉県	12	まつど サイクリングMAP	松戸市商工観光課 観光協会	2010.9											A3/6折			Ride型	1:21,277	Nup		-	○		○	○							5則		
47	神奈川県	14	横須賀サイクリングロードマップ	横須賀集客促進実行委員会	2011.3	■	■				対応なし	予定なし	20,000	自治体	ない	A2/12折	3	8.0~17.6	Ride型	1:43,000 1:28,000	○	△	○		○	○	○	○						5則		
48	神奈川県	14	茅ヶ崎里山公園 RENTA CYCLE MAP	茅ヶ崎市都市部都市政策課	2010.11	■	■				対応なし	予定なし		自治体	ない	A3/8折			観光型	1:7,407	-		○			○	○		○							
49	神奈川県	14	箱根パーク&サイクル2011	箱根スマイル2000万人プロジェクト実行協議会	2011.4	■	■	■	■		対応なし	予定なし	24,000	箱根スマイル	ない	A4			観光型	-	Nup						○	○								
50	長野県	16	ふるさと飯山ポタリング	地域資源∞全国展開プロジェクトワーキングチーム		■	■			無料	無料	予定なし	5,000	観光協会	ある	A4×2折	8+6	6.6~41.9	複合型	1:81,300 1:12,195	○	△	○			○	○								輸	
51	長野県	16	安曇野サイクリングマップ	安曇野市商工観光部観光課	2010.8.5	■	■			無料	無料	在庫	4,000 8,000	自治体	ない	A4	2	?	観光型	-	-	-	-	-		物産センター	○									
52	長野県	16	つるつるっとまっぷ	松川村観光協会 池田町観光協会	2011.4	■	■	■	■	無料	無料	在庫	23,000 8,000	自治体	ない	A3/4折			観光型	-	-	-	-	-			○	そば	○						絵地図	
53	長野県	16	信濃大町サイクリングマップ	大町市	2008.5.17	■	■			無料	無料	予定なし	30,000	自治体	ない	A5×20頁	6	8~17	複合型	-	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	携行品	みどりの自転車(無料)	
54	長野県	16	白馬小径	白馬村観光局	2010.8.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10,000 30,000	白馬村観光局	ない	A2/18折	5	9~10.95	S.T.型	1:25,974	-	-	○			○	○								英語版あり	
55	長野県	16	白馬小径 白馬駅コース	白馬村観光局	2010.8.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10,000 30,000	白馬村観光局	ない	A4	4	9.95	S.T.型	1:16,393	Nup		-	○			○	○							英語版あり	
56	長野県	16	白馬小径 さのさかコース	白馬村観光局	2010.8.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10,000 30,000	白馬村観光局	ない	A4	2	9.45	S.T.型	1:17,391	Nup		-	○			○	○							英語版あり	
57	長野県	16	白馬小径 岩岳コース	白馬村観光局	2010.8.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10,000 30,000	白馬村観光局	ない	A4	3	10.35	S.T.型	1:17,391	Nup		-	○			○	○							英語版あり	
58	長野県	16	白馬小径 五竜コース	白馬村観光局	2010.8.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10,000 30,000	白馬村観光局	ない	A4	4	9.0	S.T.型	1:14,493	Nup		-	○			○	○							英語版あり	
59	長野県	16	白馬小径 八方コース	白馬村観光局	2010.8.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10,000 30,000	白馬村観光局	ない	A4	4	10.95	S.T.型	1:15,385	Nup		-	○			○	○								英語版あり
60	長野県	16	千曲川湯ったりサイクリング	戸倉上山田カラコロにぎわい協議会	2011.3.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	3,000	ない	ない	A5×8折	10	2.2~40.8	複合型	-	Nup		-	○			○	○	○							

サイクリングマップ一覧表

No.	府県	コード	名称	発行者	発行年	配布方法				料金	郵送希望	更新増刷	部数	web掲載	イベント	体裁サイズ	モデルコース	距離(km)	用途分類	縮尺	方位	高低差	WC	GS	交番	コンビニ	観光ガイド	味食	レンタサイクル	自転車屋	公共交通	指導	備考		
						案内	役所	観光	宿泊																									他	
91	三重県	21	サイクリングコースガイド	大紀町		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○		
92	富山県	22	県道富山庄川小矢部自転車道線	富山県土木部道路課	2010.6							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
93	富山県	22	県道富山朝日自転車道線	富山県土木部道路課	2010.6							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
94	富山県	22	レンタサイクル みらくる	魚津市	2011.3.31	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	絵地図 STAMP-RALLY
95	富山県	22	市街地周遊観光ガイドマップ	氷見市商工観光課	2011.7.29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
96	富山県	22	シーサイドレンタサイクル	氷見市商工観光課	2011.3.31	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
97	石川県	23	いしかわ大規模自転車道	石川県土木部道路建設課	2003.3		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	
98	石川県	23	七尾西湾周遊サイクリングコースマップ	七尾市産業部観光交流課	2010							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	絵地図
99	石川県	23	楽輪々 Map	輪島市観光協会	2010.3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	絵地図 日英中国語	
100	石川県	23	加賀市サイクリングマップ	加賀市観光情報センター	2006.4							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	絵地図 日英語	
101	石川県	23	白山市サイクリングMAP	白山市役所	2011.3.31	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	絵地図 台湾語	
102	福井県	24		坂井市観光連盟	2009.10	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
103	福井県	24	ふくいりんりんマップ	NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会	2008.3							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	雨宿りできる場所	
104	福井県	24	サイクルトレインMAP	えちぜん鉄道株式会社	2008.4							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	サイクリングのすすめ	
105	福井県	24	ふくいサイクリングロードマップ	福井県交通まちづくり課	2009.1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	5月	
106	滋賀県	25	びわ湖周遊サイクリングマップ	滋賀県土木交通部道路課	2010							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○		
107	滋賀県	25	ぐるっとびわ湖サイクルライン	滋賀県土木交通部道路課	2009																													ささなみ一里塚	
108	滋賀県	25	湖北サイクルロードマップ	鉄道を活かした湖北地域振興協議会	2008.3							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○		
109	滋賀県	25	日野町サイクリングマップ	蒲生郡日野町商工観光課	2006.3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	目盛尺度ミス	
110	滋賀県	25	びわ湖大津なぎさ散走サイクリングガイド	大津商工会議所	2011.1.25	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○		
111	滋賀県	25	湖東定住自立圏バイコロジーマップ	湖東定住自立圏推進協議会バイコロジ・バイコロジ部会	2011.3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	サイクルトレイン	
112	滋賀県	25	野洲市史跡マップ	野洲市観光物産協会	2005.4							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○		
113	滋賀県	25	大津サイクリングマップ①大津中心ルート 旧東海道探訪となぎさ公園	《自転車にやさしいまちづくりプロジェクト》	2006.9																														
114	京都府	26	リンクル与謝野探訪	与謝野自転車商協議会	2007.3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○		
115	京都府	26	ゆうゆうサイクルマップ	きょうたなべ環境市民パートナーシップ ゆうゆうサイクルの会	2011.2	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	罰則	
116	京都府	26	道の駅舞鶴港とれとれセンターレンタサイクル	舞鶴市・舞鶴観光協会	2004.10.29							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○		
117	京都府	26	美山銀輪地図	美山自転車の聖地プロジェクト委員会	2011.11																													サイクルステーション	
118	大阪府	27	サイクリングマップ	羽曳野市観光協会	2010.12.1							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○		
119	大阪府	27	いきいき池田マップ	池田市モビリティマネジメント検討会	2009.1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	○	バスルート・時刻表	
120	大阪府	27	上町台地サイクリングマップ	自転車文化タウンづくりの会	2011.2																														

サイクリングマップ一覧表

No.	府県	コード	名称	発行者	発行年	配布方法				料金	郵送希望	更新増刷	部数	web掲載	イベント	体裁サイズ	モデルコース	距離(km)	用途分類	縮尺	方位	高低差	WC	GS	交番	コンビニ	観光ガイド	味食	レンタサイクル	自転車屋	公共交通	指	備考
						案内	役所	観光	宿泊																								
151	岡山県	31	玉野市 築港・宇野サイクリングマップ	玉野市観光協会	2011. 7. 12	■									観光協会	ない	A4	1	5. 4	観光型	—	N up	—	—	—	—	○	—	—	—	○		
152	岡山県	31	吉備路自転車道きびろーどサイクリングマップ	総社市観光協会	2010. 3. 24	■	■			無料	無料	予定なし	100	ある	ない	A6×5折	1	21. 0	Ride型	1:25, 641	N up	—	○	—	—	○	—	○	—	○			
153	岡山県	31	蒜山観光MAP	蒜山観光協会												A4×2頁			Ride型	1:55, 555	N up					○	○		○				
154	岡山県	31		真庭市		■	■	■		無料	無料	在庫		ない	ない																	特化していない	
155	広島県	32	江田島市サイクリングマップ	江田島市公共交通協議会	2011. 2	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10, 000	自治体	ない	A6×8折	3	30~70	Ride型	—	N up	○	○	—	—	○	○	○	—	○	市営駐輪場	フェリーマナー	
156	広島県	32	ECOの街広島 レンタル自転車旅チャリで遊ぼう!	ECOの街広島 レンタサイクルプロジェクト	2011. 4. 1	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10, 000	ある	ない	A4×2折			観光型	△	○	—				○	○	○	○	○	○	英語版	
157	広島県	32	のりんさいくる ひろしまサイクルポートマップ	ひろしまコミュニティサイクル社会実験	2011. 3. 11	■	■			無料		在庫内容	10, 000	のりんさいくる	ない	A4			観光型		N up	—	—	—	—	○	—	○	—	○			
158	広島県	32	しまなみ海道サイクリングマップ(日本語版)	瀬戸内しまなみ海道振興協議会	2010. 10. 30	■	■	■	■	無料	無料	定期的	毎年80, 000	SHIMAP	ある	96×247×8折	6	11~25	S. T. 型	1:96, 774	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	安全	
159	広島県	32	しまなみ海道サイクリングマップ(中国語:繁体字版)	瀬戸内しまなみ海道振興協議会	2011. 3. 31	■				無料	無料	在庫	10, 000	SHIMAP	ある	96×247×8折			S. T. 型	1:96, 774	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
160	広島県	32	しまなみ海道サイクリングマップ(中国語:簡体字版)	瀬戸内しまなみ海道振興協議会	2011. 3. 31	■				無料	無料	在庫	10, 000	SHIMAP	ある	96×247×8折			S. T. 型	1:96, 774	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
161	広島県	32	しまなみ海道サイクリングマップ(韓国語版)	瀬戸内しまなみ海道振興協議会	2011. 3. 31	■				無料	無料	在庫	10, 000	SHIMAP	ある	96×247×8折			S. T. 型	1:96, 774	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
162	広島県	32	尾道観光案内地図	(社)尾道観光協会										観光協会		A2/4折			観光型	1:4, 484 1:66, 667	○	△	○	○		○	○		○				
163	広島県	32	安芸灘とびしま海道サイクリングマップ	呉地域観光連絡協議会	2011. 9									ある		A3/8折	2	46. 5, 49. 7	Ride型		N up	○	○			○	○		○	マナー	サイクルステーション		
164	山口県	33	防府サイクリングマップ	防府市観光振興課	1999. 10. 1			■		無料	無料	予定なし	50, 000	ない	ない	B4/2折	3		複合型	—	○	△	—	—	—	○	—	○	—	○			
165	山口県	33	うべE-サイクルマップ	宇部市地球温暖化対策ネットワーク	2010. 2制作 2010. 8増刷	■			■	無料	無料	ある	1, 000 1, 000	E-サイ	ある	A4			Ride型	—	N up	△	—	—	—	○	—	—	—	○	ルール		
166	山口県	33	しものせき観光サイクリングマップ 関門エリア	しものせき観光キャンペーン実行委員会	2002年ころ	■	■	■	■	無料	無料	ある	15, 000	自治体	ない	A4	1	?	複合型	1:15, 625	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○			
167	山口県	33	しものせき観光サイクリングマップ 城下町長府	しものせき観光キャンペーン実行委員会	2002年ころ	■	■	■	■	無料	無料	ある	10, 000	自治体	ない	A4	1	?	複合型	1:6, 250	○	—	○	—	—	○	—	○	○	○			
168	鳥取県	34	大山中海サイクリングマップ	合同会社 皆生未来開発	2011. 10. 1	■	■		■		対応なし	在庫 コース	2, 000 10, 000	自治体 他	ある	A3/2折	5	25~107	Ride型	1:32, 258 1:121, 951	N up	○				○			○		ハングル版		
169	島根県	35	ガイド付電動アシスト自転車ツアー	NPO法人松江ツーリズム研究会	2010. 4. 17	■				無料	無料	予定なし	5, 000	ない	ある	0. 3A4×16頁			観光型	—	N up	—	○	—	○	—	○	○	○	○	○	貸切ツアー	
170	島根県	35	松江サイクリングマップ	レンタサイクル事業実行委員会	2011. 4				■		対応なし	在庫	5, 000	ない	ない	B3/12折	7	3. 7~7. 4	観光型	1:6, 667	N up	—	○	—	○	○	○	○	○	○	○	ルール&サイクル	
171	香川県	36	サイクリングステージKAGAWA	(社)香川県観光協会	2010. 11. 30	■	■	■		無料	無料	予定なし	40, 000	観光協会	ない	A2/12折	13	7. 8~26. 6	複合型	1:152, 000 1:30, 000	N up	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	安全	
172	徳島県	37	自転車王国とくしま 県央版	文化スポーツ立県局県民スポーツ課	2011. 1. 11	■	■	■	■	無料	郵送代	在庫 システム	30, 000	自転車王国 とくしま	ある	A5×8折	15	10~72. 4	Ride型		○	○	—	—	○	○				○	ルール		
173	徳島県	37	自転車王国とくしま 県北版	文化スポーツ立県局県民スポーツ課	2011. 1. 11	■	■	■	■	無料	郵送代	在庫 システム	30, 000	自転車王国 とくしま	ある	A5×8折	15	10~72. 4	Ride型		○	○	—	—	○	○				○	ルール		
174	徳島県	37	自転車王国とくしま 県南版	文化スポーツ立県局県民スポーツ課	2011. 1. 11	■	■	■	■	無料	郵送代	在庫 システム	30, 000	自転車王国 とくしま	ある	A5×8折	15	10~72. 4	Ride型		○	○	—	—	○	○				○	ルール		
175	徳島県	37	自転車王国とくしま 県西版	文化スポーツ立県局県民スポーツ課	2011. 1. 11	■	■	■	■	無料	郵送代	在庫 システム	30, 000	自転車王国 とくしま	ある	A5×8折	15	10~72. 4	Ride型		○	○	—	—	○	○				○	ルール		
176	徳島県	37	サイクリングで市民遺産めぐり	徳島市経済部観光課	2010. 9	■	■	■		無料	無料	予定なし	20, 000	ない	ない	A3/6折			観光型	—	N up	—	—	—	—	○	○	○	○	○			
177	徳島県	37	大歩危・祖谷レンタサイクルMAP	にし阿波観光圏サイクリング事業	2010. 3	■	■	■	■		対応なし	予定なし	2, 500	ない	ない	A4×2折	3	5. 4~17	観光型	1:5, 263	N up	△	—	—	—	○	○	○	○	○	○	点検	
178	徳島県	37	美馬市散策サイクリング観光マップ	美馬市観光協会		■	■	■	■	無料	無料	予定なし		ない		135×135×12折	3		観光型	1:20, 000	N up	△	○			道の駅	○	○		○			
179	愛媛県	38	まつやま観光レンタサイクルマップ	松山市観光産業振興課	2010. 11				■	無料	無料	在庫内容	3, 000	ない	ない	A2/12折	4		観光型	1:9, 259	N up	△	○	○	○	○	○	○	○	○			
180	愛媛県	38	SHIKOKU IMABARI TOURISM MAP 今治の旅		2011. 08											574×429/40折	1	70	観光型		N up	○					○	○		○		ミウラ折	

サイクリングマップ一覧表

No.	府県	コード	名称	発行者	発行年	配布方法				料金	郵送希望	更新増刷	部数	web掲載	イベント	体裁サイズ	モデルコース	距離(km)	用途分類	縮尺	方位	高低差	WC	GS	交番	コンビニ	観光ガイド	味食	レンタサイクル	自転車屋	公共交通	指導	備考
						案内	役所	観光	宿泊																								
181	愛媛県	38	いまばり観光レンタルサイクルマップ	今治地方観光協会	2004. 4. 1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	
182	愛媛県	38	いまばり観光レンタルサイクルマップ Vol.2	今治地方観光協会																													
183	愛媛県	38	新居大島サイクリングマップ	新居大島プロジェクト	2011. 3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	
184	愛媛県	38	サイクリングまっぷ	西条市観光協会	2011. 3. 31	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	ガイド料 サイクリングツアー
185	愛媛県	38	内子サイクリングマップ	内子町役場町並・地域振興班 内子町総合観光センター	2009. 12. 25	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
186	愛媛県	38	しまなみ島走Map 大三島	NPO法人シクロツーリズム しまなみ	2009. 10	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
187	愛媛県	38	しまなみ島走Map 因島, 向島	NPO法人シクロツーリズム しまなみ	2011. 9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
188	愛媛県	38	しまなみ島走Map 生口島	NPO法人シクロツーリズム しまなみ	2011. 9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
189	愛媛県	38	しまなみ島走Map 上島町	NPO法人シクロツーリズム しまなみ	2011. 9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
190	愛媛県	38	しまなみ島走Map 伯方島	NPO法人シクロツーリズム しまなみ	2011. 9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
191	愛媛県	38	しまなみ島走Map 大島	NPO法人シクロツーリズム しまなみ	2011. 9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
192	愛媛県	38	しまなみ島走Map 今治	NPO法人シクロツーリズム しまなみ	2011. 9	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
193	愛媛県	38	上島町サイクリングウォーキングマップ	上島町岩城総合支所 産業観光課																													
194	高知県	39	安芸市観光案内マップ	安芸市観光協会	2008. 5頃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	自家製
195	高知県	39	安田町チャリンコ乗りヤスマップ	安田町文化センター	2004. 11	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	安全
196	高知県	39	天狗高原×自転車 気分爽快	津野町役場																													
197	高知県	39	四万十川りんりんサイクル	(株)西土佐四万十観光社 四万十・川の駅 カヌー館	2006																												
198	高知県	39	宿毛市・大月町の旅 サイクリングマップ	(一社)幡多広域観光協議会	2011. 7. 13	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
199	福岡県	40	JOY i NTマップ	NPO法人カンモバイルネットワーク北九州	2003. 11																												
200	福岡県	40	ほとめきの街「久留米」のまちなか散策マップ	久留米・新幹線活用プロモーション実行委員会	2010	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
201	福岡県	40	水郷柳川「まち歩き」マップ①	柳川市建設部観光課	2010. 7	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
202	福岡県	40	水郷柳川「まち歩き」マップ③	柳川市建設部観光課	2008. 3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
203	福岡県	40	水郷柳川「まち歩き」マップ④	柳川市建設部観光課	2008. 3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
204	福岡県	40	水郷柳川「まち歩き」マップ⑤	柳川市建設部観光課	2010. 7	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
205	佐賀県	41	みやき町サイクリングマップ	みやき町観光協会	2011. 3. 30	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	マップ 現物なし
206	佐賀県	41	かしましましまweb	鹿島市観光協会	2011. 6. 1																												観光協会HP上
207	長崎県	42	北つしまサイクリングマップ	対馬市	2011. 3	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	マナー
208	長崎県	42	SAIKAI-ROAD西海路サイクリングマップ	平戸・佐世保・西海ロングステイ観光協議会	2011. 3. 15	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	DVD
209	長崎県	42	「川棚」大崎自然公園	長崎県・川棚町	2007. 4. 1	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○	○	○	
210	長崎県	42	長崎県・川棚 KAWATANA MAP	長崎県・川棚町																													

サイクリング地図一覧 2011.12.05

No.	府県	コード	名称	発行者	発行年	配布方法					料金	郵送希望	更新増刷	部数	web掲載	イベント	体裁サイズ	モデルコース	距離(km)	用途分類	縮尺	方位	高低差	WC	GS	交番	コンビニ	観光ガイド	味食	レンタサイクル	自転車屋	公共交通	指導	備考					
						案内	役所	観光	宿泊	他																													
211	長崎県	42	長崎県・川棚 KAWATANA MAP	長崎県・川棚町												2.17A3/8折	3	7.0	観光型	—	○	○					○												
212	熊本県	43	ゆうかファミリーロード	熊本県土木部道路保全課 熊本土木事務所	2006.6	■				無料	無料	予定なし	不明	ない	ない	A3/3折	1	34.0	Ride型		○	○	○				○		○										
213	熊本県	43	五家荘 風の四季彩ロード	八代地域振興局総務振興課	2011.3.18	■	■	■	■	無料	無料	予定なし	1,000	自治体	ない	A3	4	13~38	Ride型	—	Nup	○	○	○	■	自販機	○												
214	熊本県	43	南阿蘇水めぐりサイクリング・ウォーキング散策マップ	あーと和紙工房白水		■	■			無料	無料	予定なし	20,000	ない	ある	273×380×2折			観光型	1:72,727 拡大図	○						○	○											
215	熊本県	43	のんびりレンタサイクル サイクリングマップ	(財)阿蘇地域振興デザインセンター		■	■	■		無料	無料		30,000	ない	ある	A3/2折	5	5~13	観光型	1:40,000 1:10,526	Nup		○	○		○	○	○	○	○									
216	熊本県	43	サイクリングロードで楽しむ球磨・人吉サイクリングロードMAP	湯前人吉自転車道活性化推進協議会	2010.3.31	■	■	■	■	無料	無料	在庫	5,000	自治体	ある	2A4/6折	8	3.2~15.8	Ride型	1:147,059 1:33,333	Nup		○	○			○	○	○										
217	大分県	44	耶馬溪サイクリングターミナル	中津市耶馬溪支所総務課 地域・観光振興係	2005	■	■	■		無料	無料	在庫	10,000 10,000	ない	ある	A3	2	10.5, 11.5	観光型	—	—	—	○				○	○	○										
218	大分県	44	メイプル耶馬溪サイクリングロードマップ	中津市商工観光部観光課	2011.3	■	■	■	■	無料	無料	在庫	10,000	自治体	ある	A3	1	36.0	Ride型	—	—	—	○					○		○									
219	大分県	44	おおいた自転車マップ	大分市都市交通対策課	2009.8	■	■	■	■	無料	無料	在庫	70,000 40,000	自治体	ある	A2/15折	7	4.4~15.5	観光型	1:80,000 1:12,800	Nup	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○					デザイン性	
220	宮崎県	45	レンタサイクル飫肥城下町めぐり	日南市観光協会	2011.7.1	■				無料	無料	予定なし	10,000	観光協会	ない	B4	2	8~13	観光型	—	Nup		○					○		○									
221	鹿児島県	46	肝付町サイクリングマップ	肝付町役場企画調整課商工観光係	2011.7	■		■		無料	無料	ある		ない	ない	A4	3	18~28	Ride型	—	Nup	△	○				○												
222	鹿児島県	46	エコパかごしま散策サイクリングおすすめマップ	環境パートナーシップかごしま「エコパかごしま」事務局	2011.3	■			■			対応なし	コース内容 1,000	ない	ない	A2	4	2.5~17.8	Ride型		Nup				○		○												
223	鹿児島県	46	風に誘われて風を誘って	南さつま市												A4/3折	6	3~13	観光型								○		○										
224	鹿児島県	46	南さつま まち歩き散策マップ	鹿児島県南薩地域振興局												2A4/6折	1		観光型	—	—		○		○	○	○	○	○	○									
225	鹿児島県	46	竜宮岬レンタサイクル散策MAP	(社)指宿市観光協会												297×297×4折	2	7.0~11.0	観光型	1:16,000	Nup	△	○				○	○	○										
226	鹿児島県	46	指宿たまたま箱ガイド	たまらんプロジェクト	2011.3											A5×20頁	2	6.8~9.7	観光型	—	Nup		○				○		○										
227	沖縄県	47	古都首里サイクリングマップ	e レンタサイクル ポタリング首里	2011.6.5	■	■	■	■	無料	無料	予定なし	15,000	ない	ある	2A4/6折			観光型	—	Nup	—	○	○		○	○	○	○	○	○								
228	USA	99	NYC CYCLING MAP	THE CITY OF NEW YORK	2011					無料						A1/24折			Ride型	1:62,500 1:30,303	Nup						○		○	○	○						Bike Smart		
データ記入数	228		226	224	210	143	126	78	47	56	160	184	171	168	189	179	225	167	155	221	199	215	154	193	69	49	143	201	71	148	79	206	74	80					